

令和3年度

伊勢崎市教育要覧



伊勢崎市教育委員会

序

昨年来のコロナ禍により、現代社会が予測不能な時代の中にあることやグローバル化は地球規模の災禍につながることもあることを痛感しました。感染防止のための新しい生活様式も習慣化してきましたが、終息に向かう唯一無二の正解がない中では不安が積りました。一方で、社会全体が災禍に包まれる中、公共心、公德心、公正公平、思いやり、感謝といったことの大切さと向き合う機会も多くありました。

このような状況を踏まえて伊勢崎市教育委員会では、令和3年度教育行政方針及び伊勢崎市学校教育構想2021を策定し、コロナ禍を乗り越え未来を志向する教育施策を展開することといたしました。

学校教育の分野では、「市民性育成プラン」「21世紀型学力向上プラン」「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」を軸に、子供一人一人の夢や希望の実現に向け、ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出すことができる子供の育成を目指すことを明確にしました。その中で、ICT機器を使いこなし自律的に学ぶことのできる児童生徒の育成を目指す「いせさきGIGAALスクール構想」を推進します。

社会教育の分野では、子供から大人までの市民ニーズに合わせた事業の実施により公民館等における生涯学習の一層の充実を目指します。また中学校区単位の教育ネットワークである「伊勢崎学府制」では公民館が中核となり学校教育と社会教育の融合を促進します。

図書館事業では、おはなしと出会うブックスタート事業や、四つの図書館と小中学校図書室とのネットワークにより本との出会いを推進します。また、郷土文化を学ぶ「いせさき学習堂」の展開など市民の課題解決に役立つ図書館機能の充実に努めます。

また、世界遺産構成群の一つである田島弥平旧宅等をはじめとする文化財や伝統文化の保護と活用を進め、市民、特に子供たちの郷土への誇りと愛着を育みます。

本要覧には、本年度の各種教育施策を紹介するとともに、本市教育の歩みや施策の基礎となる各種データ等も掲載しています。皆様に広くご活用いただきますとともに、ご指導、ご助言を賜る機会となれば幸いです。

結びに、コロナ禍の一日も早い終息を願うとともに、コロナ後の持続可能な社会づくりのため本市教育もその役割を果たしていく決意を新たにして序文といたします。

伊勢崎市教育委員会教育長 三好 賢治

あいさつ

私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少社会の到来や頻発する大規模な自然災害に加え、地域環境問題の深刻化、情報通信技術の急速な進展、価値観・ライフスタイルの多様化などにより、急激に変化しています。



こうした中、本市では、令和2年度から5年間のまちづくりの指針となる「第2次伊勢崎市総合計画」を策定し、各分野の施策を横断的に連携させた持続的なまちづくりに取り組み、活力のある元気な都市を目指しているところでございます。

さらに、教育分野では、令和2年度から5年間の教育行政全般における施策を明らかにした「第2期伊勢崎市教育振興基本計画」を策定し、次世代を担う子供たちが生涯を通じて社会で活躍できる資質や能力を習得するために、能動的に学び続けられる環境づくりと、市民一人一人が生涯にわたり夢と希望に向かって生き生きと学び続けられる多種多様な学習機会の提供に努めております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の長期臨時休業から始まった歴史的な災禍は今もなお継続し、日常生活の変化を余儀なくされておりますが、子供から大人までの誰もが「身を守る行動」を考え、実行することにより、多くの困難を乗り越えてまいりました。

今後も、子供たちが一日も早く安心して過ごし、学ぶことができるよう、市と教育委員会が一丸となって、新しい生活を踏まえた教育活動の発展に取り組んでまいります。

結びに、子供たちに明るい未来を引き継げるよう、新型コロナウイルス感染症収束に向けた積極的な取り組みを進めるとともに、誰もがお互いの立場を思いやり、支えあう「世代間の共生」を進め、『共に創る 共に生きる』伊勢崎市の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、教育行政に対しまして、多くの皆様のご理解、ご協力を申し上げます、あいさつといたします。

伊勢崎市長 臂 泰雄

目 次

序

市長あいさつ

目次

市民憲章	1
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	2

I 教育行財政

教育委員会	7
教育のあゆみ	11
令和3年度教育費予算	23
令和3年度一般会計予算	24
令和3年度教育費項目別予算	25
教育費年度別決算額	26

II 教育施設

教育施設一覧	29
令和2年度施設建設等主要事業	35
令和3年度施設建設等主要事業計画	38

III 学校教育

令和3年度主要事業	41
各種事業	42
学力向上・学校等訪問・キャリア教育・人権教育 環境教育・情報教育・特別支援教育・外国語 指導助手・外国籍児童生徒学校生活支援助手 配置事業・地域の教育力の活用・各種援助	
園児・児童生徒数	50
学校体育保健	54
日本スポーツ振興センター	56
四ツ葉学園中等教育学校	57
教育研究所	59

IV 学校給食

学校給食の充実	63
---------	----

V 生涯学習

生涯学習の充実	69
図書館	79

VI 文化振興

文化振興	89
------	----

VII 文化財保護

文化財の保護と活用	95
-----------	----

VIII 青少年健全育成

心身ともに健全な青少年の育成の推進	107
青少年非行防止活動の推進	110

IX スポーツ振興

スポーツ振興	115
--------	-----

表紙写真

タブレットを使用した授業の様子
(茂呂小学校)

伊勢崎市 市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊かな自然に育まれ着実に発展してきました。

わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

伊勢崎市の概要

沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、上野国佐位郡正倉跡（国指定史跡）で「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。また、上植木廃寺は佐位郡の寺院と考えられ、佐位郡衙との関連が指摘されている。境地区北で伊勢崎、東地区との東西一直線の境界は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝塚遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平19年12月14日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区から東地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざままで没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正18年（1590）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の後に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治4年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には8校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治4年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて25校となった。

安政6年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人たちも現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治19年（1886）「染織講習所」を設立、明治29年には伊勢崎染織学校へと発展し、明治33年県へ移管され、この地域の中等教育の走りとなった。この頃の基幹産業であった「伊勢崎銘仙」は、明治末期、昭和初期及び戦後復興期に黄金時代を迎えるが、生活様式の変遷により、昭和50年伝統工芸品として国指定をうけ新たな一歩を踏み出した。近年は利便性に優れた幹線道路網を活かして、製造業や大規模商業施設の進出から、商工業が盛んな産業地域になってきている。

また、近郊農業が盛んで農産物の生産も多い地域である。

平成17年1月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の4市町村が合併し、人口20万人の新伊勢崎市が誕生した。

平成19年4月には、特例市（地方自治法改正により、現在は「施行時特例市」）となり、現在もさらなる発展を続けている。

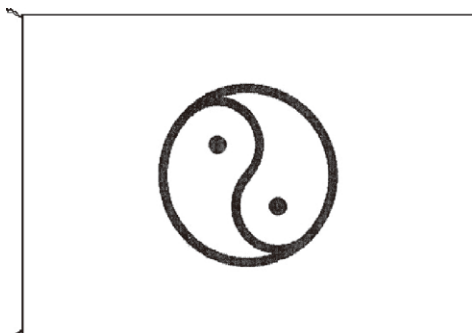
市章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表しています。

(平成 17 年 2 月 28 日告示)

市旗



縦の長さは、横の長さの 3 分の 2 とする。

市章の直径は、縦の長さの 5 分の 3 とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2 個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角 45 度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

市の木

松



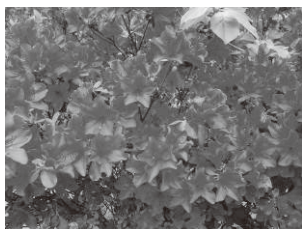
【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

市の花

ツツジ



サルビア



キク



スイセン



【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかという考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況

も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成18年12月20日告示)

都市宣言

●人権尊重都市宣言

平成18年12月20日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、だれもが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

●スポーツ都市宣言

平成18年12月20日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心と体をつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

●安心安全都市宣言

平成18年12月20日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとを自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言

平成18年12月20日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

人口・世帯 (令和3年6月1日現在)

人口	212,784	人
男	107,156	人
女	105,628	人
世帯数	92,673	世帯

位置・面積

北緯	36° 18′
東経	139° 11′
海拔	58.1 m
面積	139.44 km ²

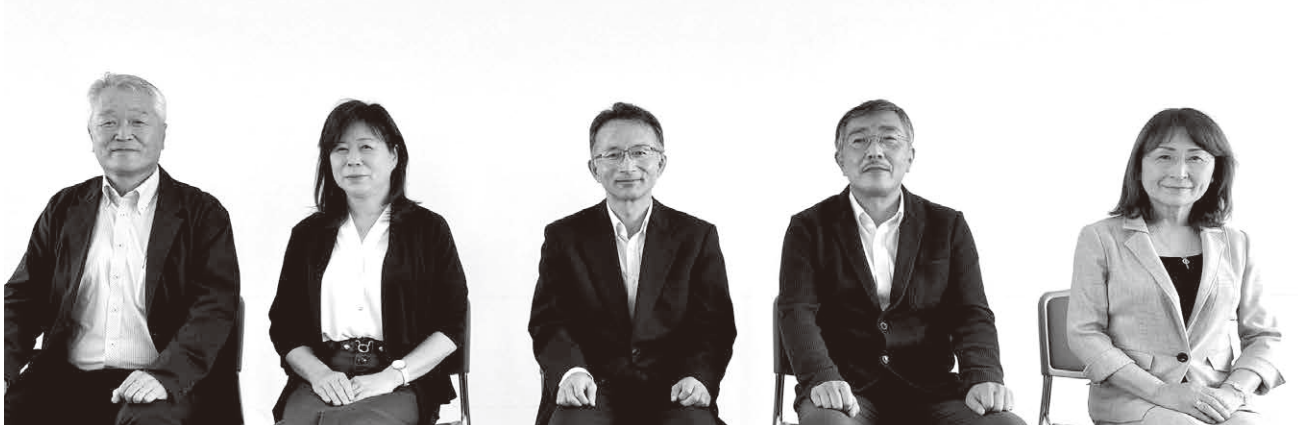
I 教育行財政



教育委員会会議の様子

教育委員会

1 教育委員 (令和3年4月1日現在)



左から

野口委員

稲庭教育長職務代理者

三好教育長

高山委員

山洞委員

役職名	氏名	住所
教育長	三好賢治	前橋市富士見町原之郷
教育長職務代理者	稲庭美智子	伊勢崎市堀下町
委員	高山英記	伊勢崎市山王町
委員	野口裕孝	伊勢崎市小泉町
委員	山洞広美	伊勢崎市境栄

2 歴代の教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
田島國明	平成17年1月1日	平成17年3月23日
山口晃	平成17年4月1日	平成25年3月31日
徳江基行	平成25年4月1日	令和3年3月31日
三好賢治	令和3年4月1日	

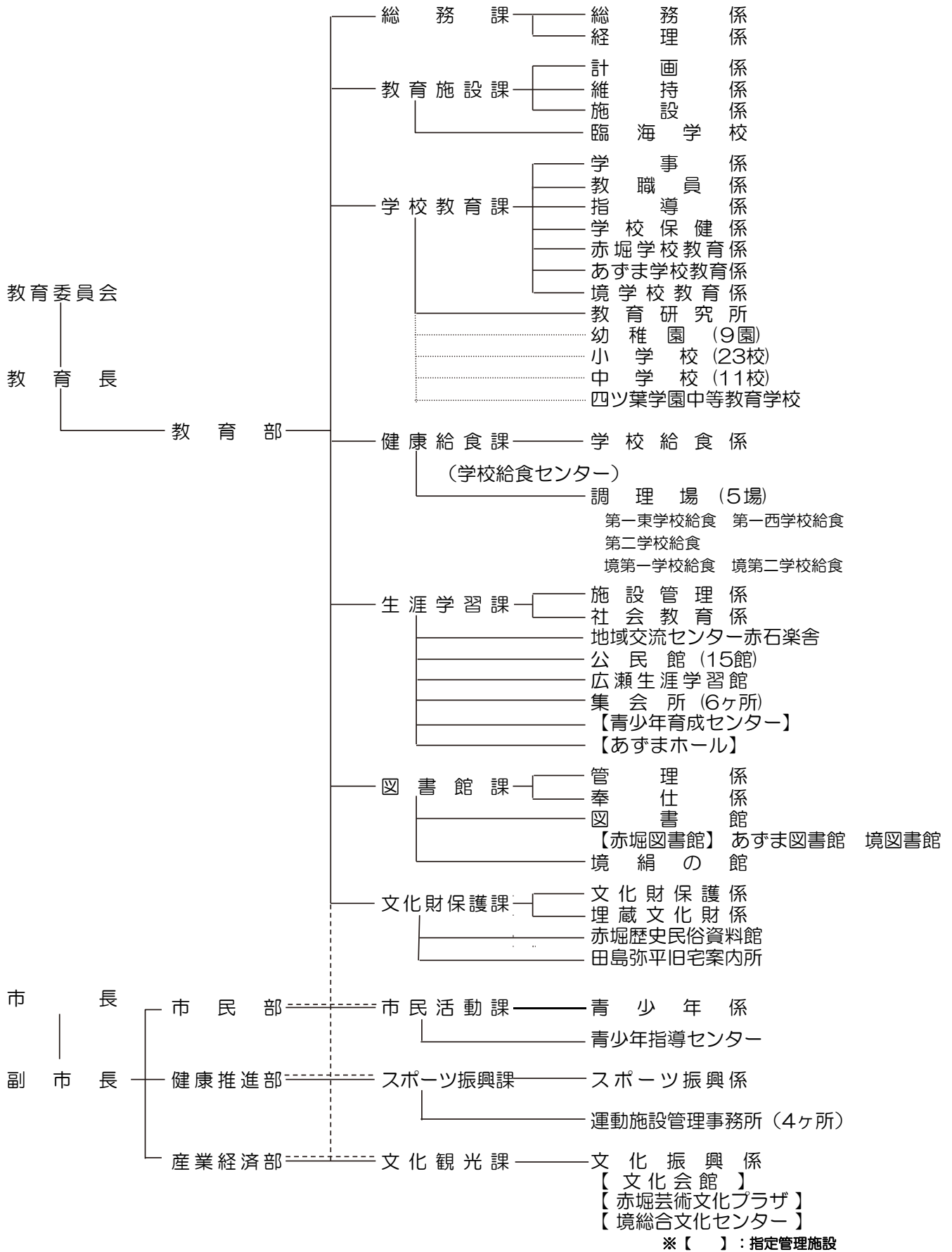
3 歴代の教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
上 山 明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
上 林 雄	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
御 任 佳 子	平成 17 年 1 月 1 日	平成 19 年 3 月 23 日
茂 木 初 實	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
大 塚 富 男	平成 17 年 3 月 24 日	平成 18 年 3 月 23 日
赤 石 勝 彦	平成 17 年 3 月 24 日	平成 19 年 10 月 31 日
須 田 篤 子	平成 17 年 3 月 24 日	平成 21 年 3 月 23 日
大 沢 啓 一	平成 18 年 3 月 24 日	平成 22 年 3 月 23 日
小久保 剛 利	平成 19 年 3 月 24 日	平成 23 年 3 月 23 日
大 山 隆	平成 19 年 12 月 19 日	平成 24 年 3 月 23 日
齋 藤 美智子	平成 21 年 3 月 24 日	平成 25 年 3 月 23 日
茂 木 克	平成 22 年 3 月 24 日	平成 26 年 3 月 23 日
大 山 祐理子	平成 23 年 3 月 24 日	平成 27 年 3 月 23 日
多部田 敬 三	平成 24 年 3 月 24 日	平成 28 年 3 月 23 日
萩 原 裕 子	平成 25 年 3 月 24 日	平成 29 年 3 月 23 日
大 矢 光 利	平成 26 年 3 月 24 日	平成 30 年 3 月 23 日
宮 川 亮 子	平成 27 年 3 月 24 日	平成 31 年 3 月 23 日
高 橋 慶 一	平成 28 年 3 月 24 日	令和 2 年 3 月 23 日
津久井 喜代己	平成 29 年 3 月 24 日	令和 3 年 3 月 23 日
稲 庭 美智子	平成 30 年 3 月 24 日	
高 山 英 記	平成 31 年 3 月 24 日	
野 口 裕 孝	令和 2 年 3 月 24 日	
山 洞 広 美	令和 3 年 3 月 24 日	

4 附属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨学生選考委員会委員	11人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
教育支援委員会委員	59人以内	小中学校長又は小中学校教頭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、県立伊勢崎特別支援学校長、県立伊勢崎特別支援学校教諭、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
いじめ問題対策連絡協議会委員	13人以内	小学校長会長、中学校長会長、教育委員、教育部長 県中央児童相談所長、前橋地方方法務局伊勢崎支局長 伊勢崎警察署長、民生委員児童委員連絡協議会長 青少年育成推進員連絡協議会長、子ども会育成会連絡協議会長、PTA連合会長、区長会長、市民部長
学校結核対策委員会委員	8人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学校給食運営委員会委員	15人以内	教育委員、幼稚園・小学校及び中学校の代表、幼稚園・小学校及び中学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生涯学習推進協議会委員	40人以内	関係行政職員、学識経験者
社会教育委員	20人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
公民館運営審議会委員	30人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人権教育推進委員会委員	33人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、その他教育長が必要と認めた者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20人以内	各地域から推薦された者
図書館協議会委員	10人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文化財調査委員	7人以内	学識経験者
赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員	8人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青少年問題協議会委員	24人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
スポーツ推進審議会委員	15人以内	スポーツに関する学識経験のある者
スポーツ推進委員	45人以内	各地区から推薦された者

5 教育委員会機構図 (令和3年4月1日現在)



※【 】：指定管理施設

教育のあゆみ

〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	学制を制定し学区制を発布 (全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を設置) 群馬県では小学校教授細則を告示 (下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級)
	8.	群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令
1873	6. 6. 9	赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校 明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、東地区1校、境地区では10校が開校。当時、設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」の結成
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校
	6. 9	国定学校独立(明治11年3月19日 校舎竣工)
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を字南原に竣工
1879	12. 5. 29	小保方学校、字陣屋前に校舎竣工
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南淵塾」を開設
	12.	教育令を改正
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開設
	11.	国定学校、田部井学校に併合される
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる
	8.	佐位那波教育会設立
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染織講習所」を設立
	3.	帝国大学令の発布
	4. 10	小学校令・中学校令・師範学校令の公布 小学校を尋常・高等に分割と尋常科4年の義務制 尋常小学校を伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、東地区2校、境地区7校に設置 高等小学校を伊勢崎町に設置
	8.	木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所の設立
1888	21. 1.	平塚青年会発足
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり
1889	22. 1.	境町青年進成会、島村青年会が発足
	4.	名和青年会統合

	4. 1	町村制施行 伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、境町、采女村、島村、剛志村が成立 各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校と改称
1890	23. 5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり） 赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称
1891	24. 9. 1	佐位那波郡高等小学校の廃止 伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日 開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置
1892	25. 4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築
1893	26. 4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立
1896	29. 1. 8	伊勢崎盛年会設立
	4.	赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称（9月 新築）
	4. 1	佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称
1897	30. 11.	三郷尋常小学校校舎竣工
1900	33. 3.	組合立伊勢崎染織学校が県に移管
1901	34. 3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称
	11. 15	伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年 佐波学館と改称、昭和7年 閉館）
1902	35. 3. 31	伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置 各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称 東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設
1903	36. 4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置
1905	38. 1. 14	茂呂村青年夜学会開設
	2.	県立伊勢崎染織学校が桐生織物学校に統合
	3. 31	県立伊勢崎染織学校廃校
	4.	名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を開始
1906	39. 4. 1	殖蓮実業補習学校設立。以後各地区に補習学校の開設
	4. 15	伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校の設置
	5. 31	名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を開始
	6. 1	境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）。
1907	40. 3.	小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施
	4. 1	伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併し、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容 女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置
	11. 28	佐波教育会伊勢崎部会創設
1908	41. 3.	県、土地の事情により農繁休暇を認める 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称 平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立
1909	42.	小保方尋常小学校を東高等小学校に併置

1910	43.	小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足
	1.	茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創設
	4. 1	伊勢崎町に県立工業学校開校 この頃から遠足、修学旅行が定例化
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立

〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校の廃校
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設（大正12年4月1日 伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月 県に移管、6月 伊勢崎町宗高に新校舎落成）
	11.	赤堀女子実業補修学校を赤堀尋常小学校に併設 同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設、以後大正期に各町村に創設
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校、大正8年4月 町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館が認可
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齢児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）
1925	14.	中島徳蔵氏が東洋大学学長となる
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校附属幼稚園独立）
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工
1935	10.	東村、南分教場を廃止
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕式実施
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼児園開園（方面事業助成会経営）
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣精平寄付）
1939	14.	青年学校義務制
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣精平）
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を開始（月額1円）

1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置
	8.	青年学校通年昼間制の実施
	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼稚園開園（方面事業助成会経営）
1944	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称
1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失
1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育
	4. 29	新制中学校始業式 小学校等の教室で授業開始 昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工
1949	24.	5月 名和村、6月 豊受村、12月 東村、学校給食開始
1950	25.	6月 宮郷村学校給食開始 境島村教会、めぐみ保育園を開設
	8. 29	太刀 銘 備前国長船住守家造が国指定重要文化財に指定
	9.	赤堀村、学校給食を開始

〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙の実施
	11. 1	市町村に教育委員会が発足
1954	29. 3. 20	脇差 銘 備洲長船元重が国指定重要文化財に指定
	4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成
1955	30. 1. 10	佐波郡三郷村と合併、3月 名和村、豊受村、宮郷村を合併
	3. 15	宮郷公民館開館
	3. 19	名和公民館開館
	3. 22	豊受公民館開館
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）
	4. 8	市教育研究所発足
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館
	4. 1	宮郷幼稚園開園
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館
1958	33. 2. 8	埴輪男子立像（2軀）、埴輪男子倚像、埴輪武装男子立像が国指定重要文化財に指定
	2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現在の第一幼稚園に位置）

	8. 5	境町立東小学校開校
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置
1963	38. 3. 2	殖蓮公民館落成式
	4. 15	東村公民館竣工（移転）
	8. 1	境町立図書館開館
	10.	東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）
1964	39. 4. 1	境町立境中・島中を統合し、境町立南中学校に校名変更 境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更 東村立東中学校に特殊学級設置
1965	40. 4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置
	7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足
1966	41. 3. 19	伊勢崎市宮野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとしに巨人一大洋戦開催）
	8. 25	境町立南中学校校舎完成
	9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊
1967	42. 3. 18	境町東公民館完成
	4. 1	伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称 伊勢崎市立名和中学校と豊受中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校と改称
	5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成
	5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成
1968	43. 2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転
	4. 27	伊勢崎市宮陸上競技場完成
	11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所内に設置）
1969	44. 1. 23	三郷公民館新築工事完成
	3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	東村立東幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）
	8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成
	9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転
	10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）
1970	45. 2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学
	4. 24	境町中央公民館完成
	6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園
	7. 1	伊勢崎市中央公民館開館
	12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる
1971	46. 2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成
	3.	伊勢崎市庭球場完成
	4. 1	養護学校に小学部が設置 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする 豊受幼稚園開園
	6.	伊勢崎市民プール完成
	12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成

1972	47.	3. 31	宮郷公民館新築工事完成 境町立境小学校分校廃校
	3.		伊勢崎市弓道場完成
	4.	1	名和幼稚園開園
	4.		利根川河川境運動場設置
	7.	3	名和小学校校舎焼失
	10.	1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を発刊
	12.	22	移動図書館「わかくさ」巡回開始
1973	48.	1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成
	1.		赤堀剣道場完成
	3.		東村立東幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）
	3.	20	名和小学校復旧校舎新築工事完成
	3.	25	豊受公民館新築工事完成 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成
	6.	15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校
	7.	20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成
1974	49.	7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成
	10.	28	三郷小学校校舎新築工事完成
1975	50.	1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校
	3.	10	道伝集会所新築工事完成
	4.		赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）
	10.	23	東村文化協会設立
	11.	1	赤堀村文化協会設立
	11.		境上武公園野球場・テニス場完成
1976	51.	1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園
	3.	20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成
	7.		赤堀中央運動場完成（野球場・テニスコート）
	12.	31	豊受小学校校舎新築工事完成
1977	52.	3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館
	3.		赤堀村立幼稚園新園舎開園
	3.	20	宮子町集会所新築工事完成
	3.	31	柴町集会所新築工事完成
	4.		境いよく野球場完成
	4.	1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置） 境町社会体育館開館（2月完成）
1978	53.	4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）
	6.		境いよくテニス場完成
	7.	31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成
	8.	2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成
	11.		赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式
1979	54.	1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）
	3.	25	連取町集会所新築工事完成

	4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）
	4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始
	6.	赤堀村立赤堀中学校室内運動場新設
	8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工
	11. 10	伊勢崎市民体育館落成 スポーツ都市宣言を行う
	11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成
1980	55. 3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）
	3. 25	名和公民館新築工事完成
	3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成
	5.	赤堀体育館完成
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成
1981	56. 2. 25	東給食センター竣工
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月 解体）
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用） 文化会館開館
	4.	赤堀村学校給食調理場新築
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成
1982	57. 3. 15	伊勢崎市ソフトボール場・第二グラウンド完成
	3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成
	3.	三室西公園運動場完成（多目的広場・テニスコート）
	4. 1	坂東小学校開校
	4. 1	坂東幼稚園開園
	7. 1	境町流水プール開場（6月完成）
	10.	赤堀香林運動公園完成
1983	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成
	3.	第二市民体育館 県立伊勢崎商業高等学校から伊勢崎市へ移管
	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託
	7. 27	伊勢崎市教育研究所完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転 県下初の独立建物となる
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	10. 27	女堀が国指定史跡に指定
1984	59. 4. 1	伊勢崎市立第四中学校開校（豊受小と坂東小の通学区域）
	8. 25	日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第三中学校が対戦
	10. 15	伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成
1985	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊

1986	3.	伊勢崎市庭球場改修工事完成
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館
	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立
1987	4.	赤堀コミュニティひろば完成
	6. 7	境町立図書館現在地に移転 絹の館開館
	10.	赤堀村町制施行
	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工
1988	3. 25	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立北小学校開校
	3. 10	伊勢崎市補助競技場完成
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリ州スプリングフィールド市）
	63. 1. 11	十三宝塚遺跡が国指定史跡に指定
	2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成
	3. 27	東村中央公民館完成 あずま総合運動公園完成
8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成	
11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）	

〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項	
1989	平成元.	2. 8	生涯学習推進会議発足
		3. 23	境町剛志公民館新築工事完成
		3.	あずま総合運動公園テニスコート完成
		3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園
		4. 1	境町剛志公民館開館
		6. 7	境町総合運動場開場（5月完成）
		1990	2. 3.
1990		4. 1	境町武道館開館（3月完成）
		8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）
		8. 24	伊勢崎市相撲場完成（華蔵公園運動施設内）
		9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館
		3. 10	伊勢崎市弓道場建替完成
1991	3.	3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立
		4.	赤堀町立南小学校開校
		5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒の来村
1992		11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成
		4. 3.	境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場完成
		8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）
		8.	赤堀西部スポーツ公園完成 （野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）
		9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）

1993	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）
	5. 29	境町文化協会設立
	6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）
1994	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式
	10. 1	東村営野球場あずまスタジアム完成 東村営弓道場完成
1995	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成
	3.	境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場完成
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設
	4.	あずまゲートボール場設置（借地）
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成
	3.	東村営野球場あずまサブスタジアム完成
	5. 24	境総合文化センター開館
	10. 6	東村営サッカースタジアム完成
	11. 2～5	第9回全国スポーツレクレーション祭、女子ソフトボール大会開催
1997	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成
	3.	境弓道場完成
	9. 11	国指定史跡 女堀の追加指定
	10. 1	境町絹の館に金井鳥州記念室設置
1998	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成
	3.	伊勢崎市野球場改修工事完成
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園 図書館広域ネットワーク化
	5. 3	あずまウォーターランド竣工
	11. 3	つつみ公園グラウンドゴルフ場完成
1999	11. 7. 8	東村立図書館開館
	12. 4. 1	赤堀町立東小学校開校
2000	6. 15	華蔵寺のキンモクセイが国指天然記念物に指定
	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式
2001	3. 27	赤堀グラウンドゴルフ場完成
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園
	4. 1	宮郷第二小学校開校
	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001が開催され、伊勢崎市出身の民謡研究者町田佳聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催
	14. 4.	完全学校週5日制開始
2002	7.	あかぼり運動公園テニス場完成
	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成
2003	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎（特別教室）完成
	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工
2004	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成

	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工
2005	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更
2006	18. 3.	三室西公園スケートボード場完成（テニスコートをスケートボード場に改修）
	4. 1	青少年育成センターが県より移管
	12. 20	スポーツ都市宣言
2007	19. 4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離
	5. 25	伊勢崎市文化協会設立（旧市町村ごとにあった文化協会の統合）
2008	20. 4. 1	県立前橋高等養護学校（伊勢崎分校）が旧県立境高等学校に開校 北小学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
2009	21. 3. 14	北小学校全面改築竣工式
	3.	図書館年間貸し出し100万点達成
	4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校 北小学校が特認校となる
	11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工式
2010	22. 5. 14	伊勢崎市ラグビー場完成（平成23年5月1日供用開始）
	6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成
	11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成
	12. 10	三郷幼稚園園舎竣工（園庭の芝生化）
2011	23. 1. 24	北第二小学校体育館竣工
	3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成
	8. 3～16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	9. 30	市庭球場改修工事（コート・スタンド・フェンス・トイレ）完成
	10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結
	12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成
2012	24. 2. 29	宮郷中学校・赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成
	3. 15	第二市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	8. 3～16	市内中学校・中等教育学校の生徒44人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	8. 31	小学校（市内全校）空調整備工事完成
	9. 19	田島弥平旧宅が国指定史跡に指定
2013	25. 1. 28	幼稚園（市内全園）空調整備工事完成
	3. 15	中学校（市内全校）空調整備工事完成
	3. 15	あずま体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立特別支援学校として県へ移管
	4. 1	新公益法人制度により財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市体育協会へ移行
	4. 1	赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
	8. 3～16	海外語学研修の参加生徒数を60人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	11. 29	第一幼稚園園舎耐震補強工事完成
	12. 13	境小学校、境采女小学校校舎耐震補強工事完成
	12. 27	第三中学校体育館耐震補強工事完成

2014	26. 1. 31	広瀬小学校体育館耐震補強工事完成	
	2. 10	殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事完成	
	2. 28	市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成	
	3. 14	赤堀体育館改修工事（更衣室・トイレ・事務室）完成	
	6. 25	田島弥平旧宅「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産登録	
	8. 2～15	海外語学研修の参加生徒数を70人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施	
	10. 6	上野国佐位郡正倉跡が国指定史跡に指定	
	10. 31	殖蓮第二小学校校舎耐震補強工事完成	
	11. 10	南幼稚園園舎耐震補強工事完成	
	11. 14	境采女小学校校舎耐震補強工事（第2期）完成	
	11. 17	境東小学校校舎耐震補強工事（第1期）完成	
	2015	27. 1. 16	広瀬小学校校舎耐震補強工事完成
		1. 30	第三中学校校舎耐震補強工事完成
2. 6		小学校トイレ改修工事完成（9校）	
2. 20		宮郷中学校体育館耐震補強及び増築工事完成	
2. 20		あずまスタジアムスタンド等改修工事完成	
3. 14		赤堀中学校全面改築竣工式	
3. 16		境公民館全面改築竣工式	
7. 17		学校規模の適正化に関する基本方針の決定	
11. 13		地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正により「総合教育会議」設置 第1回総合教育会議の実施	
2016		28. 1. 29	小学校トイレ改修工事完成（6校）
	2. 16	教育に関する「大綱」の策定	
	2. 19	境いよくテニス場人工芝張替工事完成	
	3. 26	境島小学校閉校式	
	3. 31	境島小学校閉校	
	3. 31	伊勢崎市西小保方沼公園グラウンドゴルフ場完成（平成28年5月11日オープン）	
	8. 12～18	夏季休業中における学校閉庁日開始（毎年1週間程度実施）	
	10. 19	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定締結を更新・継続に係る調印	
2017	29. 1. 27	あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場完成	
	2. 22	小学校トイレ改修工事完成（8校）	
	3. 10	あずま総合運動公園テニスコート改修・照明設備改修工事完成	
	3. 13	三郷小学校プール改修工事・機械設備工事完成	
	3. 17	就学前教育・保育のあり方に関する基本方針の決定	
	3. 23	北公民館耐震改修工事・機械設備工事完成	
	3.	旧境島小学校校舎の有効活用に関する計画書の策定	
	4. 1	豊受幼稚園休園 新教育委員会制度に全面移行 3年保育試行実施（第一幼稚園、名和幼稚園、あかぼり幼稚園） すべての中学校区毎にコミュニティ・スクールを設置し「伊勢崎学府制」がスタート	

		一般財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会へ団体名変更
		伊勢崎市つなとりスポーツ広場（旧仮称スポーツ広場）が高齢政策課より移管
2018	12. 7	中学校トイレ改修工事完成（10校）
	30. 3. 9	境南中学校校庭整備工事完成
	3. 15	陸上競技場2種公認整備工事完成
	3. 16	伊勢崎市野球場スコアボード改修工事完成（磁気反転式→LED）
	3. 20	名和小学校プール新築工事完成
	4. 1	3年保育実施（殖蓮幼稚園、宮郷幼稚園、あずま幼稚園）
	7. 9	夏休み子どもイベントinいせさき パンフレット作成
	9. 8	田島弥平旧宅案内所開所
	12. 28	陸上競技場管理棟耐震改修工事完成
2019	31. 3. 15	第一学校給食調理場新築工事完成
	3. 28	宮郷公民館全面改築竣工式

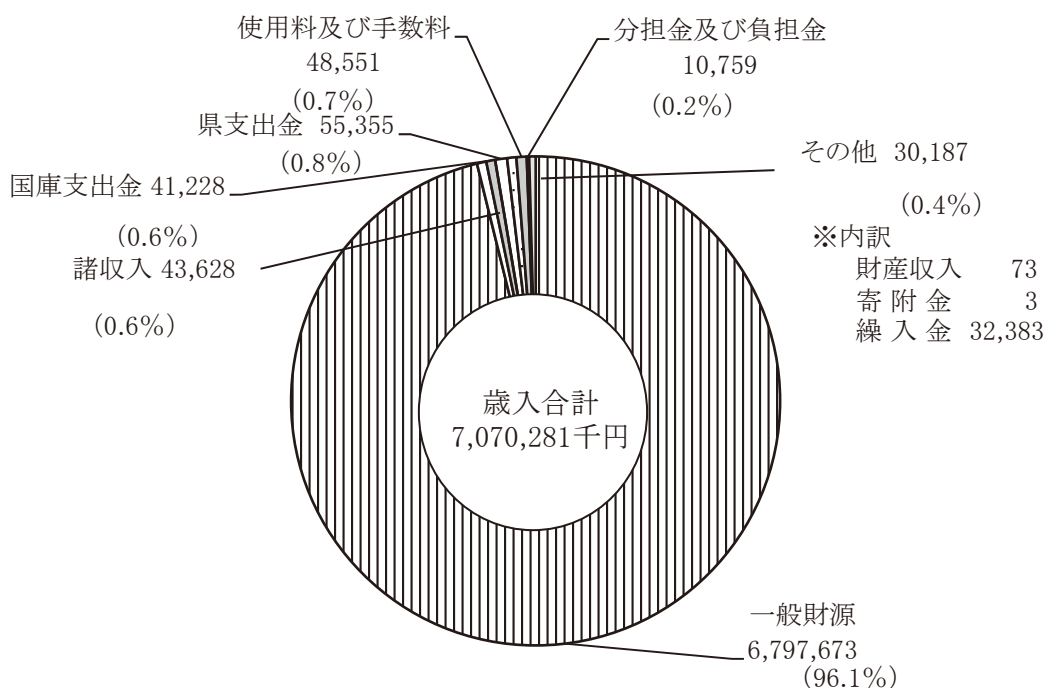
〈令和から〉

西暦	年代	主 な 事 項
2020	令和元. 8. 27	第一学校給食調理場給食提供開始 （旧）第一学校給食調理場、赤堀学校給食調理場、あずま学校給食調理場閉場
	10.	2018/2019シーズン 伊勢崎市の小学生における季節性インフルエンザ調査に協力し報告書完成（群馬大学大学院医学系研究科）
	令和2. 2. 13	教育部所管施設個別施設計画の策定
	3.	第2期伊勢崎市教育振興基本計画の策定
	3.	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業（小・中学校・四ツ葉学園中等教育学校及び教育関連施設）
	3. 13	赤堀体育館屋根・外壁改修工事完成
	3. 25	あずま小学校プール改築工事完成
2021	3. 26	あずま小学校校舎増築工事完成
	12. 11	あずまウォーターランドパネルヒーター交換工事
	令和3. 3. 1	史跡田島弥平旧宅別荘・冷蔵庫跡修復整備工事完成
	3. 15	三室西公園運動場駐車場造成工事
	3. 15	華蔵寺公園運動施設電気設備更新工事
	3. 23	宮郷中学校プール新築工事完成

令和3年度教育費に係る一般会計予算

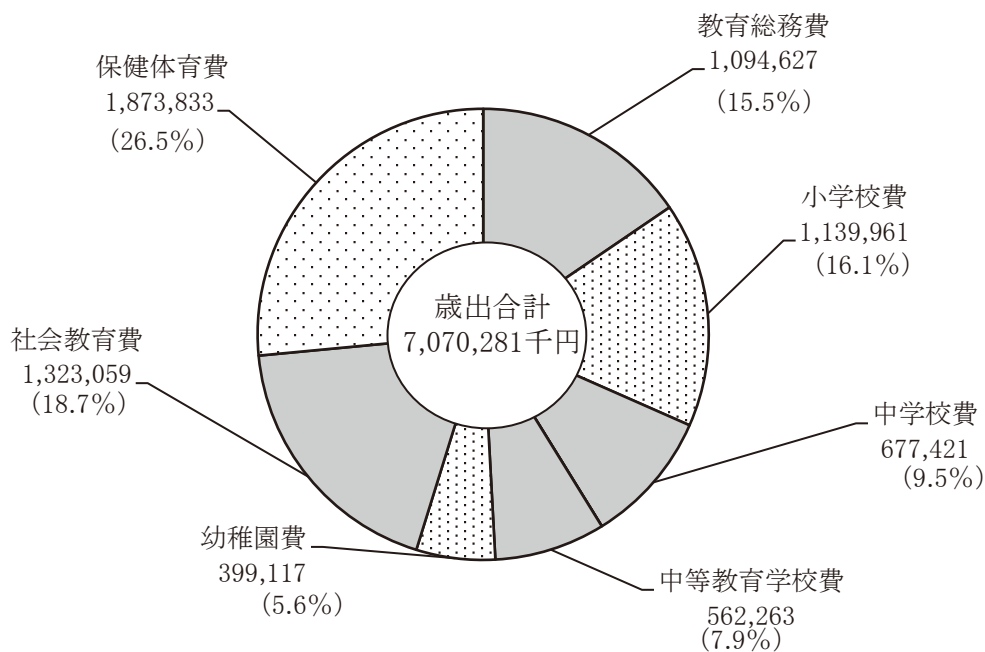
歳入

(単位:千円)



歳出

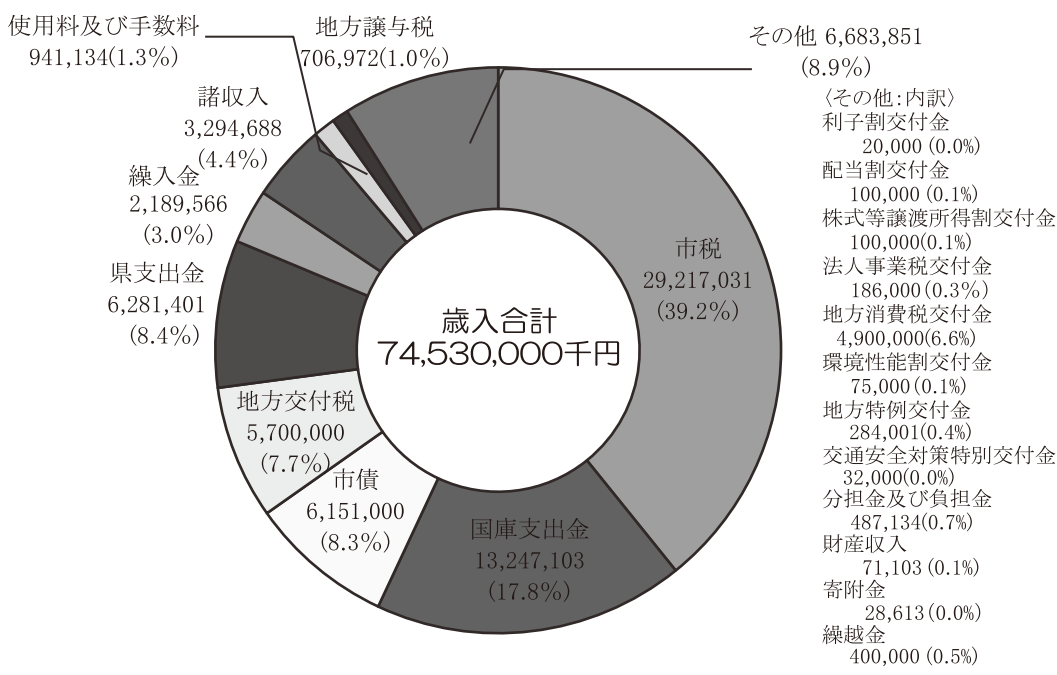
(単位:千円)



令和3年度伊勢崎市一般会計予算

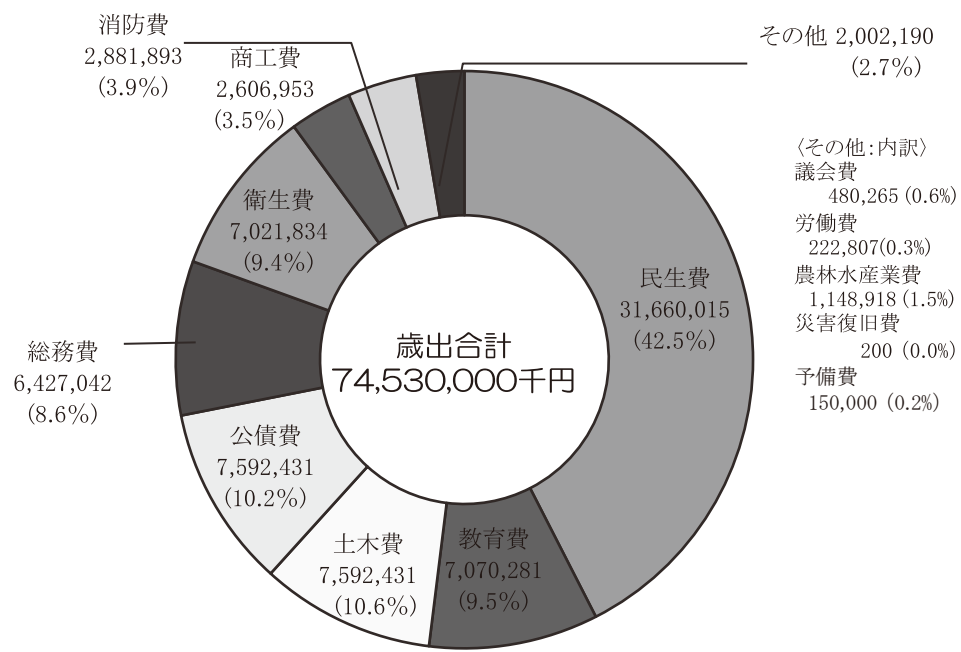
歳入

(単位:千円)



歳出

(単位:千円)



令和3年度 教育費項目別予算

項 目	年 度		令 和 2 年 度 (B)		比較 (A)-(B)	前年度比 (A) / (B)	令 和 2 年 度 決算見込額
	令 和 3 年 度 (A)		予 算 額	構 成 比			
1 教育総務費	千円 1,094,627	% 15.48	千円 1,017,167	% 14.37	千円 77,460	% 107.62	千円 989,322
1 教育委員会費	4,701	0.07	4,656	0.07	45	100.97	3,708
2 事務局費	931,641	13.18	881,514	12.46	50,127	105.69	886,318
3 教育指導費	86,618	1.23	58,863	0.83	27,755	147.15	43,202
4 教育研究所費	50,423	0.71	48,254	0.68	2,169	104.49	49,103
5 臨海学校費	21,244	0.30	23,880	0.34	-2,636	88.96	6,991
2 小学校費	1,139,961	16.12	1,125,117	15.90	14,844	101.32	1,748,521
1 学校管理費	815,612	11.54	832,327	11.76	-16,715	97.99	863,481
2 教育振興費	324,349	4.59	292,790	4.14	31,559	110.78	885,040
3 学校建設費	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
3 中学校費	677,421	9.58	738,925	10.44	-61,504	91.68	1,192,943
1 学校管理費	373,090	5.28	422,779	5.97	-49,689	88.25	425,913
2 教育振興費	304,331	4.30	316,146	4.47	-11,815	96.26	601,088
3 学校建設費	0	0.00	0	0.00	0	0.00	165,942
4 中等教育学校費	562,263	7.95	560,306	7.92	1,957	100.35	568,422
1 中等教育学校総務費	469,455	6.64	468,594	6.62	861	100.18	451,871
2 学校管理費	55,169	0.78	54,181	0.77	988	101.82	41,489
3 教育振興費	37,639	0.53	37,531	0.53	108	100.29	75,062
5 幼稚園費	399,117	5.64	393,169	5.56	5,948	101.51	380,197
1 幼稚園費	399,117	5.64	393,169	5.56	5,948	101.51	380,197
6 社会教育費	1,323,059	18.71	1,375,499	19.44	-52,440	96.19	1,269,207
1 社会教育総務費	923,582	13.06	918,477	12.98	5,105	100.56	902,495
2 公民館費	124,827	1.77	140,390	1.98	-15,563	88.91	119,517
3 図書館費	136,780	1.93	134,041	1.89	2,739	102.04	128,781
4 青少年対策費	19,740	0.28	35,464	0.50	-15,724	55.66	26,592
5 文化財保護費	118,130	1.67	147,127	2.08	-28,997	80.29	91,822
7 保健体育費	1,873,833	26.50	1,866,477	26.38	7,356	100.39	1,463,725
1 保健体育総務費	1,517,907	21.47	1,438,461	20.33	79,446	105.52	1,091,481
2 体育施設費	355,926	5.03	428,016	6.05	-72,090	83.16	372,244
計	7,070,281	100.00	7,076,660	100.00	-6,379	99.91	7,612,337

教育費年度別決算額一覽

項 目	年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
1 教育総務費		千円 1,374,160	千円 1,494,528	千円 1,315,007	千円 989,322
1 教育委員会費		4,166	4,256	4,320	3,708
2 事務局費		877,403	971,281	995,858	886,318
3 教育指導費		331,077	240,270	241,098	43,202
4 教育研究所費		83,222	45,102	45,116	49,103
5 臨海学校費		78,292	233,619	28,615	6,991
2 小学校費		1,293,307	987,408	1,369,046	1,748,521
1 学校管理費		778,306	643,404	590,339	863,481
2 教育振興費		330,267	335,148	449,631	885,040
3 学校建設費		184,734	8,856	329,076	0
3 中学校費		1,606,773	744,186	527,422	1,192,943
1 学校管理費		1,381,713	504,499	292,394	425,913
2 教育振興費		225,060	234,449	235,028	601,088
3 学校建設費		0	5,238	0	165,942
4 中等教育学校費		612,332	629,810	534,260	568,422
1 中等教育学校総務費		458,991	446,726	446,324	451,871
2 学校管理費		119,009	149,063	53,755	41,489
3 教育振興費		34,332	34,021	34,181	75,062
5 幼稚園費		449,908	447,701	381,273	380,197
1 幼稚園費		449,908	447,701	381,273	380,197
2 学校建設費		0	0	0	0
6 社会教育費		1,709,166	1,802,774	1,406,625	1,269,207
1 社会教育総務費		1,081,911	910,901	899,338	902,495
2 公民館費		273,712	555,521	160,197	119,517
3 図書館費		162,602	157,746	148,333	128,781
4 青少年対策費		20,291	21,299	24,776	26,592
5 文化財保護費		170,650	157,307	173,981	91,822
7 保健体育費		1,850,096	2,144,748	1,891,695	1,463,725
1 保健体育総務費		1,092,413	1,303,366	1,390,216	1,091,481
2 体育施設費		757,683	841,382	501,479	372,244
計		8,895,742	8,251,155	7,425,328	7,612,337

Ⅱ 教育施設



中学校プール改築工事
(宮郷中学校)

教育施設一覽

1 幼稚園

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
第 一 幼 稚 園	曲輪町24番26号	明治23年 5月12日	4	37	35	72	0	6(2)	8
南 幼 稚 園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日	1	1	2	3	0	2	2
殖 蓮 幼 稚 園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	3	33	26	59	0	3(2)	5
茂 呂 幼 稚 園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月21日	2	5	5	10	0	2(1)	3
三 郷 幼 稚 園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	2	6	3	9	(1)	2(1)	4
宮 郷 幼 稚 園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	3	30	26	56	0	4	4
名 和 幼 稚 園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	3	33	21	54	(1)	3(1)	5
あ か ぼ り 幼 稚 園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	5	48	47	95	0	7(1)	8
あ ず ま 幼 稚 園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	5	39	48	87	0	6(2)	8
合 計			28	232	213	445	(2)	35(10)	47

2 小学校

北 小 学 校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	18	197	203	400	13	20	33
南 小 学 校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	15	145	120	265	7	17	24
殖 蓮 小 学 校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	24	288	260	548	12	19	31
茂 呂 小 学 校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	30	401	378	779	15	25	40
三 郷 小 学 校	波志江町1620番地	明治 7年 2月28日	26	335	345	680	10	24	34
宮 郷 小 学 校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	33	435	417	852	13	28	41
名 和 小 学 校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	21	249	221	470	11	16	27
豊 受 小 学 校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	22	293	229	522	12	17	29
北 第 二 小 学 校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	12	126	88	214	7	11	18
殖 蓮 第 二 小 学 校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	16	211	191	402	11	13	24
広 瀬 小 学 校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	22	245	230	475	11	21	32
坂 東 小 学 校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	22	219	251	470	11	20	31
宮 郷 第 二 小 学 校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	26	319	307	626	13	21	34
赤 堀 小 学 校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	23	286	289	575	11	22	33
赤 堀 南 小 学 校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	22	277	265	542	9	19	28
赤 堀 東 小 学 校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	15	173	157	330	8	15	23
あ ず ま 小 学 校	東町2770番地	明治 6年 7月15日	23	273	287	560	14	20	34
あ ず ま 南 小 学 校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	21	295	264	559	10	17	27
あ ず ま 北 小 学 校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	21	236	230	466	7	20	27
境 小 学 校	境515番地	明治 7年 3月 1日	15	168	181	349	11	15	26
境 采 女 小 学 校	境下刈名2020番地	明治22年 4月 1日	18	212	213	425	8	17	25
境 剛 志 小 学 校	境下武士831番地	明治 6年11月20日	13	142	140	282	8	10	18
境 東 小 学 校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	15	155	151	306	9	14	23
合 計			473	5,680	5,417	11,097	241	421	662

3 中学校

第 一 中 学 校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	19	255	272	527	22	13	35
第 二 中 学 校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	18	222	263	485	18	14	32
第 三 中 学 校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	23	324	316	640	22	20	42
第 四 中 学 校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	19	253	272	525	20	14	34
殖 蓮 中 学 校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月29日	18	270	220	490	22	14	36
宮 郷 中 学 校	田中島町1065番地	昭和22年 4月29日	24	366	378	744	22	18	40
赤 堀 中 学 校	西久保町二丁目329番地1	昭和22年 4月 1日	27	382	369	751	30	16	46
あ ず ま 中 学 校	東町2707番地2	昭和22年 4月29日	29	409	403	812	28	21	49
境 北 中 学 校	境下刈名2011番地1	昭和22年 1月 1日	8	68	99	167	9	8	17
境 西 中 学 校	境下武士872番地2	昭和22年 4月29日	8	93	91	184	9	7	16
境 南 中 学 校	境188番地	昭和39年 4月 1日	15	171	179	350	15	14	29
合 計			208	2,813	2,862	5,675	217	159	376

令和3年5月1日現在

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
0	0	0	(1)	0	9	3,251	1,045		
0	0	0	(1)	0	3	3,409	857		
0	0	0	(1)	0	6	4,254	681		
0	0	0	(1)	0	4	3,963	592		
0	0	0	(1)	0	5	1,733	370		
0	0	0	(1)	0	5	3,400	904		
0	0	0	(1)	0	6	3,653	689		
0	0	0	(1)	0	9	4,781	959		
0	0	0	(1)	0	9	7,822	913		
0	0	0	(9)	0	56	41,389	7,758		

1	0	1	(1)	0	35	23,697	7,421	1,053	
1	0	1	(1)	0	26	26,814	5,312	900	
1	0	1	(2)	0	34	28,059	6,448	1,401	
2	0	2	(2)	0	44	25,740	5,940	895	
1	0	1	(2)	0	37	31,250	5,327	900	
2	0	2	(2)	0	45	29,482	6,209	910	
1	0	1	(1)	0	29	32,188	5,469	891	
1	0	1	(2)	0	32	34,908	5,797	891	
1	0	1	(1)	0	20	16,513	3,752	918	
1	0	1	(1)	0	26	33,319	5,431	870	
1	0	1	(2)	0	35	31,800	6,601	868	
1	0	1	(1)	0	33	32,999	5,119	900	
2	0	2	(2)	2	40	31,802	7,456	1,229	
1	0	1	(2)	0	36	27,456	4,949	844	
1	0	1	(1)	0	30	20,778	5,556	924	
1	0	1	1	1	26	28,223	4,718	1,116	
1	0	1	(2)	2	39	28,439	5,344	965	
1	0	1	(2)	0	30	27,596	4,859	898	
1	0	1	(1)	0	29	26,478	4,421	908	
1	0	1	(1)	0	28	25,191	5,006	1,008	
1	0	1	(1)	1	28	22,416	4,777	1,100	
1	0	1	(1)	0	20	15,406	4,511	750	
1	0	1	(1)	0	25	15,029	3,461	746	
26	0	26	1(32)	6	727	615,583	123,884	21,885	

1	0	1	(2)	0	38	38,323	6,623	1,442	
2	0	2	(2)	0	36	48,551	8,223	1,450	
2	0	2	(2)	0	46	38,385	6,889	1,484	
1	0	1	(2)	0	37	43,976	8,110	1,450	
1	0	1	(2)	2	41	38,919	7,372	1,450	
2	0	2	(2)	0	44	50,727	8,447	1,779	
2	0	2	(2)	0	50	45,312	9,118	1,891	平成27年4月1日移転
2	0	2	(2)	0	53	36,339	9,373	1,495	
1	0	1	(1)	0	19	30,857	4,439	1,179	
1	0	1	(1)	0	18	26,385	4,033	1,159	
1	0	1	(1)	1	32	29,306	5,598	1,205	
16	0	16	(19)	3	414	427,080	78,225	15,984	

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

4 中等教育学校

区 分	所 在 地	創立年月日	学級数	児童・生徒数			教職員数 教 員		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
四ツ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	24	366	384	750	46	25	71

5 教育研究所

区 分	所 在 地	設置(建物)年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

6 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

7 学校給食センター

第一東学校給食調理場	西小保方町692番地5	平成31年 3月	10,752.00	6,289.99
第一西学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下瀬名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

8 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	998.12
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	3,798.36	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	513.05
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1102番地	平成31年 3月22日	5,483.93	1,154.76
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	5,317.24	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495、別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境598番地 1	平成27年 2月16日	8,729.14	903.57
境 采 女 公 民 館	境下瀬名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	769.04
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

9 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町215番地1	平成26年10月31日	1,622.21	171.48
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

10 青少年育成センター

青少年育成センター	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,165.80	2,189.62
-----------	-------------	-------------	-----------	----------

11 図書館

伊勢崎市図書館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,158.94	2,762.41
赤 堀 図 書 館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日	—	400.50
あ ず ま 図 書 館	田部井町三丁目2091番地	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境 図 書 館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,557.49	1,433.90
境 絹 の 図 書 館	境724番地1	昭和61年 4月 1日	—	360.62

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
1	4	5	1(1)	0	78	58,869	12,046	5,098	

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

備 考
教科書センター併設

収容人数 220人

給食能力 副食 約12,000食
〃 副食 9,000食
〃 副食 約2,000食
〃 副食 約3,000食

対象地区人口(令和3年4月1日現在) 9,477 人
〃 7,000 人
〃 21,246 人
〃 17,535 人
〃 14,688 人
〃 27,074 人
〃 17,274 人
〃 18,293 人
〃 23,917 人
〃 26,849 人
〃 6,651 人
〃 8,350 人
〃 6,727 人
〃 1,215 人
〃 6,650 人

敷地は借地

建物面積 (本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)
--

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)
境図書館と同敷地

12 文化施設

区 分	所 在 地	設置 (建物) 年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
文 化 会 館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	11,167.01
赤堀芸術文化プラザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	10,203.70	2,581.70
境総合文化センター	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,537.39
境 赤 レンガ 倉庫	境765番地1	平成30年 4月1日	1,429.78	599.01

13 文化財施設

赤堀歴史民俗資料館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
田島弥平旧宅案内所	境島村1968番地40	平成 5年 3月 1日	—	390.00

14 青少年指導センター

青少年指導センター	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日	—	33.75
-----------	------------	-------------	---	-------

15 スポーツ施設

市民体育館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,966.54
第二市民体育館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭球場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野球場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸上競技場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソフトボール場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第二グラウンド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補助競技場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓道場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相撲場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
市民プール	堤西町114番地	昭和46年 6月	7,781.62	1,242.24
つなとりスポーツ広場	連取町3008番地1	平成29年 4月	29,786.88	
赤堀体育館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤堀剣道場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニスコート	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニスコート	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.97	管理棟 103.90
あかぼり運動公園野球場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニスコート	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤堀香林運動公園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五目牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あずま体育館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あずまスタジアム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あずま弓道場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あずま総合運動場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.10	69.30
三室西公園運動場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォーターランド	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
西小保方沼公園グラウンドゴルフ場	西小保方町692番地	平成28年3月	21,762.75	便所、倉庫外74.1
境体育館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境武道館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境いよく野球場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境いよくテニスコート	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境弓道場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境総合運動場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境上武公園野球場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境上武公園テニスコート	境上矢島678番地	昭和50年11月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利根川河川境運動場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
境矢ノ原公園運動場	境東新井1048番地24	平成 2年 3月	7,140.00	
ラグビー場	境島村3454番地297	平成22年 5月	17,654.00	
境プール	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備	考
大ホール固定席 1,440席、車椅子席 6席、親子室 8席、立見 76人	小ホール固定席 494席、立見 56人 第1～5展示室
ホール固定席 511席、車椅子席 2席、親子室 7席、立見 28人	展示コーナー
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、親子室 5席、立見 56人	小ホール移動席 204席 一般展示室 展示ロビー
ホール 多目的スペース 交流ラウンジ	

展示室2室、復元民家、研修室
展示室2室、多目的室1室、倉庫、給湯室、事務室、多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレ

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室 2F メインフロア (バスケットボール3面・バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面)、観客席864人 3F ジョギングコース1周210m、観客席1045人+身障者スペース
メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン8面)
人工クレーコート12面 観客席1,200人 夜間照明
軟式野球・硬式野球 両翼98m・センター122m 内野スタンド3,200人・外野スタンド6,800人 夜間照明
公認二種 400mトラック(8コース) 観客席5,000人
両翼・センター70m 観客席1,334人 夜間照明
ソフトボール 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
公認50m(9コース)、25m(7コース)、流水120m、スライダー(ループ、ストレート)、子供プール、スライダープール スタンド2000人
サッカー、野球2面(サッカーと野球の併用不可)
メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場、ギャラリー(卓球2台)
1面
軟式野球・ソフトボール2面 両翼90m 内野スタンド70人 夜間照明
全天候2面、クレー2面 夜間照明
人工芝8面(4面 夜間照明)
少年野球、フットサル2面 夜間照明
軟式野球・ソフトボール 両翼90m・センター110m 観客席54人
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球・ソフトボール・グラウンドゴルフ 両翼88m
天然芝16ホール
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール3面・バドミントン6面)、2F ギャラリー(卓球6台)
人工芝2面、クレー2面 夜間照明
硬式野球・軟式野球・ソフトボール 両翼98m・センター122m 内野スタンド1,200人・外野スタンド2,300人 夜間照明
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち、遠的3人立ち
軟式野球2面・ソフトボール4面、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ 夜間照明
ソフトボール、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝(105m×68m)1面・少年用(72m×50m)2面 スタンド約300人 夜間照明
1F 25m(6コース)、幼児用プール、スライダー、屋外プール、サウナ室、2F トレーニングルーム
常設グラウンドゴルフ場1面(8ホール×3コース)、多目的使用エリア
バスケットボール1面・バレーボール2面・バドミントン3面、卓球室
剣道場2面、柔道場2面
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター89m 夜間照明
人工芝4面 夜間照明
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレー4面
天然芝16ホール、ターゲットバードゴルフ場
天然芝16ホール
軟式野球・ソフトボール
ソフトボール・少年野球 レフト78m・ライト72m・センター90m
天然芝
流水プール、幼児用プール、スライダープール、スライダー

令和2年度施設建設等主要事業

実施した校舎建設等の主要事業は、次のとおりです。

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
三郷小学校インターホン設置工事	三郷小学校にインターホンを設置する工事	6,083,000				6,083,000
名和小学校東校舎外壁改修工事	名和小学校の東校舎外壁を改修する工事	1,298,000				1,298,000
茂呂小学校校舎屋上防水改修工事	茂呂小学校の校舎屋上防水を改修する工事	36,388,000				36,388,000
あずま北小学校プールろ過機改修工事	あずま北小学校のプールろ過機を改修する工事	6,897,000				6,897,000
赤堀小学校プール改修工事	赤堀小学校のプールを改修する工事	15,609,000				15,609,000
南小学校外4校遊具改修工事	南小学校・北第二小学校・殖蓮第二小学校・赤堀小学校・あずま北小学校の遊具を改修する工事	6,061,000				6,061,000
境采女小学校プールサイド改修工事	境采女小学校のプールサイドを改修する工事	8,987,000				8,987,000
名和小学校校庭整備工事	名和小学校の校庭を整備する工事	1,226,500				1,226,500
北第二小学校校舎屋上防水改修工事	北第二小学校の校舎屋上防水を改修する工事	1,210,000				1,210,000
名和小学校フェンス改修工事	名和小学校のフェンスを改修する工事	1,518,000				1,518,000
南小学校焼却炉外撤去工事	南小学校の焼却炉外を撤去する工事	1,265,000				1,265,000
赤堀小学校給食受入室改修工事	赤堀小学校の給食受入室を改修する工事	6,490,000				6,490,000
北小学校空調設備更新工事(第2期)	北小学校の空調設備を更新する工事(第2期)	47,388,000				47,388,000
宮郷小学校管理諸室空調設備更新工事	宮郷小学校の管理諸室空調設備を更新する工事	17,600,000				
名和小学校管理諸室空調設備更新工事	名和小学校の管理諸室空調設備を更新する工事	14,410,000	10,064,000	30,259,000		2,357,000
赤堀東小学校管理諸室空調設備更新工事	赤堀東小学校の管理諸室空調設備を更新する工事	10,670,000				
広瀬小学校管理諸室空調設備更新工事	広瀬小学校の管理諸室空調設備を更新する工事	6,479,000				6,479,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
境南中学校教室改修工事	境南中学校の教室を改修する工事	3,080,000				3,080,000
殖蓮中学校昇降口外壁改修工事	殖蓮中学校の昇降口外壁を改修する工事	1,221,000				1,221,000
第四中学校校舎屋上防水改修工事	第四中学校の校舎屋上防水を改修する工事	42,537,000				42,537,000
宮郷中学校増築北校舎屋上防水改修工事	宮郷中学校の増築北校舎屋上防水を改修する工事	11,011,000				11,011,000
第三中学校高压引込設備改修工事	第三中学校の高压引込設備を改修する工事	1,628,000				1,628,000
境南中学校放送室改修工事	境南中学校の放送室を改修する工事	2,508,000				2,508,000
宮郷中学校監視カメラ更新工事	宮郷中学校の監視カメラを更新する工事	2,033,900				2,033,900
あずま中学校教室改修工事	あずま中学校の教室を改修する工事	1,287,000				1,287,000
第三中学校焼却炉撤去工事	第三中学校の焼却炉を撤去する工事	1,265,000				1,265,000
第二中学校管理諸室空調設備更新工事	第二中学校の管理諸室空調設備を更新する工事	16,984,000	3,938,000	12,041,000		1,005,000
宮郷中学校プール改築工事	宮郷中学校のプールを改築する工事	129,316,000				
宮郷中学校プール改築機械設備工事	宮郷中学校プール改築工事に伴う機械設備工事	32,362,000	48,280,000	105,200,000		12,461,600
宮郷中学校プール改築電気設備工事	宮郷中学校プール改築工事に伴う電気設備工事	4,263,600				
殖蓮幼稚園トイレ増設工事	殖蓮幼稚園のトイレを増設する工事	5,060,000				
殖蓮幼稚園トイレ増設機械設備工事	殖蓮幼稚園トイレ増設工事に伴う機械設備工事	4,719,000	2,738,000	6,500,000		541,000
第一幼稚園プール改築工事	第一幼稚園のプールを改築する工事	6,589,000				6,589,000
宮郷幼稚園外廊下デッキ改修工事	宮郷幼稚園の外廊下デッキを改修する工事	1,276,000				1,276,000
臨海学校受水槽外改修工事	臨海学校の受水槽外を改修する工事	1,892,000				1,892,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
(旧) 第一学校給食調理場解体工事	(旧) 第一学校給食調理場を解体する工事	86,240,000		73,700,000		12,540,000
あずま公民館2階和室エアコン改修工事	あずま公民館2階和室のエアコンを改修する工事	1,254,000				1,254,000
あずま公民館消防設備等改修工事	あずま公民館の消防設備等を改修する工事	1,782,000				1,782,000
南公民館空調機改修工事	南公民館の空調機を改修する工事	6,930,000				6,930,000
赤堀公民館渡り廊下改修工事	赤堀公民館の渡り廊下を改修する工事	14,850,000				14,850,000
境剛志公民館調理室エアコン取替工事	境剛志公民館調理室のエアコンを改修する工事	3,300,000				3,300,000
史跡田島弥平旧宅別荘第4次整備工事	史跡田島弥平旧宅別荘を改修し整備する工事	18,150,000	9,075,000		4,537,500	4,537,500
赤堀歴史民俗資料館照明設備改修工事	1階事務室、2階研修室の照明設備をLED化する工事	1,089,000				1,089,000
華蔵寺公園運動施設電気設備更新工事	華蔵寺公園運動施設において、電気設備を更新する工事	19,860,500				19,860,500
三室西公園駐車場造成工事	三室西公園の駐車場を増設する工事	23,353,000				23,353,000
あずまウォーターランドパネルヒーター交換工事	あずまウォーターランドのパネルヒーターの交換と配管改修をする工事	24,288,000				24,288,000
あずまテニスコート防球ネット設置工事	あずま総合運動場テニスコートの南及び東側に防球ネットを設置する工事	2,613,600				2,613,600
あずま弓道場建具設置工事	あずま弓道場の近的射場に建具を設置する工事	2,717,000				2,717,000
境いよく野球場防球ネット設置工事	境いよく野球場のレフト側に防球ネットを設置する工事	4,360,000				4,360,000
境いよく野球場外野ファウルライン人工芝設置工事	境いよく野球場の外野ファウルライン上に白線入り人工芝を設置する工事	2,002,000				2,002,000
境総合運動場日除け屋根新設外屋根改修工事	境総合運動場の南北バックネット両側に日除け用の屋根を設置する工事及び管理棟の屋根を改修する工事	3,465,000				3,465,000

令和3年度施設建設等主要事業計画

校舎建設等の主要事業は、次のとおりである。

- 1 境采女小学校校庭整備工事
- 2 あずま小学校防火区画改修工事
- 3 坂東小学校フェンス改修工事
- 4 赤堀南小学校防水改修工事
- 5 坂東小学校防水改修工事
- 6 北小学校空調設備更新工事（第3期）
- 7 南小学校管理諸室空調設備更新工事
- 8 境剛志小学校管理諸室外空調設備更新工事
- 9 殖蓮中学校南校舎外壁改修工事
- 10 境北中学校外壁改修工事
- 11 第三中学校インターホン設置工事
- 12 名和幼稚園フェンス改修工事
- 13 境第二学校給食調理場熱風乾燥機用プレートフィンヒーター交換工事
- 14 境第二学校給食調理場北面外壁改修工事
- 15 境第二学校給食調理場検収室給排水設備工事
- 16 茂呂公民館下水道接続工事
- 17 南公民館空調機改修工事
- 18 茂呂公民館会議室エアコン改修工事
- 19 三室町集会所エアコン取替工事
- 20 伊勢崎市図書館P A S ・ O C R 更新工事
- 21 田島弥平旧宅建造物修復整備工事（東門）
- 22 田島弥平旧宅案内所電気設備更新工事
- 23 赤堀歴史民俗資料館照明設備改修工事
- 24 伊勢崎市ラグビー場整備工事
- 25 市民体育館防火設備改修工事

Ⅲ 学校教育



タブレットを活用し、作文の構想メモを作成（3年生国語）（三郷小学校）

令和3年度 主要事業

1 全市的な研修

- ①幼小中連携研修：教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修
- ②小中教科等研修：小1 2、中1 3、小中合同4（養護教諭、特別支援教育[知的・情緒]、通級指導教室）
- ③実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ④幼稚園一日研修：保育の改善・充実のための保育研究（会場：第一幼稚園）

2 学校訪問

- ①経営訪問：経営課題の協議、授業参観
- ②要請訪問：授業参観、研修主題に基づく協議、授業研究会、個別指導等及び、随時要請に応じた実施
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会

3 指定校等

<文部科学省・県教育委員会等指定校>

- ①小学校全2 3校：「教育課程特例校」 文部科学省 R2～
- ②殖蓮中学校：「ぐんまの子どもの体力向上推進事業体力向上推進モデル校」 県教委健康体育課 R2・R3
- ③北小学校：「ICT活用促進プロジェクト（指定校事業）実践推進校」 県教委義務教育課 R3
- ④三郷小学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」 社会福祉協議会 R3

<市教育委員会指定校>

- 第一幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」 R3
- 北小学校：「ICT活用推進モデル校事業」 R3

4 市教委主催の研修等

- ①管理職研修
- ②教務主任研修
- ③研修主任研修(確かな学力向上推進委員会)
- ④生徒指導主任研修（生徒指導主任研究協議会）
- ⑤人権教育主任研修
- ⑥情報教育主任研修
- ⑦健康教育担当者研修
- ⑧教科等指導員研修
- ⑨小学校英語研修
- ⑩日本語教室担当教員研修
- ⑪学校経営研修
- ⑫事務職員研修
- ⑬特別支援教育コーディネーター研修
- ⑭通級指導教室担当教員連絡協議会
- ⑮外国籍児童生徒学校生活支援助手研修
- ⑯食育推進担当者研修（食育実践研究会）
- ⑰教育相談研究協議会

学力向上

本市では、学力向上対策推進事業として「伊勢崎学校教育構想2021」における教育プランの一つとして「21世紀型学力向上プラン」を実施する。「21世紀型学力向上プラン」は、本市で目指す子供像「『生きる力』を身に付け、実践する、自立した子供」の具現化に向けて、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子供」の育成に重点を置き、教師・子供・保護者の三者が一体となり、「確かな学力」を培おうとするものである。事業の内容は、①学力検査結果の分析等による児童生徒の実態把握に基づいた学力向上対策の計画的な推進を図ること、②考えを交流し合い、「『なぜ?』『なるほど!』『もっとやってみよう!!』を大切に授業」を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ること、③教師の専門性や特技・特性を生かした「教科分担制」の導入等により授業の質を高めること、④教科等横断的な学び等のカリキュラム・マネジメントを促進していくこと、⑤家庭学習の手引きの活用や子供たちの取り組みのよさを認め合う活動を取り入れること、⑥9年一貫指導における英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図ること、⑦ICT機器等を効果的に活用していくこと、以上7点である。

学力向上対策にかかわる全市的な教職員研修としては、「中学校区別研修会」を開催し、市内11中学校区ごとにそれぞれの校区の幼稚園・小学校・中学校の教員が全員参加して、連携した継続性のある教育活動の在り方を検討する。さらに、「共通授業研究会」を小・中学校の各校種で教科別に実施し、授業研究を基にして指導力向上を図るとともに、「実技等研修」を実施し、教員の資質や専門的な能力の向上を図る。幼稚園については、「幼稚園一日研修」を実施し、保育研究を基にして保育改善を図る。

各校園の校園内研修を支援する体制としては、研修主任を委員とした「確かな学力向上推進委員会」を設置し、研修の計画・実施・まとめ、基礎・基本の確実な定着、学習習慣の定着化などについて協議できるようにする。

学校訪問については、学校経営上の課題解決を支援するための「経営訪問」を1学期に、校内研修で取り組んでいる学習指導上の課題解決を支援するための「要請訪問」を2学期に全小・中学校で実施する。

児童生徒に基礎・基本の確実な定着を図るために、標準学力検査を実施し、結果等を分析し授業改善の方策を具体化して、実際の指導に役立てる。また、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語では、「学力向上プリント」を授業や家庭学習等で活用していく。

学校・幼稚園訪問

1 趣 旨

学習指導要領・幼稚園教育要領、群馬県教育委員会の「学校教育の指針」、本市教育委員会の「学校教育方針」及び「伊勢崎学校教育構想2021」に基づいた学校・幼稚園経営、教育課程の編成実施、教職員の指導力の向上、学力向上、生徒指導等の改善・充実を図るために、事務局職員等が学校・幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる。

2 各訪問の概要

<小・中・中等教育学校>

(1) 経営訪問(1学期)

学習指導要領や「伊勢崎学校教育構想2021」に基づいた学校経営(教育課程の編成・実施、学力向上、学習指導、生徒指導等を含む)上の課題やその解決策等について協議を行う。

(2) 要請訪問

学習指導上の課題解決のための援助を中心に、校内研修、指定研修への対応、授業研究等、学校からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

<幼稚園>

(1) 幼稚園訪問(1・2学期)

幼稚園教育要領や「伊勢崎学校教育構想2021」に基づいた幼稚園経営(教育課程の編成・実施、園内

研修)上の課題やその解決策等について協議を行うとともに、園内研修の課題を踏まえて、指導力向上のための保育参観及び研究協議を行う。

(2) 要請訪問

幼稚園経営の課題解決のための援助を中心に、園内研修、指定研修への対応、保育研究等、園からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

キャリア教育

夢や希望は、明日を生きていく原動力となるものである。子供が現在や将来に夢や希望を抱き、その実現を目指して物事に取り組むことは、「今の自分」に価値や意味を見出すことにつながる。そのためには、子供が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけることが必要である。自己の確立・自己実現に向けて、社会とかかわりながら、子供一人一人が自らの力で生き方を選択していくことができるよう、キャリア発達を促すことが大切である。

本市では、夢や希望を抱き、その実現に向けて挑戦する意欲や態度を「未来力」と規定し、子供の「未来力」を高めるために、企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が人間の生き方や社会のしくみ等を教える「『未来力』学習講座」を、小中9年間の全学年において実施する。また、学級活動、総合的な学習の時間や学校行事、各教科における学習、個別指導としての教育相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育を効果的に展開し、必要な資質・能力の育成に努める。

人権教育

本市では、多様化する人権問題の解決を図るため、市人権教育方針に基づいて、学校における人権教育の一層の改善と充実に努めている。

1 基本方針

- (1) 人権教育とは、人権を相互に尊重し合う人権共存の考え方を理念とし、人権という普遍的文化を構築するための教育活動であり、日常的・体験的な活動を通して推進する。
- (2) 学校教育においては、子供の発達の段階に即し、各教科等の特質に応じ、全教育活動を通じて生命や人権を尊重する心や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育成するとともに、一人一人を大切にされた教育の充実に努める。
- (3) 人権教育の推進に当たっては、生涯学習の観点に立ち、地域の実態に即して積極的に推進されるよう努めるとともに、公教育としての主体性を守り、関係諸機関・団体との連携を図り総合的に推進する。

2 取組の概要

本市では、人権尊重の精神に基づいた教育行政を行うとともに、「伊勢崎学校教育構想2021」の3つの教育プランとして「市民性育成プラン」、「21世紀型学力向上プラン」、「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」を位置付けている。そして、小中学校が連携した9年間の一貫教育を実施することにより、学校と家庭、地域社会が協働して、子供たちの豊かな心の育成に取り組んでいる。また、講演会等を開催し、教師の人権意識の高揚と指導力の向上を図っている。

各学校・園においても創意工夫ある人権教育を推進するため、人権教育全体計画、推進計画及び年間指導計画の改善を図り、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を確立できる子供の育成を目指している。さらに、教師自身も地域の人権教育・啓発に関する社会教育活動に参加し、自らの人権意識の高揚を図るとともに、学校・学年・学級通信や授業公開、懇談会等を通して、保護者や地域住民への啓発活動を行うよう努めている。

なお、各学校・園においては、人権に関わる講演会や校長講話、ビデオ視聴、人権標語やポスターの作成、いじめに関するアンケートや友だちの良さや頑張りを認め合う活動、老人ホームへの訪問、外国籍児童や特別支援学校との交流や車いす体験など、子供の発達の段階に即した創意工夫ある様々な人権教育を推進している。

環境教育

自然や資源などを大切にすることや環境に関心をもった主体的な活動を推進し、環境保全を尊重する心と循環型社会づくりに向けた実践力の育成のため、各学校において、伊勢崎市クリーン作戦やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりしている。

令和2年度には、花いっぱい活動で「第13回群馬銀行環境財団教育賞最優秀賞」を第四中学校特別支援学級8組が受賞している。

各学校・園において、学習環境の改善や心の教育推進のために、環境教育の一環としてアルミ缶回収やグリーンカーテンなどのエコ活動に子供たちとともに取り組んでいる。

また、総合的な学習の時間における児童生徒の主体的な環境に関する探究活動をはじめ、それぞれの学校が家庭や地域とともに、連携しながら特色ある活動を行っていく。

情報教育

将来の高度情報通信ネットワーク社会において、子供たちが主体的に対応できるよう必要な資質を養うことや情報機器を自他の生活の向上に適切に利用することなど、情報社会に適切に対応していくことは今日の重要な課題となっている。

本市では、「いせさきGIGAALスクール構想」に基づき、情報教育指導体制を充実させ、効果的なICT（Information and Communication Technology）機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の活用などにより、子供たちの情報活用能力を育成し、考え、表現する活動の充実と共に、論理的思考力や創造力の伸長を図る。また、特別の教科 道徳や各教科等の年間指導計画に情報モラル育成のための授業を系統的に位置づけ、携帯電話やパソコンなどによるインターネットやSNSの利便性や危険性の情報提供や啓発事業を行い、家庭と連携して児童生徒が安全に情報社会に参画する態度の育成を図っている。

一方、各教科等の目標を達成する際に効果的にICT機器を活用することについては、子供たちの個に応じた学習や協働的な学習が行えるようICT環境の整備を進めるとともに、教育研究所ICT活用研究班や情報教育主任会を中心に、ICT環境整備やICT機器を活用した授業実践研究などの情報提供を行うことで、教員のICT活用能力の向上も図っていく。

また、校務の情報化や事務の効率化に向けて、タブレット型PCの導入、ICTサポーター活用の推進、校内LANの拡充、教員研修の実施、県総合教育センターとの連携などの事業を充実させていく。

特別支援教育

本市には、知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由、病弱の各特別支援学級がある。それぞれの特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。

個々の障害等の状況に応じ、知的障害が軽度の児童生徒は、主として特別支援学級に入級しているが、中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。知的障害特別支援学級は、現在、小学校23校、中学校11校に設置されている。自閉症・情緒障害特別支援学級は、小学校23

校、中学校 11 校に、肢体不自由特別支援学級は、小学校 3 校、中学校 2 校に設置されている。

小学校通級指導教室では、言語や情緒の面で、一部特別な支援を必要とする幼児や児童に対して指導を行っている。現在、北小学校、赤堀小学校、あずま小学校、境小学校の 4 校に「こども発達相談室」という名称で設置され、言語、情緒、LD・ADHD の障害に応じた指導をしている。また、中学生を対象に、伊勢崎市教育研究所内に「中学校通級指導教室」を設置し、情緒、LD・ADHD の障害に応じた指導をしている。

現在、各学校とも、学校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、発達障害等 (LD・ADHD) の理解と支援方法のための研修を行ったり、校内の支援体制を整えたりするなど、関係機関との連携を深め、教育環境の整備に努めている。

県立伊勢崎特別支援学校 (旧市立伊勢崎養護学校) と、特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、特別支援教育アドバイザーからの支援を中心に、来校相談や訪問相談等の相談業務、教材開発等の支援業務、講師派遣や校内研修の参加等の研修業務も積極的に連携を行っている。

障害のある子供の就学に係る教育支援にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学に係る教育支援基礎資料を基に市教育支援委員会で審査を行っている。また就学先の決定に際しては、審査結果等の情報を保護者に提供すると共に、障害の状態、本人・保護者の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえ総合的な観点から、入級・入校等の就学及び支援方針を決定している。

外国語指導助手

経済・社会等のグローバル化が急速に進展する中、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力を身に付けることの必要性が高まっており、このことは子供たちの将来のためにも、本市の発展のためにも非常に重要な課題である。また、現在、小学校では英語が教科化され、中学校では指導内容のより一層の高度化が求められている。こうした中、本市では、ネイティブスピーカーである外国語指導助手の有効活用に重点を置いた施策を展開し、合計 20 名の外国語指導助手を市内小学校、中学校、四ツ葉学園中等教育学校に配置 (5 月現在、コロナ禍の影響による未配置あり) し、子供たちの発達の段階に応じた英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に努めている。



4技能をバランスよく身に付ける授業

1 市立中学校 11 校における英語指導

11 名の外国語指導助手を各中学校に配置 (小中学校兼務 2 名) し、各学校の英語担当教員とのチーム・ティーチングにより、英語コミュニケーション能力を養うために、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく身に付けることを目指した授業を展開している。また、通常の授業指導に加えて、表現活動に向けた個別の音声指導などの支援も行っている。日常生活や学校行事など様々な場面を通じ、生徒と英語でのコミュニケーションを積極的に図りながら、生徒の「聞く」「話す」能力を中心に 4 技能のバランスよい伸長を目指している (5 月現在、コロナ禍の影響による未配置あり)。

2 四ツ葉学園中等教育学校における英語指導

四ツ葉学園中等教育学校には 3 名の外国語指導助手が年間を通じて常駐し、英語担当教員とのチーム・ティーチングによる英語指導を行っている。また、部活動でも英語部の顧問として、英会話指導に継続して当たっている。これらにより、四ツ葉学園中等教育学校の生徒が、生きた英語を学べる機会を増やし、日々英語と触れられる魅力ある学校生活が送れるよう努めている。

3 市内小学校23校における英語指導

子供たちが英語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲の向上を目指して、小学校専任6名、小中学校兼務2名、合計8名の外国語指導助手が各小学校での指導を行っている。

各学校の学級担任とのチーム・ティーチングでは、ネイティブの音声や英語表現に多く触れることにより、英語を用いながら活動を楽しむことに指導の中心を置いている。また、週2時間相当の英語の授業を全学年で実施し、市共通のプログラムを有効活用しながら、英語指導の質的な向上を図っている。



豊かな英語体験を重視した指導

4 国際理解教育の推進

20名の外国語指導助手の存在は、市内小学校・中学校・四ツ葉学園中等教育学校の児童生徒にとって、直接外国の生活や文化について触れることができる機会となっている。日々の授業に加え、日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、外国の言語や文化について学ぶことにつながっている。また、外国語指導助手が中心となり、英語雑誌『伊勢崎スクールマガジン「Impress（インプレス）」』を作成し、国際理解につながる教材となるようにしている。さらに、アメリカ姉妹都市のスプリングフィールド市の学校と相互に代表が訪問し合ったり、継続的に交流を行ったりし、国際理解の礎を築いている。スプリングフィールド市内にあるミズーリ州立大学で実施する海外研修へは、本市70名の中学生と120名程度の中等学校生が参加している。（令和3年度は中止）

外国籍児童生徒学校生活支援助手配置事業

1 趣旨

外国籍園児児童生徒や帰国児童生徒等日本語指導が必要な園児児童生徒の学校生活を支援するために、学校生活支援助手28人を配置し、日本語の習得や日常の生活習慣を中心に指導・援助を行う。

2 事業内容

- (1) 本事業の対象となる園児児童生徒を学校園ごとに調査・把握し、それぞれの状況に適する生活支援助手の採用及び配置に努める。ただし、本事業の対象は、市内小中学校及び幼稚園に在籍する外国籍園児児童生徒及び帰国児童生徒の中で、日本語が全く、あるいはほとんど通じない者など、学校生活への支援が必要な者とする。
- (2) 生活支援助手による指導・援助は、原則として該当校へ出向いて行うものとする。その計画は、事前に該当校園関係者と協議して決めるものとする。
- (3) 該当校園における指導・援助は、園長、校長及び関係学級担任の指導のもとに、原則として個別指導（取り出し指導）を中心に行うものとする。ただし、実情に応じて効果のある指導形態を工夫する。
- (4) 生活支援助手による訪問指導は、原則として午前4時間、午後2時間をそれぞれ単位として、週2～5回、1ヶ月を一単位の継続指導とする。また、必要に応じて延長することができるものとする。

3 外国籍等園児児童生徒数（5月1日現在）

(1) 該当校数および該当園児児童生徒数〔日本国籍を含む〕

※公立学校に限る。 ※（ ）は内、日本語指導を必要とする数。

幼稚園	9 / 9 園	45 (38)	前年比	±0 園	+ 7(+14)名
小学校	23 / 23 校	812 (383)		±0 校	+18(+10)名
中学校	11 / 11 校	364 (76)		±0 校	+22(-12)名
中等教育学校	1 / 1 校	3 (0)			- 2(± 0)名
合 計	44 / 44 校園	1224 (497)			+ 45(+12)名

(2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数〔日本国籍を含む〕

①ポルトガル語〔ブラジルなど〕	368 (140)	前年比	+29(-10)名
②スペイン語〔ペルー・アルゼンチンなど〕	337 (129)		-10(-12)名
③ベトナム語	170 (64)		- 3(+ 8)名
④タガログ語	96 (42)		-17(-13)名
⑤その他〔パキスタン・中国・イランなど〕	253 (122)		+50(+39)名
合 計	1224 (497)		+49(+12)名

地域の教育力の活用

1 「伊勢崎学府制」による地域と連携・協働した人づくり

子供の未来を地域とともに育てる教育をより一層推進するため、地域と学校が組織的に連携・協働する体制の整備及び中学校区内にある幼稚園、小学校、中学校の一貫した教育と連携・協働体制の整備を強化する必要がある。本市では、すでに平成29年度までに全中学校区に学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進しており、それぞれの中学校区を学府とし、地域・家庭・学校が一体となって、ふるさと伊勢崎を担う、高い志と市民性を兼ね備えた人材の育成を目指している。

2 学校支援センター制度 ～家庭と地域で学校教育の充実を！～

本市では、各小中学校において「学校支援センター制度」に積極的に取り組んでいる。これは学校の教職員だけを子供たちの「先生」としてとらえるのではなく、家庭や地域の方々にも「先生」として学校における教育活動に協力していただくものであり、「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」の取組項目のひとつである。これにより児童生徒の指導に当たる大人の数を飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実はもとより、開かれた学校運営を通じた、地域から信頼される学校づくりを大きく前進させることができた。

各学校では、教育力の充実と信頼される学校づくりの拠点として「学校支援センター」を設置するとともに、PTAや地域に「学校支援ボランティア」としての参加を呼びかけ、令和2年度の登録人数は11,849人であり、多くの方々の協力をいただくことができた。

3 カリキュラムパートナー制度 ～企業と大学で学校教育のさらなる充実を！～

企業や大学は専門性を持つ人材の宝庫で、様々な分野において最先端の取組を行っている人材がたくさんいるとともに、小中学校では考えられないような素晴らしい施設・設備を保有している。学校による活用の工夫によっては、今まで考えられなかったような大きな教育力を発揮することができる可能性がある。

このようなことから、保護者や地域の方を学校支援ボランティアとして活用する「学校支援センター制度」に加え、もう一つの地域の教育力として、企業人や大学教授・学生を外部指導者・支援者として活用する「カリキュラムパートナー制度」を平成20年度に導入し、現在、「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」に位置付けて実践を展開している。

現在、地元伊勢崎市やその近隣に本拠地・活動拠点を置くサンデンホールディングス株式会社と株式会社ザスパの2企業、群馬大学や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、高崎健康福祉大学の5大学と包括的協力関係に関する協定を結んでいる。主な連携事業としては、キャリア講話、各種体験学習、学生ボランティア事業などである。

4 スマイルサポーター制度

本市では、学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域や企業・大学などの地域人材をすべて「指導者」と位置付け、学校支援センターとカリキュラムパートナーの人材を合わせて「スマイルサポーター」と名付けて指導体制の改善・充実を図っている。この制度は、多様な外部人材により子供の笑顔を引き出す教育活動の充実を図るためのものである。

これまでもカリキュラムパートナーの協力により、たくさんの外部指導者や学生ボランティアが学校に入り、「できた」「分かった」「よかった」という子供たちが笑顔になる支援をしてもらった。理科や日本語教室においても、学生ボランティアが授業支援をしてくれた。そして、大学の先生や企業の方から話を聞く授業では、「すごい」「分かった」「もっと知りたい」といったやる気や笑顔があちこちであふれていた。家庭・地域の外部指導者・学校支援ボランティアの授業やカリキュラムパートナー（企業・大学）の外部指導者の授業でも同様である。これらの取組を継続し、さらに充実させることをねらっている。

5 「未来力」学習講座 ～学習や生活の向上に自ら取り組む児童生徒の育成を！～

家庭・地域やカリキュラムパートナー（企業・大学）などのスマイルサポーターが、自己の生き方や専門分野などについて教える「未来力」学習講座を、平成23年度から小・中学校の全ての学年において実施している。これは、多種多様な外部講師の卓越した技術や生き方に触れることを通して、児童生徒が夢や希望を膨らませ、それに迫るための目標に向かって努力することの大切さ、素晴らしさを感じることができるようになるものである。

例えば、卓越した技術のある職人やスポーツ選手から、成功した話だけでなく、壁にぶつかり挫折して苦しんだ話を聞く。グローバル展開している企業の方から、就職するまでの経緯や仕事上の喜びや厳しさ、現在の自分の夢やそれを叶えるために努力していることについての講話を聞く。また、生活科や社会科の学習に関わり農家の方やスーパーマーケットの店長さんから仕事内容の話とともに、仕事上の喜びや工夫していることなどの話を聞く。そうすることにより、児童生徒が、未来の自分の進路を夢や希望として考えるとともに、それを叶えるために目標をもち、自らの学習や生活の向上に日常的に取り組むようになることをねらっている。

6 いせさき教育アンバサダー制度

平成29年度から本市出身または本市にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方々に、「いせさき教育アンバサダー」を委嘱している。

いせさき教育アンバサダーの皆様には、本市内の学校園において、子供たちを対象に特別授業や講演会をしていただいたり、各種の学校行事への協力をしていただいたりしている。また、本市教育に関するアドバイスや各種情報の提供、本市教育の魅力の紹介やイメージアップの推進等をお願いする場合もある。

子供たちが、社会的立場が広く認知された方々の体験や思いに直接触れることは、子供たちの学習への意欲を高め、将来への大きな夢や希望をもたせることに直結するものと考えている。令和2年度は15名の方をお願いした。本事業は、本市の子供たちのことを考えた、いせさき教育アンバサダーの方々の善意で成り立っている。

7 教育新時代いせさきミーティング

少子高齢社会やグローバル化の進行により、社会変化の予想が困難な時代における本市教育の在り方や教育施策の具現化に向けた取組について、広い視点から検討する「教育新時代いせさきミーティング」を平成29年度から開催している。

本市教育を多面的・多角的に捉えるため、大学教授、社会教育関係者、一般企業経営者等から、幅広い分野で活躍中の高い専門性をもつ方をテーマに応じて委員として迎えている。

本ミーティングでは、各学校において運営の中核を担う教員も参加し、本市教育の具現化に向けた各学校の取組や課題などについての議論を行う他に、委員からの直接の助言や情報提供及を通して、本市教育の在り方についての貴重な助言をいただいている。

各種援助

1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区 分	小学校			中学校		
	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)
令和2年度事業	821	44,774,909	54,537	548	53,844,410	98,256
令和3年度事業計画	852	65,379,060	76,735	694	94,226,790	135,773

2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事業に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区 分	小学校			中学校		
	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)	給与人員 (人)	給与額 (円)	平均給与額 (円)
令和2年度事業	264	7,315,023	27,708	96	4,096,023	42,666
令和3年度事業計画	332	11,657,395	35,112	163	9,776,150	59,976

3 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成17年1月1日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

<貸与額>

区 分	金 額
高等学校 年額	120,000 円
大学 年額	300,000 円

<給与額>

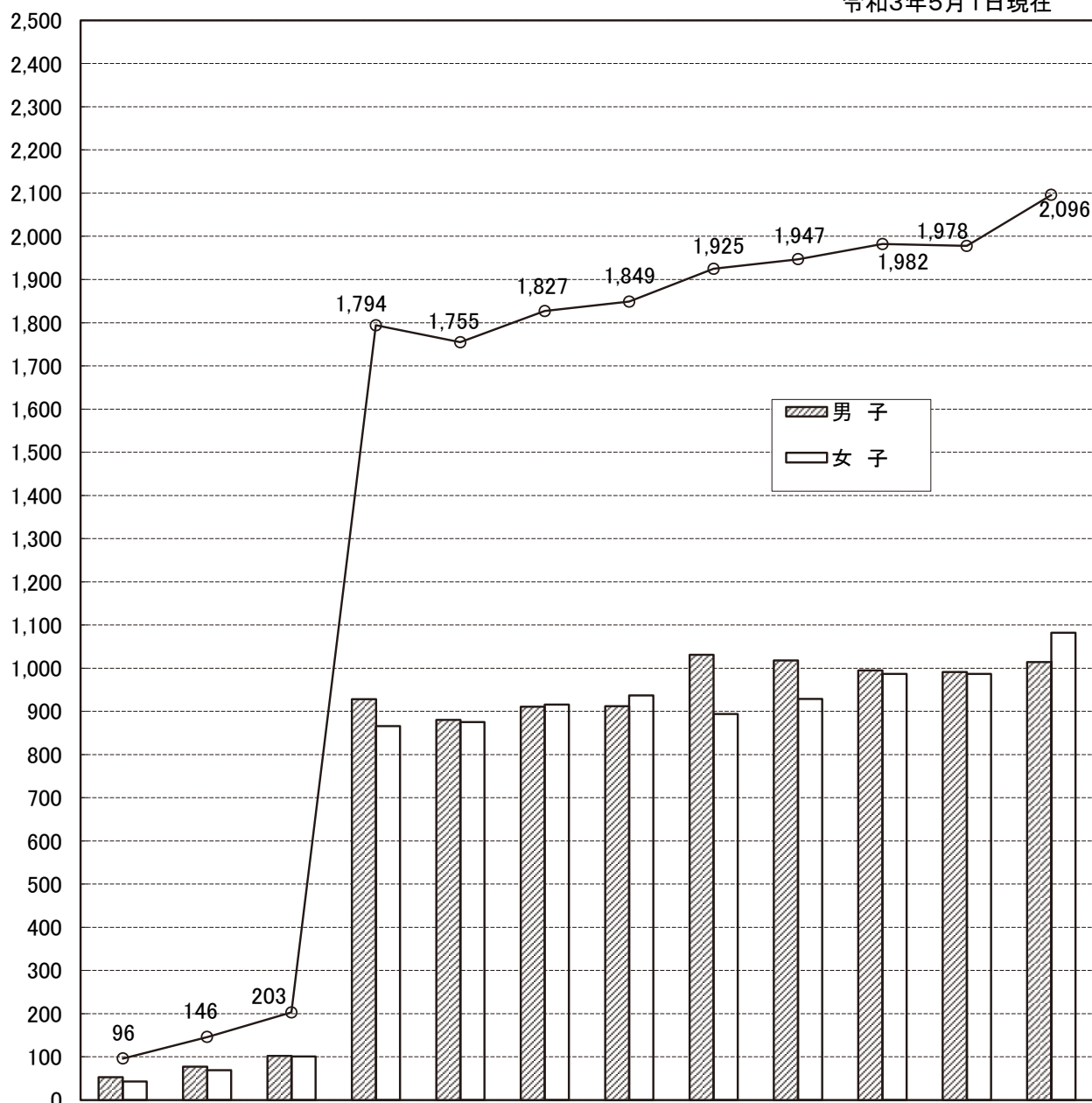
入学時給付金	30,000 円
--------	----------

<貸与利用状況>

	高等学校	大 学	計
令和元年度	0 人	12 人	12 人
令和2年度	1 人	7 人	8 人

園児・児童生徒数 学年別・男女別構成図

令和3年5月1日現在



人 学年	園市三立歳幼稚	園市四立歳幼稚	園市五立歳幼稚	一小学生	二学生	三学生	四学生	五学生	六学生	一中学生	二学生	三学生
男子	53	77	102	928	880	911	912	1,031	1,018	995	991	1,014
女子	43	69	101	866	875	916	937	894	929	987	987	1,082
合計	96	146	203	1,794	1,755	1,827	1,849	1,925	1,947	1,982	1,978	2,096

※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます

園児・児童・生徒数等の推移

(各年5月1日現在)

1. 幼稚園

施設名	23		24		25		26		27		28		29		30		1		2		3	
	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数	児童 幼児数	学級数
第一幼稚園	34	2	41	2	34	2	26	2	29	2	39	2	46	3	58	3	76	3	76	4	72	4
南幼稚園	38	2	39	2	34	2	26	2	21	2	20	2	20	2	10	2	11	2	14	2	3	1
龍連幼稚園	50	2	52	2	57	3	56	2	66	4	70	3	39	2	60	3	73	3	65	3	59	3
茂呂幼稚園	41	2	41	2	29	2	34	2	28	2	17	2	21	2	22	2	16	2	13	2	10	2
三郷幼稚園	32	2	33	2	31	2	35	2	31	2	30	2	30	2	20	2	20	2	17	2	9	2
宮郷幼稚園	62	3	50	3	52	2	63	3	62	3	52	3	50	2	57	3	46	3	54	3	56	3
名和幼稚園	25	2	28	2	27	2	25	2	26	2	25	2	54	3	73	3	77	3	72	3	54	3
豊受幼稚園	24	2	20	2	21	2	17	2	12	2	12	2										
あかぼり幼稚園	120	5	132	5	110	4	103	4	86	4	72	4	92	5	107	5	99	5	96	5	95	5
あずま幼稚園	91	4	86	4	100	4	98	4	92	4	79	3	58	3	77	3	91	4	100	5	87	5
合計	517	26	522	26	495	25	483	25	453	27	416	25	410	24	484	26	509	27	507	29	445	28

2. 小学校

北小学校	412	16	427	17	443	17	460	17	468	19	464	20	457	20	454	20	439	20	425	19	400	19
南小学校	398	16	389	13	381	14	373	14	377	15	357	15	342	14	338	15	310	15	277	15	265	15
龍連小学校	755	28	739	27	717	25	660	24	664	23	627	22	630	24	611	25	598	24	586	25	548	25
茂呂小学校	739	27	733	28	736	28	734	25	747	28	749	29	756	29	764	28	776	30	782	30	779	30
三郷小学校	743	26	738	25	717	26	729	27	696	25	677	24	689	25	689	26	689	28	683	27	690	27
宮郷小学校	884	30	870	31	837	31	798	30	799	29	819	30	852	31	836	32	846	33	857	32	852	32
名和小学校	505	20	495	20	500	21	480	20	473	18	470	18	471	18	462	19	445	19	459	20	470	20
豊受小学校	670	24	641	23	635	23	584	21	589	21	581	21	555	20	550	22	536	22	537	21	522	21
北第二小学校	256	14	245	14	229	12	218	10	199	10	199	10	186	10	184	10	178	10	197	11	214	11
龍連第二小学校	457	17	456	17	461	17	453	18	426	18	438	18	425	18	428	19	401	17	404	17	402	17
広瀬小学校	789	29	702	26	659	25	607	23	578	22	571	24	545	23	530	23	517	22	498	22	475	22
坂東小学校	550	21	536	21	542	20	541	19	515	19	491	20	486	19	489	19	469	20	453	19	470	19
宮郷第二小学校	936	32	912	33	891	33	861	31	809	30	799	30	767	29	749	27	706	27	663	28	626	28
赤堀小学校	671	23	663	24	645	25	631	24	633	24	630	24	608	23	599	23	601	24	585	24	575	24
赤堀南小学校	562	21	584	21	595	21	603	21	606	22	597	22	609	22	604	23	577	22	555	21	542	21
赤堀東小学校	418	16	431	17	433	17	416	16	402	16	392	16	350	15	349	15	333	15	336	15	330	15
あずま小学校	561	20	561	20	570	21	565	21	559	21	539	20	556	22	561	23	554	22	566	23	560	23
あずま南小学校	655	24	641	23	656	23	632	22	638	23	620	22	609	23	612	24	597	22	584	22	559	22
あずま北小学校	473	18	478	19	485	18	478	17	488	17	495	18	512	19	507	21	492	21	487	19	466	19
境小学校	338	14	343	15	335	15	339	14	352	14	362	14	361	14	346	14	355	14	350	14	349	14
境采女小学校	438	17	437	18	437	17	406	16	397	16	401	16	403	18	391	17	390	16	410	18	425	18
境剛志小学校	455	17	434	17	426	17	410	17	397	16	363	14	353	14	345	14	313	14	291	14	282	14
境島小学校	23	3	19	3	20	3	17	3	10	3												
境東小学校	335	14	316	14	313	13	332	14	343	14	341	14	326	14	317	14	318	14	302	15	306	15
合計	13,023	487	12,790	486	12,663	482	12,327	464	12,165	463	11,982	461	11,848	464	11,715	473	11,450	471	11,287	471	11,097	471

3. 中学校

第一中学校	553	17	561	18	566	18	569	18	538	17	541	17	529	17	525	18	520	19	516	19	527	19
第二中学校	605	21	634	20	634	19	655	20	619	21	600	20	573	18	529	18	520	19	470	17	485	17
第三中学校	614	20	639	20	638	19	668	21	672	22	693	22	672	21	648	20	627	21	644	22	640	22
第四中学校	613	19	608	20	600	20	586	19	606	19	592	19	570	18	524	17	522	17	501	16	525	16
龍連中学校	570	18	554	17	553	18	565	18	568	18	571	20	546	19	521	18	520	18	488	16	490	16
宮郷中学校	847	25	868	26	889	26	915	27	887	26	822	24	758	23	728	22	758	24	768	24	744	24
赤堀中学校	708	22	713	22	763	23	766	23	788	25	799	25	813	26	812	26	794	27	765	26	751	26
あずま中学校	781	23	756	22	776	24	787	26	802	26	810	25	774	24	770	25	777	26	789	26	812	26
境北中学校	217	8	224	9	219	8	215	8	209	7	206	7	190	7	198	9	200	8	187	8	167	8
境西中学校	223	8	223	8	227	8	235	8	228	9	233	10	207	8	192	8	177	8	183	6	184	6
境南中学校	398	13	369	13	343	11	329	12	313	10	330	11	343	11	355	12	341	11	354	13	350	13
合計	6,129	194	6,149	195	6,208	194	6,290	200	6,230	200	6,197	200	5,975	192	5,802	193	5,756	198	5,665	193	5,675	193

4. 中等教育学校

四ツ葉学園中等教育学校	382	12	509	16	630	20	749	24	753	24	755	24	755	24	755	24	749	24	753	24	750	24
-------------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

参考

※伊勢崎市立伊勢崎高等学校は平成26年3月31日をもって閉校しました

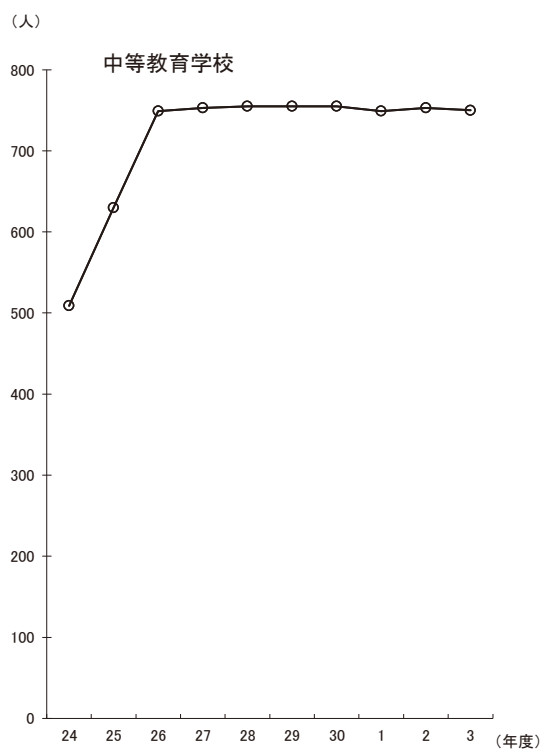
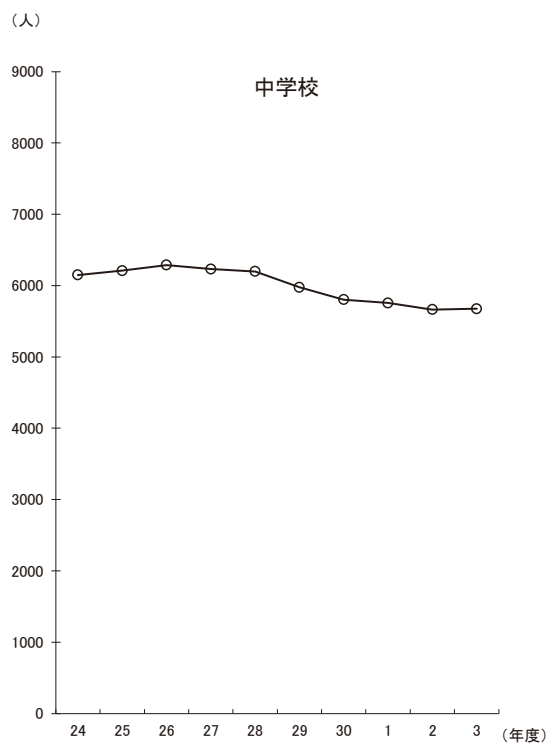
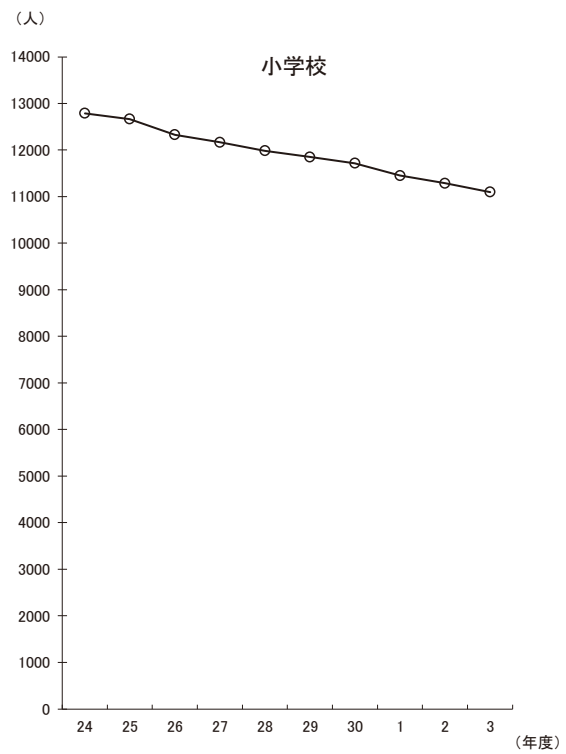
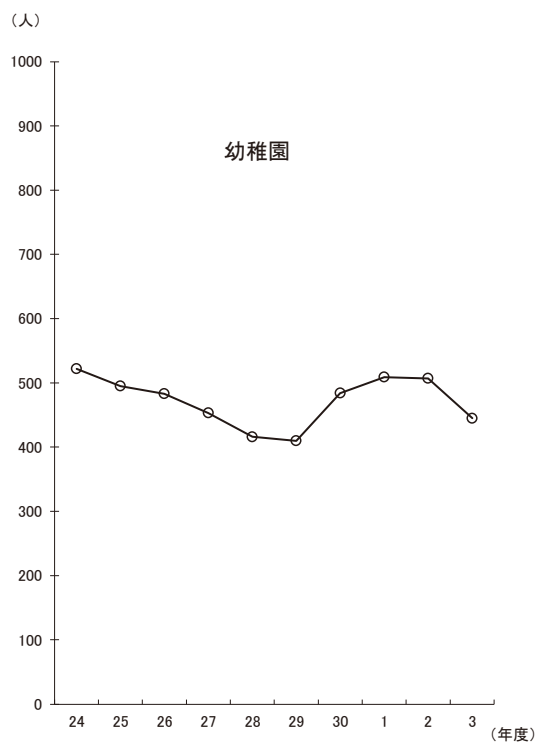
高等学校

伊勢崎高等学校	443	15	295	10	140	5																
---------	-----	----	-----	----	-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※伊勢崎市立伊勢崎養護学校は、平成25年4月1日に県へ移管され「群馬県立伊勢崎特別支援学校」となりました

特別支援学校

伊勢崎小学部	70	22	73	23																		
養護学校 中学部	43	13	41	12																		
合計	113	35	114	35																		



令和3年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
小学校	北小	25	39	64	36	34	70	32	35	67	28	30	58	40	40	80	36	25	61	197	203	400
	南小	18	20	38	27	13	40	21	18	39	28	20	48	26	21	47	25	28	53	145	120	265
	殖蓮小	49	39	88	46	34	80	43	49	92	44	39	83	61	50	111	45	49	94	288	260	548
	茂呂小	68	67	135	62	59	121	71	68	139	71	65	136	75	51	126	54	68	122	401	378	779
	三郷小	49	66	115	60	54	114	50	50	100	62	63	125	55	64	119	59	48	107	335	345	680
	宮郷小	68	69	137	66	67	133	82	74	156	65	66	131	79	73	152	75	68	143	435	417	852
	名和小	47	36	83	37	38	75	38	41	79	37	32	69	42	44	86	48	30	78	249	221	470
	豊受小	54	39	93	45	30	75	43	49	92	54	43	97	43	36	79	54	32	86	293	229	522
	北二小	17	19	36	31	13	44	19	16	35	17	15	32	15	11	26	27	14	41	126	88	214
	殖二小	29	28	57	31	35	66	31	27	58	27	41	68	42	29	71	51	31	82	211	191	402
	広瀬小	42	36	78	28	36	64	45	42	87	41	31	72	40	39	79	49	46	95	245	230	475
	坂東小	47	47	94	33	40	73	37	37	74	28	37	65	42	37	79	32	53	85	219	251	470
	宮二小	45	40	85	45	49	94	44	55	99	60	57	117	61	54	115	64	52	116	319	307	626
	赤堀小	41	44	85	35	49	84	43	58	101	51	48	99	52	35	87	64	55	119	286	289	575
	赤南小	43	34	77	33	35	68	44	44	88	47	49	96	61	45	106	49	58	107	277	265	542
	赤東小	35	22	57	24	29	53	36	28	64	29	31	60	20	18	38	29	29	58	173	157	330
	あずま小	36	44	80	52	59	111	43	40	83	43	54	97	52	49	101	47	41	88	273	287	560
	あずま南小	54	30	84	41	46	87	48	49	97	47	54	101	48	47	95	57	38	95	295	264	559
	あずま北小	34	29	63	41	41	82	29	35	64	37	40	77	51	44	95	44	41	85	236	230	466
	境小	34	23	57	25	31	56	33	26	59	20	38	58	26	31	57	30	32	62	168	181	349
	境采女小	36	44	80	31	37	68	39	32	71	30	34	64	42	31	73	34	35	69	212	213	425
境剛志小	19	28	47	24	20	44	20	13	33	24	25	49	31	22	53	24	32	56	142	140	282	
境東小	38	23	61	27	26	53	20	30	50	22	25	47	27	23	50	21	24	45	155	151	306	
小学計	928	866	1,794	880	875	1,755	911	916	1,827	912	937	1,849	1,031	894	1,925	1,018	929	1,947	5,680	5,417	11,097	
中学校	第一中	87	87	174	86	89	175	82	96	178									255	272	527	
	第二中	80	88	168	62	71	133	80	104	184									222	263	485	
	第三中	100	106	206	129	104	233	95	106	201									324	316	640	
	第四中	93	87	180	77	78	155	83	107	190									253	272	525	
	殖蓮中	83	75	158	82	73	155	105	72	177									270	220	490	
	宮郷中	107	125	232	117	128	245	142	125	267									366	378	744	
	赤堀中	132	109	241	113	124	237	137	136	273									382	369	751	
	あずま中	153	122	275	130	133	263	126	148	274									409	403	812	
	境北中	20	34	54	27	25	52	21	40	61									68	99	167	
	境西中	25	28	53	39	28	67	29	35	64									93	91	184	
	境南中	53	60	113	67	67	134	51	52	103									171	179	350	
	中学計	933	921	1,854	929	920	1,849	951	1,021	1,972									2,813	2,862	5,675	

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中等	四ツ葉学園	62	66	128	62	67	129	63	61	124	64	63	127	58	64	122	57	63	120	366	384	750

幼稚園

園名	3歳児			4歳児			5歳児			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
第一	8	11	19	7	9	16	22	15	37	37	35	72
南				0	0	0	1	2	3	1	2	3
殖蓮	6	7	13	13	7	20	14	12	26	33	26	59
茂呂				0	3	3	5	2	7	5	5	10
三郷				3	0	3	3	3	6	6	3	9
宮郷	7	6	13	12	7	19	11	13	24	30	26	56
名和	5	4	9	12	7	19	16	10	26	33	21	54
あかぼり幼	17	7	24	14	18	32	17	22	39	48	47	95
あずま幼	10	8	18	16	18	34	13	22	35	39	48	87
幼稚園計	53	43	96	77	69	146	102	101	203	232	213	445

学校体育保健

1 主要事業

1 体力の向上

(1) 指導の充実と環境づくり

各学校の体力の現状に応じて、児童生徒が自主的・継続的に体力向上に取り組めるよう指導の充実と環境づくりを図る。

(2) 運動部活動の充実

中学校における適正な部活動運営に基づき、部活動指導員を配置するとともに、学校と地域・家庭、外部指導者等と積極的に連携しながら、体力や競技力の向上を図る。

2 健康・安全教育の推進

(1) 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断の事前指導・事後措置を徹底し、児童生徒の健康状態を把握するとともに、自己管理および健康の保持増進を図れるよう指導の充実に努める。

日常の健康観察から、児童生徒の健康状態を的確に把握し健康管理に努め、心身の健康問題を抱える児童生徒に対して、迅速に健康相談を実施し問題解決にあたる。また、家庭や関係機関と連携して、感染症や食物アレルギー、熱中症等の予防対策に努める。

(2) 薬物乱用防止教育及び性教育に関する指導（エイズを含む）の徹底

喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう関係機関と連携した薬物乱用防止教育の実施に努める。

発達段階に応じた性に関する指導（エイズ含む）を実施し、自他の生命を重んじる指導の充実に努める。

(3) 学校保健会の充実

学校・園・PTA・医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健福祉事務所との連携を深め、児童生徒の健全育成の支援を図る。

(4) 生活安全指導の徹底

各学校・園の部活動、クラブ活動、休憩時間等の日常生活における事故防止の徹底に努める。また、児童生徒が不審者等による犯罪被害に巻き込まれないよう学校・保護者・関係機関と連携し安心安全な地域づくりを進めるとともに、状況に応じた適切な行動選択ができるよう発達段階に応じた防犯学習の実施に努める。

(5) 交通安全に関する安全管理の徹底

伊勢崎市通学路交通安全プログラムに則り、通学路上の危険箇所を把握し、各学校・園と保護者、地域、関係各課、警察署、交通指導員、土木事務所等の連携による通学路の安全確保に努める。

交通安全については、自転車の安全利用（ヘルメット着用、一時停止励行等）の徹底を図るとともに、交通規則の厳守・励行の指導強化及び危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

(6) 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスとAED普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行う。また、定期的に教職員を対象とした普通救命講習会を開催し、AEDの使用・心肺蘇生法などの応急手当に関する知識技能の向上を図り、万一の時に備えた万全の体制を整える。

(7) 学校安全、学校保健・学校給食の点検の徹底

学校施設の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設整備や遊器具の安全確保に努める。又、学校保健・学校給食については、日々の点検や学期毎の点検集約を通して、学校環境の衛生管理に努める。

3 食育の推進

(1) 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎づくりに努める。

(2) 食に関する指導の充実

市内産農作物を活用した給食の提供や栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進を図り、食に対する興味関心を高め、児童生徒自身の食生活の見直しに努める。

4 学校体育・保健関係団体の充実

(1) 小学校体育研究会の充実

児童の水泳・陸上記録会の開催と外部講師による体育実技講習会やなわとび指導者講習会等の実施及び研究会の充実を図る。

(2) 中学校体育連盟の充実

春季大会、総合体育大会、新人大会の運営の充実と生徒の競技力の向上を図る。

(3) 小・中学校体育主任会の充実

実技指導講習会により、教科体育や部活動等の体育的活動の指導において必要となる知識や技能を習得し、教師の指導力を高める。また、児童生徒の実態や指導の経緯についての情報交換を行い、小・中学校の連携の充実を図る。

5 臨海学校の充実

(1) 集団宿泊学習の充実

海水浴の訓練、キャンプファイヤー、レクリエーション、水族博物館見学、係活動等を通して、集団行動の楽しさや秩序の大切さを指導する。

(2) 臨海学校運営委員会・実施校合同会議の開催

臨海学校の充実、発展のために伊勢崎市・玉村町教育委員会と伊勢崎市・玉村町 28校の連携と連絡を図る。

(3) 臨海学校指導者研修会の実施

臨海学校での安心安全な運営のために、入校学年の教諭等を対象とした事前の研修の充実を図る。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度の臨海学校は中止。

日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

1. 月別災害発生件数（令和2年度）

（単位：件）

月 區別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
	幼稚園	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	
小学校	2	1	27	40	15	40	54	38	32	43	43	32	367
中学校	1	0	14	35	24	49	35	32	26	22	19	15	272
中等教育学校	0	0	4	3	6	8	9	6	6	4	6	0	52
合 計	3	1	45	78	45	99	99	76	64	69	69	47	695

2. 傷害発生件数（令和2年度）

（単位：件）

種別 區別	捻挫		骨折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合 計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
小学校	32	47	70	25	39	49	4	10	19	2	13	38	19	367
中学校	17	40	78	24	23	28	3	3	7	4	3	11	31	272
中等教育学校	5	12	10	3	3	8	0	1	3	1	0	3	3	52
合 計	54	99	160	52	65	85	7	14	31	7	16	52	53	695

3. 災害発生の場合別件数（令和2年度）

（単位：件）

場合別 區別	各教科		保 育 中	特 別 活 動	部 活 動	休 憩 時 間		始業前 授業終了後	登下 校中	そ の 他	合 計
	体 育	体 育 以 外				業 間	昼 食 時				
幼稚園	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	4
小学校	79	16	0	32	0	96	69	36	36	3	367
中学校	87	4	0	7	101	15	19	4	32	3	272
中等教育学校	21	2	0	0	22	1	1	0	5	0	52
合 計	187	22	3	39	123	112	89	41	73	6	695

四ツ葉学園中等教育学校

1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1
職員数 校長、教頭 2 人、事務長、教諭 63 人、養護教諭 2 人、事務職員 4 人 合計 73 人
生徒数 750 人（1 年 128 人、2 年 129 人、3 年 124 人、4 年 127 人、5 年 122 人、6 年 120 人）

2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と豊かな道徳性を身に付けた教養人を育成する。

3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

(1) 自 学

高い志をもち、自ら考え、真理を追求する生徒

(2) 自 律

自由な精神のもと、自らを律し、正義を貫く生徒

(3) 共 同

共に学び、共に高め合い、創造する生徒

(4) 共 生

博愛の精神のもと、個性を認め合い、共に社会をつくる生徒

4 特色ある教育

(1) 中等教育学校のメリットを最大限に活用

- ① 6 年間の一貫教育で夢と希望を実現
 - 発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「**基礎期**」「**充実期**」「**発展期**」）
- ② 高校入試の影響を受けない教育活動
 - 継続的・効率的な学習・部活動等の実施、前期課程からより高いレベルの学びの実現
- ③ 中等教育学校ならではの教員配置
 - 前期課程から義務校及び高等学校にて豊かな経験を有する教師をバランスよく配置
- ④ 上級生と下級生の交流の充実（**サポーターリーダー制**）
 - 上級生から下級生へ、学習・生活・進路面等についてアドバイスする機会を設定
- ⑤ 教育効果を高める充実した施設
 - セミナーハウス、トレーニングルーム、進路指導室、自学室（TOEFL iBT 受験対応）など

(2) 一人ひとりの学力を徹底的に伸ばす SUP や学習合宿

学習習慣の定着や基礎学力の養成、そして、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間を確保する取組として、スキルアッププログラム（**SUP**）を導入しています。具体的には、毎朝の始業前に読書などを行う「**朝SUP**」、定期テスト前に朝や放課後に学習内容を補充する「**テスト前SUP**」、土曜日に各教科のさらなる学力向上を図る「**土曜SUP**」、夏季休業中に基礎学力の強化や発展的学習による学力向上を図る「**夏季SUP**」を実施しています。

また、自律した学習者になるために必要な、自ら立てた計画に基づいた学習をやり切る力を身に付ける「**学習合宿**」を、夏季休業中に後期課程生徒を対象として実施しています。

(3) 知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びをつかみとるチャレンジ学習

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、学校では学ぶことのできない専門的な知識や技能の習得にチャレンジする授業、将来の生き方に触れる学び等の実施など、特色のあるキャリア教育を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びを実感できるようにします。1年生は、サンデンホールディングス株式会社と連携し、環境についての探究学習「森に学ぶ」を行います。2年生は、大学と連携した「アカデミックキャンプ」において、「環境」「ものづくり」「伝統文化」「多文化理解」の4領域で最先端の知識・技能に触れる活動を行います。3年生は、首都圏の一流企業や官公庁を訪問する「キャリアアディスカバリー」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。これらの学びを4年生以降の進路選択・進路実現につなげます。



(4) グローバル社会を見据え、世界で活躍できる人材づくり



これからの世の中はグローバル化が一層進みます。生徒の視野を世界に広げ、SDGsの視点から、国際社会で活躍のできる生徒の育成を目指します。そこで、3年生の希望者30名は、米国ミズーリ州スプリングフィールド市にあるミズーリ州立大学(MSU)において、10日間の語学研修を実施します。4年生は、2泊3日の「グローバルスタディーズキャンプ」に参加し、英語のコミュニケーション能力の向上とともにグローバル化する社会に対応する資質を培います。5年生は、ミズーリ州立大学で1日間の海外グローバルリーダー研修に参加します。現地ではグローバルな課題(環境、貧困など)について、講義やフィールドワークを通して体験的に学びます。6年生では、これまでの「四ツ葉の学び」で学習したことをもとに、自らの進路を考え、自分の考えや主張を論文にまとめる「みらい探究」を行います。この活動を通して、6年間のキャリア教育を総括するとともに、生徒が自分の未来に、そして世界にはばたいていける教育を推進します。

5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会 中体連春季大会、避難訓練	10月	中間試験、入学者選抜説明会 進路セミナー
5月	高校総体、中間試験、母校訪問(1年) フレッシュマンズキャンプ(1年)	11月	マラソン大会、期末試験 小学5年生対象体験学習会
6月	期末試験 みらい探究成果発表会	12月	三者面談、冬季講習会(3~5年) 冬季学習会(6年)、予餞会
7月	槻ノ輪祭(文化祭)、中体連総体、三者面談 学習合宿、夏季SUP(I期)	1月	百人一首大会 入学者選抜検査
8月	海外語学研修(3年)、夏季SUP(II期) 学校説明会	2月	入学予定者オリエンテーション 社会人への取材活動(2年)、期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年)、関西伝統文化研修(3年)、 グローバルスタディーズキャンプ(4年)、グローバルリーダー研修(5年)	3月	卒業式、キャリアアディスカバリー(3年) 終業式、春季学習会

教育研究所

1 概要

- (1) 根拠条例 伊勢崎市教育研究所条例（平成 17 年 1 月 1 日条例第 95 号）
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成 17 年 1 月 1 日教育委員会規則第 28 号）

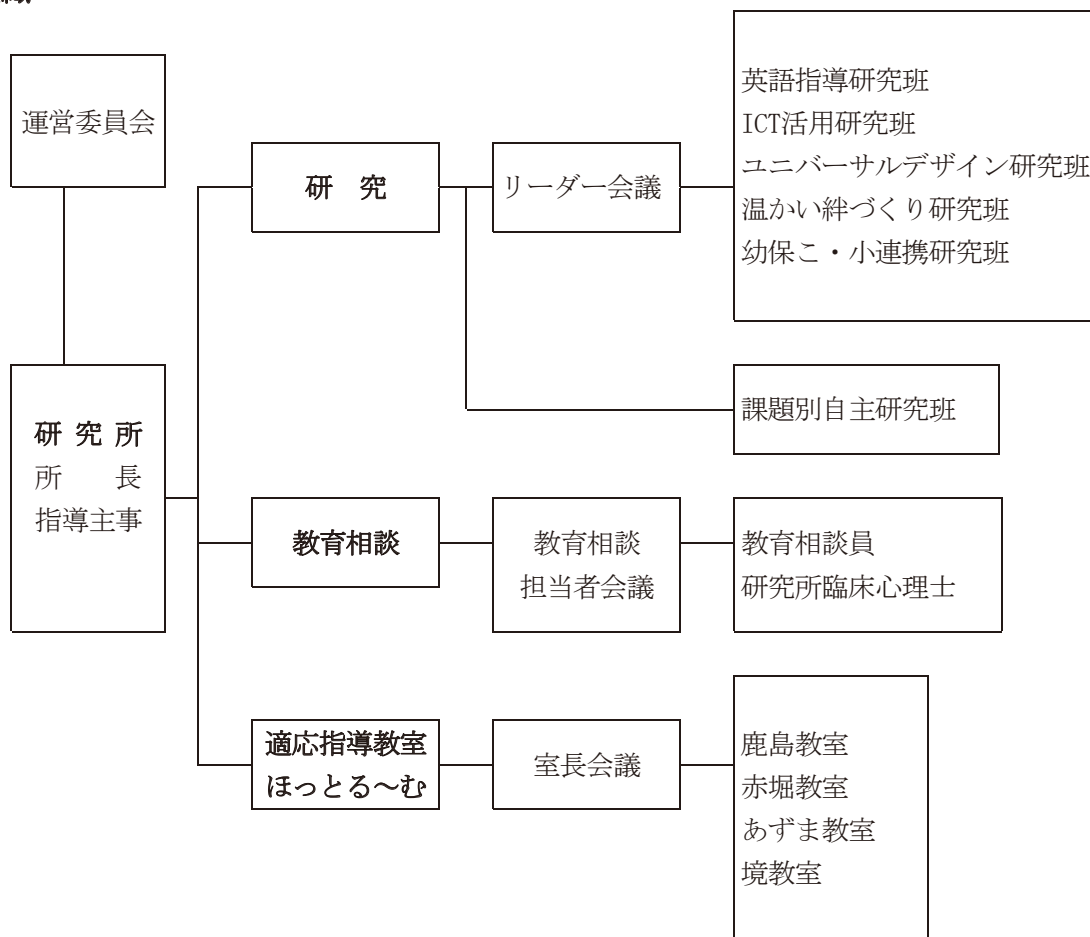
(2) 基本方針

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

(3) 努力点

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた情報発信及び情報収集に努める。
イ 教育相談体制の改善・充実に努める。
ウ 不登校児童生徒の集団への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子供に寄り添った指導を行う。

(4) 組織



〈運営委員会〉

小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、
小学校教頭顧問、中学校教頭顧問、
学校教育課長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、
所長、研究所担当指導主事

〈リーダー会議〉

研究班リーダー、所長、研究所担当指導主事

〈教育相談担当者会議〉

教育相談員、研究所臨床心理士、研究所担当指導主事

〈室長会議〉

ほっとる〜む室長、所長、研究所担当指導主事、研究所臨床心理士

2 研究事業

(1) 研究班

ア 研究テーマ

- (ア) 英語指導研究班
「小中を一貫した英語力向上へ向けての実践研究（3年次）」
～新学習指導要領実施下における学習到達目標を活用した授業実践を通して～
- (イ) ICT活用研究班
「情報を主体的に活用し、思考力を高め、学びを深める子供の育成」
～「情報活用能力」を育む継続的、系統的な指導実践と一人一台端末の効果的な活用実践を通して～
- (ウ) ユニバーサルデザイン研究班
「全ての子供たちが安心して学び合える集団づくり」
～「教育のユニバーサルデザイン」における人的環境の視点を生かして～
- (エ) 温かい絆づくり研究班
「互いのよさを認め合い、居場所を感じられる児童生徒の育成」
～年間を見通した学級活動を通して～
- (オ) 幼保こ・小連携研究班
「幼保こ・小の滑らかな接続を図るための指導の工夫」
～学びの連続性を踏まえた教師の働きかけの工夫を通して～
- (カ) 課題別自主研究班（日本語指導研究班）
「日本語を使って、生き生き学び、活動できる児童生徒の育成」
～「わかる」「できる」「だいじょうぶ」を目指した授業づくりを通して～

イ 研究日及び研究時間 水曜日 15:30～16:45 （年間17回）

- ウ 研究の報告**
- 随時、教育研究班だより等により発信。
 - 年度ごとに研究の記録としてまとめる。
 - 研究報告動画の配信

3 教育相談事業

(1) 教育研究所教育相談員による教育相談

- 学校及び「ほっとる～む」との連携に努める。
- 研究所臨床心理士と協力しながら教育相談に努める。

4 不登校対策事業

(1) 「ほっとる～む」の運営

- 児童生徒相互の関わり合いを深める活動を日常的に取り入れたり、乗馬体験や自然体験活動、スポーツ交流等を意図的・計画的に取り入れたりすることにより、集団に適応する力を培う。
- 研究所臨床心理士を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。
- 室長会議や教育相談研究協議会を定期的を開催し、「ほっとる～む」間及び「ほっとる～む」と学校との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

(2) サポートケース会議

- 不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

(3) 教育相談研究協議会

○学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。

- ・「ほっとる〜む」と学校・家庭・関係機関との具体的な連携のあり方について。
- ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等が中止や延期となる場合あり。

5 研修講座事業

(1) 教育相談研修講座

- 期 日 年間計画により実施（年5回5講座程度）
- 内 容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対 象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

(2) 幼保こ・小連携研修講座

- 期 日 7月26日（月）の午後実施
- 内 容 保育に関わる教職員の資質の向上、指導方法の工夫改善・充実。
保育と小学校の学びが滑らかに接続していける指導方法の工夫
- 対 象 市内公立学校園の教職員（市内私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園にも紹介）

(3) 夏季研修講座

- 期 日 8月3日（火）の午後実施
- 内 容 市教育課題の解決（社会で求められる能力等）
- 対 象 市内公立学校園の教職員

(4) 伊勢崎教師塾

- 期 日 6月3日（木）、9月7日（火）、11月19日（金）、1月21日（金）の午後実施
- 内 容 学校教育が抱える課題と改善策をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集（臨時含む）

(5) 日本語指導研修講座

- 期 日 6月8日（火）、10月21日（木）の午後実施
- 内 容 外国籍児童生徒への理解を促進し、学校教育が抱える課題の解決を図るための講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集（日本語教室担当者及び日本語教育研究班含む）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座等は中止や延期、リモート開催となる場合あり。

6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携

IV 学校給食



栄養士による給食時の訪問指導の様子（赤堀東小学校）

学校給食の充実

1 基本方針

栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することにより、発育期にある児童・生徒の心身の健全な発達と、健康の増進、体位の向上を図り、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。そのため、安心安全な学校給食を安定して提供することを心掛けています。

2 重点施策（令和3年4月1日現在）

(1) 令和3年度給食実施計画

ア 調理場の調理食数と給食対象校

調理場	給食対象校
第一東学校給食調理場 (調理食数 5,100 食)	あかぼり・あずま幼稚園、 赤堀・赤堀南・赤堀東・あずま・あずま南・あずま北小学校、 赤堀・あずま中学校
第一西学校給食調理場 (調理食数 5,600 食)	北・南・殖蓮・茂呂・三郷・北第二・殖蓮第二小学校、 第一・第三・殖蓮中学校、 特別支援学校（小・中学部）
第二学校給食調理場 (調理食数 5,500 食)	宮郷・名和・豊受・広瀬・坂東・宮郷第二小学校、 第二・第四・宮郷中学校
境第一学校給食調理場 (調理食数 1,100 食)	境・境東小学校、 境南中学校
境第二学校給食調理場 (調理食数 1,200 食)	境采女・境剛志小学校、 境北・境西中学校

イ 年間給食費及び徴収回数

幼稚園・小学校・小学部 年間44,400円を12回で徴収（月額3,700円）

中学校・中学部 年間53,000円を12回で徴収

（月額4,500円ただし3月分は3,500円）

学校給食に要する経費については、学校給食法において人件費・施設設備費等は設置者が負担し、食材料費は保護者が負担することとなっている。

令和元年度より、第3子以降学校給食費の助成を開始。

3人同時在学・給食費完納・他制度による学校給食費の助成を受けていないことなどが条件。

ウ 給食（調理場稼動）日数 199日

エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1日の栄養所要量に対する学校給食の割合 (%)
エネルギー (Kcal)	650	830	33
たんぱく質 (g)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%~20%		摂取エネルギーの13%~20%
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%~30%		摂取エネルギーの20%~30%
食塩相当量 (g)	2未満	2.5未満	33%未満
カルシウム (mg)	350	450	50
鉄 (mg)	3	4.5	40
マグネシウム (mg)	50	120	小学校 33 中学校 40
食物繊維 (g)	4.5以上	7以上	40%以上
亜鉛 (mg)	2	3	33
ビタミンA (μ gRE)	200	300	40
ビタミンB1 (mg)	0.4	0.5	40
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.6	40
ビタミンc (mg)	25	35	33



いせさきづくしの日【献立名】
ごはん、天丼のたれ、
京香（ごぼう）のかきあげ、
枝豆の浅漬け、豚汁

オ 学校給食運営委員会 委員数 15人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。会議は、年2回以上開催する。

カ 学校給食衛生委員会

調理場の衛生管理状況を確認するため、学校給食運営委員会と兼ねて開催。
保健福祉事務所や学校薬剤師会、群馬県教育委員会など外部機関から調理場への衛生指導内容と、調理場の改善案等を審議する。

(2) 学校給食を活用した食育指導の充実

ア 栄養教諭、学校栄養職員による食に関する指導の実施

給食時の訪問指導をはじめ、給食だよりの配布、PTA試食会での講話、T・T授業など学校と連携した指導を実施。

イ 学校給食年間指導計画

令和3年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行う。

ウ 市内産農産物を使用した給食の提供

児童生徒が地域の農業や食文化について興味や関心を持つきっかけとなるよう、学校給食では市内産農産物を積極的に使用する。

令和3年度 学校給食年間指導計画（令和3年4月1日現在）

月	目 標	ね ら い	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にする	学校給食について・入学、進級祝い・ソースカツ・千葉県	旬の食べ物	入学・進級	群一ソースかつ 郷一千葉県
5	衛生に注意しよう	正しい手洗いや身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・子供洋食・長崎県・中国	日本型食生活	端午の節句	群一子供洋食（ポテトのソース炒め） 郷一長崎県 世一中国
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯と口の健康週間・食育月間・混ぜごはん・奈良県・韓国	かみごたえのある食べ物	歯と口の健康週間	群一混ぜごはん 郷一奈良県 世一韓国
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県	食欲増進	七夕	郷一沖縄県 いせさきカレーの日 いせさきづくしの日
9	食生活の見直しをしよう	朝食の大切さを知り、望ましい食習慣を身につける	鉄分について・ごまよごし・イタリア・熊本県・くわまる誕生日(9/8)十五夜(9/24)	鉄分強化	お月見	群一ごまよごし 郷一熊本県 世一イタリア
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎市の特産物について知り、食と農に興味や関心を持つ	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・愛知県	地場産物活用	学校給食ぐんまの日	群一焼きまんじゅう 郷一愛知県
11	感謝して食べよう	食べ物の命や、給食が届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・すきやき・青森県	食物繊維強化	収穫祭	群一すきやき 郷一青森県 リクエスト
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・呉汁・秋田県	ビタミン強化	冬至	群一呉汁 郷一秋田県 いせさきづくしの日
1	給食の歴史を知ろう	給食の生い立ちと歩みを知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・おつきりこみ・ロシア	旬の食べ物	小正月 学校給食週間	群一おつきりこみ 世一ロシア
2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事について知り、好き嫌いをなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・伊勢崎銘仙・北海道	大豆・豆製品の活用	節分	群一伊勢崎神社コロッケ 郷一北海道 いせさきづくしの日 リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・すいとん・香川県	栄養バランス	ひな祭り 卒業祝い	群一すいとん 郷一香川県

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との 連携
4	～春～ みつば・春キャベツ・たけのこ・ にら・さわら・新玉ねぎ・ 清見オレンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ(小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・ 夏みかん・グリーンピース・あじ・ かつお・河内晩柑・いわし他	保健 けがの防止(小5) 保健 病気の予防(小6) 家庭科 見直そう！毎日の食事(小6) 学活 望ましい食習慣を身に着けよう(中1) 学活 食の自己管理を身に着けよう(中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・トマト・夏ごぼう・ たまねぎ・かぼちゃ・とうもろこし・ 枝豆・たこ・梅・さくらんぼ他	学活 おはよううんち(小3) 学活 よくかんで食べよう(小4) 学活 食の自己管理能力を身に着けよう(中2)	給食だより 「食育月間」
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・ かぼちゃ・じゃがいも・ゴーヤ・ ズッキーニ・とうもろこし・枝豆・ なす・すいか・たこ・夏ごぼう他	保健 けんこうな生活(小3) 保健 育ちゆくわたし(小4) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいのかな (小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・かつお・きのこ・ かぼちゃ・さといも・たちうお・ ぶどう・プルーン・おはぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちのくらし(小3) 社会 住みよいくらしをつくる(小4) 学活 やさいとなかよし(小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから(小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ ぎんなん・ちんげんさい・ れんこん・さといも・ 栗・さんま・さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね！きょうのごはん(小6) 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう(小4) 学活 郷土料理を知ろう(中2)	給食だより 「学校給食ぐん まの日」
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・ きのこ・さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆(小3) 国語 アップとルーズ(小4) 学活 元気のひみつはなあに？(小1)	給食だより 「感謝して食べ よう・いただきます の日」
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ ブロッコリー・下植木ねぎ・春菊・ ごぼう・かぶ・ぶり・みかん他	学活 健康を考えたおやつ(小6)	給食だより
1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ ねぎ・にんじん・ブロッコリー・ カリフラワー・水菜・キャベツ・ 春菊・ぶり・わかさぎ・鮭他	学活 日本食のよさをみつけよう(小5)	給食だより 「給食の歴史を 知ろう」
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・ あさり・いよかん他	学活 バランスよく食べよう(小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな(小6)	給食だより
3	～春～ 菜の花・キャベツ・あさり・ ほたて・にしん・いちご他		給食だより

3 令和2年度実績

(1) 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進

(ア) 給食時の指導

	調理場名	回数
1	第一東学校給食調理場	91回
2	第一西学校給食調理場	87回
3	第二学校給食調理場	76回
4	境第一学校給食調理場	58回
5	境第二学校給食調理場	28回

(イ) その他の指導

	主な指導内容	回数
1	学校保健委員会等における講師	17回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	25回
3	P T A等給食試食会の講師	0回
4	P T A等給食試食会の参加者	0人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指導を最小限としました。

(2) 伊勢崎市産農産物（野菜等）を活用した給食の提供

調理場地区	令和元年度実績			調理場地区	令和2年度実績		
	総使用量	市内産使用量	比率		総使用量	市内産使用量	比率
伊勢崎地区	317,400kg	164,000kg	51.7%	伊勢崎地区	271,800kg	136,600kg	50.3%
赤堀・東地区	144,300kg	71,600kg	49.6%	赤堀・東地区	124,500kg	57,500kg	46.2%
境地区	67,400kg	31,500kg	46.7%	境地区	57,300kg	24,300kg	42.4%
全地区	529,100kg	267,100kg	50.5%	全地区	453,600kg	218,400kg	48.1%

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、5月、6月1週目の給食提供はありませんでした。

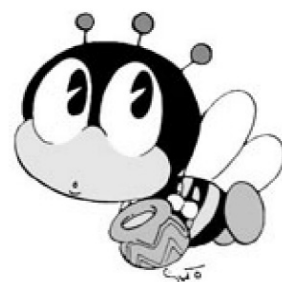


学校に配布した「いせさきづくしの日」等のチラシ



中学校の卒業生に配布した「思い出の給食レシピ集」

V 生涯学習



生涯学習のイメージ
キャラクター「マナビィ」



境東小学校放課後子供教室「お囃子」

生涯学習の充実

1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

2 重点施策

(1) 市民が主役の生涯学習の充実

- ア 学習活動の支援
- イ 学習機会の拡充
- ウ 学習環境の充実

(2) 子供の徳育の充実

- ア 家庭や地域との連携による心の育成
- イ 地域ぐるみの子供の健全育成

3 令和2年度事業実績

(1) 市民が主体となった学習機会の支援

ア 学習支援体制の整備

(ア)生涯学習支援事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習大会	例年、学びの楽しさを伝え、地域の学びの輪を広げ ることを目的に、市民グループによる学びの成果を活 かしたステージ発表やまなびい先生の作品展示等を通 して、生涯学習の推進、充実をめざす。(会場 境総合 文化センター) ○ステージ発表 各地区から選出された団体の発表と、生涯学習支 援ボランティアまなびい先生の発表 ○ロビー展示・体験コーナー 生涯学習支援ボランティアまなびい先生の作品展 示、出前講座・まなびい先生の紹介等	1月16日 中止	市 民	0人
出前講座	「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安 全に」のまちづくりを基調に、市民の学習活動を支援 するために、市民の求めに応じて市職員を講師として 派遣し、市の施策等を情報提供した。 37課、67のメニュー、申し込み件数19件	4月～3月	市 民	526人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習支援ボランティアまなびい先生	地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。 まなびい先生登録者 67人 メニュー数 90件 活用件数 5件	4月～3月	市民	121人
	楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい先生自主企画事業」を開催した。 14講座 延べ32回	4月～3月	市民	373人
高等教育機関との連携事業（公開講座）	<p>例年、地域の教育的機能を持つ上武大学並びに東京福祉大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するための公開講座を開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上武大学 ・東京福祉大学 	上武大学 中止	市民	0人
		東京福祉大学 中止	市民	0人
生涯学習だより「まなびい」の発行	編集ボランティアの協力を得て、生涯学習情報誌「まなびい」を年1回発行し、毎戸回覧している。 編集ボランティア 6人 編集会議 5回	発行日 3月1日	市民	発行部数 7,300部



まなびい先生自主企画事業
「手作りおしゃれマスク作り」



出前講座「防犯について」

イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行いました。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行いました。

(ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行いました。

◆構成メンバー 学校教育関係者 1 人、社会教育関係者 21 人、家庭教育の向上に資する活動を行う者 3 人、学識経験者 5 人の計 30 人

◆開催回数 2 回

(イ) 公民館による学級・講座開設

事業名	主な内容	参加者数	実施公民館
セカンドライフセミナー	急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごす学習をしました。(料理教室等)	175 人	南、殖蓮、三郷、名和、赤堀、境東
女性学級	女性としての視野を広め、社会における役割を考えました。(ビーズアクセサリ教室・フラワーアレンジメント教室等)	366 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、境、境島村、境東
家庭教育学級	幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子供の育成を目指して、子供の育て方、親のあり方を学びました。(親子体操教室・読み聞かせ教室等)	1,204 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、名和、豊受、あずま、境采女、境島村、境東
市民講座	多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図りました。(応急手当講習会・クラフトバンド教室等)	956 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境島村
子どもクラブ	様々な活動を通して、子供たちの自主性、社会性を養いました。(おもしろ科学教室・子ども絵画教室等)	358 人	殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、境、境島村
健康促進講座	スポーツ等を通して地域住民の交流と健康増進を図りました。(ヨガ教室・ストレッチ教室等)	289 人	南、殖蓮、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境剛志
I T 講習	I T 社会に住民が十分対応できるよう基礎技能を修得しました。(ワード、エクセル講座・タブレット体験講座等)	563 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、あずま

(ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めました。

(工) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	利用 者数	サー クル 数	利用 件数	利用 者数	利用 件数	利用 者数	開催 ・ 利用 件数	利用 者数
北	件 19	人 706	団体 63	件 886	人 9,209	件 105	人 1,280	件 1,010	人 11,195
南	28	275	43	437	5,222	209	1,619	674	7,116
殖蓮	38	1,142	59	668	8,942	168	4,053	874	14,137
茂呂	28	311	39	462	4,811	221	3,597	711	8,719
三郷	33	446	43	565	5,853	154	2,890	752	9,189
宮郷	30	348	64	1,002	11,115	251	5,309	1,283	16,772
名和	25	397	36	453	3,828	132	3,964	610	8,189
豊受	30	303	43	530	4,606	121	3,692	681	8,601
赤堀	25	245	44	513	4,203	157	2,067	695	6,515
あずま	22	314	85	927	8,946	119	4,705	1,068	13,965
境	12	174	62	960	7,565	106	1,143	1,078	8,882
境采女	2	11	23	324	2,169	57	1,634	383	3,814
境剛志	4	47	29	404	4,223	52	1,653	460	5,923
境島村	5	52	18	124	1,015	46	780	175	1,847
境東	13	129	33	503	4,279	82	1,367	598	5,775
計	314	4,900	684	8,758	85,986	1,980	39,753	11,052	130,639



(学社) 放課後子ども八木節教室



自然観察会 権現山を歩こう

(2) 生涯学習推進体制の整備

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習推進協議会	生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図るため。	6月23日 書面審議	委 員	32人
生涯学習推進協議会幹事会	推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行う。	4月21日 書面審議	委 員	16人
生涯学習推進員	地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。	年 間	生涯学習 推 進 員	170人
生涯学習推進員研修会	地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指し、高崎商科大学特任教授 熊倉浩靖先生を招いて、講演会を行い市民の自己啓発を図った。	9月 中 止	生涯学習 推 進 員	0人
生涯学習推進事業	地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区の生涯学習推進員さんを中心に、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。(各行政区と生涯学習推進事業委託を結び推進している)	年 間	市 民	170行政区
赤石楽舎活用推進事業	赤石楽舎の利用については、北小学校の児童が授業で使用したり、地域の文化・スポーツサークルの方々が、子供達を交えた活動を行ったりしている。 また、生涯学習支援ボランティアまなびい先生による自主企画事業を実施した。また、例年、伊勢崎燈華会、伊勢崎銘仙の日等の市民団体によるイベント会場としても活用されている。	利用者数 年 間	市 民 子 供	利用件数 1,013件 利用者数 73,603人
	赤石楽舎「サマーフェスタ」 例年、七夕まつりの開催に合わせ、読書サポーターによる絵本の読み聞かせ、まゆドーム職員による体験活動、NPO法人による講座等を実施している。	サマー フェスタ 7月18日 中 止	市 民	来場者0人

(3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習をとおして、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

ア 社会教育委員会議の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画を立案、審議した。

委員 20人 開催回数 4回（うち書面審議2回）

イ 子供の健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数	
子供の健全育成	少年の主張大会	例年、市内中学生が日頃感じている事や夢、希望などの発表をとおして社会の一員としての自覚を高めると共に少年に対する市民の理解を求め実施している。	6月26日 中止	中学生 市民	発表者0人 参加者0人
	放課後子供教室推進事業	地域社会の中で、子供たちが安全で安心して、健やかに育まれるよう、そして次代を担う人材の育成のため、児童が多様な体験・活動を行うことを目的として実施した。 北小学校地区14日間実施 南小学校地区12日間実施 三郷小学校地区7日間実施 名和小学校地区14日間実施 坂東小学校地区11日間実施 境采女小学校地区11日間実施 赤堀東小学校地区12日間実施 境東小学校地区9日間実施	9月～ 12月	対象者	児童 北小 延べ 401人 南小 延べ 301人 三郷小 延べ 162人 名和小 延べ 372人 坂東小 延べ 270人 境采女小 延べ 178人 赤堀東小 延べ 354人 境東小 延べ 82人 協働活動支援員等 北小 延べ 85人 南小 延べ 78人 三郷小 延べ 68人 名和小 延べ 78人 坂東小 延べ 57人 境采女小 延べ 61人

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数
				赤堀東小 延べ 76人 境東小 延べ 63人
特別支援学校等青年教室	特別支援学校等卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための事業（ミュージックケア、読み聞かせ、クリスマス会）を開催した。	10月～12月 中止	対象者	0人
定時制教育振興事業	伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図る、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。	4月～3月	対象者	87人
子供の健全育成	親子ふれあい事業 未来を担う子供たちが心身ともに健やかに成長することを願い、観察、採集、栽培、実験など自然に関わる事業、リサイクル、自然物を利用した手作りによる工作等の親子ふれあい事業を実施した。 体験学習 21事業 21日間実施	4月～3月	親子	参加者 762人
家庭教育振興事業	家庭教育人権教育推進委託事業	4月～3月	幼稚園・小中中等特別支援学校PTA会員	
	市P連理事・女性委員合同研修会	11月11日	市内小・中学校PTA会員	72人



親子ふれあい事業



名和小学校放課後子供教室

ウ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図る。

(ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子供、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置。

委員構成は、33人以内 内訳は、学校教育関係者9人以内、PTA会長5人以内、その他教育委員会が適当と認める者10人以内、市職員9人以内。

(イ) 人権教育啓発事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
PTA家庭教育人権教育推進委託事業	家庭教育の主役であるPTA会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施する。	4月～3月	幼稚園・小中中等教育特別支援学校PTA会員	
集会所における人権問題学習講座	例年、市内6集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を開催している。	5月～9月中止	市民	0人
親子で学ぶ人権問題学習講座	例年、夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を6集会所において実施している。	8月中止	市民	0人
人権のまちづくり講演会	例年、市民を対象とした啓発事業。講演会等を組み合わせ実施している。(会場境総合文化センター)	8月22日中止	市民	0人
地区別人権学習会	地区毎に巡回した啓発事業。人権啓発資料の紹介や講演会を行い、市民の人権意識の高揚を図る。(地域交流センター赤石楽舎で実施)	10月28日	市民	60人
人権について考える集い(隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催)	例年、基本的人権にかかわる人権・同和問題について、市民一人ひとりに正しい理解と認識を深めていただくために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催し、「差別のない明るい社会」を目指すものとする。	1月23日中止	市民	0人

人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集（人権啓発カレンダー作成）	小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子供たちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その入選作等で人権啓発カレンダーを作成し、市内全校児童生徒に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。	人権ポスター 7月～9月 人権標語 12月	小中学生	人権ポスター 小学生 240点 中学生 96点 人権標語 小学生 11,270点 中学生・特支 6,057点
---------------------------------	--	------------------------------------	------	---

(ウ) 集会所管理運営事業

運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開き、人権問題の早期解決をめざす。

施設名	事業名					参加者数
	内容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	9	98	1,225人
道伝集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	3	40	120人
宮子町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	10	107	1,220人
柴町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	9	53	427人
連取町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	6	58	457人
三室町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	7	84	784人
総計		0		44	440	4,233人

4 文化の振興と発信

(1) 公民館文化事業の充実

ア 公民館サークル等作品展の開催

公民館利用サークルを中心とした地区の文化活動の成果を公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めるとともに、より一層の公民館活動の活発化を図るため、公民館作品展を開催しました。

作品展出品数	437点
入場者数	819人
芸能発表出演者数	0人
入場者数	0人



第48回境東地区作品展

関連施設

(1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 359 日

学習館主催事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用件数	利用者数
件 0	人 0	団体 58	件 908	人 8,421	件 116	人 421	件 1,024	人 8,842

(2) あずまホール

利用状況：開館日数 306 日

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
音楽	5	573
舞踏	2	640
演芸会	1	70
大会	4	632
講演会	0	0
研修会	4	467
練習	121	2,210
準備	5	59
その他	1	35
合計	143	4,686



かけっこ教室

(3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 335 日

	日帰り	宿泊	合計
利用件数	771 件	11 件	782 件
利用者数	9,700 人	194 人	10,270 人

主催事業

実施日	事業名	参加者数
9月6日	かけっこ教室	30人
11月15日	オリジナル茶碗づくり	20人
12月13日	シュワシュワ入浴剤づくり	19人
1月16日	ガラスエッチング教室	20人
合計		89人

図 書 館

図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の附属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。また、平成29年4月より、生涯学習課から「読書の街いせさき」推進事業が移管された。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣 工 年 月 日	昭和51年11月	平成2年9月 平成7年4月(設置)	平成11年3月	昭和61年3月
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り
敷 地 面 積	6,158.94 m ²	—	4,790.21 m ²	4,557.49 m ²
延 床 面 積	2,762.41 m ²	400.50 m ²	1,837.85 m ²	1,433.90 m ²
学 習 室	100席	コーナー	コーナー及び24席	コーナー及び講座室
調 査 相 談 室	18席	コーナー	コーナー	コーナー
軽 読 書 コ ー ナ ー	有	有	有	有
新 聞 雑 誌 室	有	無	有	有
視 聴 覚 コ ー ナ ー	無	有	有	有
資 料 展 示	有	ロビー(共用)	ロビー	境絹の館
集 会 室 ・ 会 議 室	集会室約100席	会議室20席(共用)	視聴覚室約100席	講座室46席
駐 車 場	90台	105台(共用)	57台	28台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

2 重点施策（読書の街づくりの推進）

(1) 豊かな心を育む読書活動の推進

- ア 読書を通し、人・文化を育む図書館
- イ 地域・市民が交流し集う図書館

(2) 図書館の特色を活かした事業の展開

- ア 生活・仕事の課題解決に役立ち、地域に生きる図書館

(3) 小中学校図書室との連携

- ア 図書館と学校図書室との連携促進



令和3年に開館100周年を迎える伊勢崎市図書館

3 令和2年度事業実績

(1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者4人、学識経験者4人からなる。令和2年度は会議を2回開催、1回を書面開催とした。

○第1回 令和元年7月14日（火）午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員9人

令和元年度事業報告について

令和2年度教育行政方針（図書館）について

令和2年度事業計画について

○第2回 令和2年11月28日（土）家族ふれあい読書新聞発表会として実施 出席委員9人

図書館FESTIVALが中止となったことに伴い、家族ふれあい読書新聞の発表機会がなくなったため、図書館協議会として発表会を行った。

○第3回 令和3年3月 書面開催

令和2年度事業報告について

令和3年度事業計画について

(2) 図書館資料の構成・貸出

ア 蔵書構成

購入24,470点、寄贈2,948点等の受け入れと、22,657点の除籍等を行い、全館所蔵点数は684,498点である。

一般図書の構成は、全館通して文学の割合が高く、約44%を占めている。特に境図書館で約50%と高くなっている。文学以外では、全館で社会科学が約12%と割合が高く、次いで芸術、歴史の順となっている。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっており、合わせて約70%を占める。特に、境図書館では文学の割合が高く約35%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオテープが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変化に伴うものであり、蔵書についても、これらに対応した傾向となっている。

イ 貸出

貸出数は632,263点で、前年度と比較して約38%減少した。また、貸出人数は121,506人で、前年度と比較して約55%減少した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う臨時休館等が影響したものと考えられる。

貸出の利用者の世代を表す特徴としては、40歳～49歳が全体の18%を占めている。

市内幼稚園、保育園、放課後児童クラブ等の児童関連施設、社会福祉施設等へ向けて、図書館から図書を届ける、若しくは来館により貸し出している。今後もより多くの市民により広く図書が届くようサービスを展開していきたい。

ウ 学校連携

平成27年11月から小中学校へ向けて、学校支援サービスを開始した。本の提供サービスとして、児童・生徒、先生が必要とする資料を選書のあと配送し回収する。令和2年度は118回の配送を行った。学校図書室へのサービスとしては、さまざまな情報を発信しながら、学校図書室事務職員の相談に応じ、より効果的な学校図書室の運営を支えていく。学校現場に寄り添い充実したサービスとしていきたい。

また、学校における読書推進をサポートする取り組みとして、平成29年度から学校専用の「読書通帳」の配布を開始した。

エ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、希望する図書等をボランティアの協力のもとに朗読テープを作成し、貸し出している。令和元年度の貸出数は、朗読テープ1,257点、CD6点で、利用者は延べ26人だった。

オ 配達サービス

来館が困難である高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書やCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。令和2年度の貸出数は、図書1,087点で、利用者は延べ21人だった。

カ インターネット・館内利用者端末（OPAC）予約

インターネット予約の件数は、全館で41,044件で、全予約件数の約70%を占めている。また、平成27年度から館内利用者端末（OPAC※）での予約が可能となり、令和2年度は全館で5,460件の予約を受付した。

※ OPAC（Online Public Access Catalog オンライン蔵書目録）とは一般の利用者が図書館内で蔵書検索できる端末のこと

(3) 事業報告

ア ブックスタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であるが、10か月児健康相談が中止となったため、図書館での配布と1歳6か月児健康相談での配布を行った。

令和2年度は「ぴょーん」「だるまさんが」の2冊と、子育てアドバイス集と一緒に配布した。配布数は、健康管理センターで544冊、赤堀保健センターで522冊、伊勢崎市図書館で154冊、あずま図書館で66冊の計1,286冊だった。

イ 読み聞かせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、図書館における対面での読み聞かせは全館で中止した。

家庭で少しでも読み聞かせに親んでもらえるように、読み聞かせ動画の配信を行った動画の配信にあたっては著作権者の了解をいただける作品を使用し、子ども向け読み聞かせ動画を「としょかんこども会」として7本配信した。

また、図書館に寄贈された郷土の民話の紙芝居や絵本を使用した動画を「郷土の民話」として4本、その他、特別企画として2本の動画を配信した。



郷土の民話の配信動画

ウ 親子で参加できる事業

本や図書館に触れるきっかけとなるような、親子で楽しく参加できる事業を、感染症対策を徹底しながら実施した。

赤堀図書館では「みんなでシネマ夏休み特別映画会」、あずま図書館では子ども向けに「アニメシアター」、境図書館では「親子映画会」として映画の上映を行った。

エ いせさき学習堂・こどもいせさき学習堂

伊勢崎藩の藩校・学習堂が現在の伊勢崎市図書館付近に立地し、民間の学校である「郷学」を支援するなど江戸期の伊勢崎の教育を牽引する役割を担っていたことに因み図書館から学びを発信しようと、図書館で実施する各種講座を「いせさき学習堂」、子ども向け講座を「こどもいせさき学習堂」と冠して実施した。いずれの講座も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン講座としたり、対面・オンラインを併用することで実施した。

【いせさき学習堂】

11月17日に文学・歴史講座「明智光秀」（対面・オンライン併用）を、1月14日から3月11日まで古文書入門講座（全8回、オンライン）を、郷土文化講座として3月6日に「世界から見る銘仙、銘仙から見る世界」（オンライン）を実施した。

【こどもいせさき学習堂】

夏休み期間に合わせ、「読書感想文の書き方講座」（対面・**古文書入門講座（オンライン）**）を開催した。また、「調べる学習応援講座」（オンライン）を実施した。



オ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

カ 各種講座・教室

伊勢崎市図書館において、10月31日に伊坂幸太郎著「逆ソクラテス」をテキストとした市民読書会を実施した。

キ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で、「家族ふれあい読書新聞展（8月1日～8月31日）」や、他部課と連携して「がん予防パネル展」等を行った。

赤堀図書館では館内で、「赤堀図書館文化祭（11月11日～29日）」、あずま図書館では特別展示室で「昆虫写真展（8月1日～8月23日）」、境図書館では「図書館ざらりー」として「図書館で昆虫採集！」「ハッピー・ハロウィン」ブック オア トリート」「クリスマス事業 リースの塗り絵」等の展示を年間通し、計5回開催した。



家族ふれあい読書新聞展

ク 図書館FESTIVAL

毎年11月に伊勢崎市図書館、赤石楽舎を会場に開催している図書館FESTIVALは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

ケ 朗読会・演奏会・映画会

図書館での時間を楽しみ、本と親しむ場を提供することを目的に毎年開催している朗読会・演奏会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

赤堀・あずま・境図書館では、名作や子どもたちに人気の作品を選んでの映画会を行った。

コ 図書館応援団

図書館ボランティアを「図書館応援団」として広く募集し、令和2年度は200名を受け入れた。図書の配架や修理、読み聞かせ、まちかど図書館の運営など図書館事業に関わるボランティア活動を行っており、感染リスクの低い活動に限定して参加していただいた。

サ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料や市民から寄贈された本をリサイクル図書として市内21カ所の「まちかど図書館」で利用するほか、市民に無料配布し、有効活用している。図書館での配布冊数は図書9,487冊、雑誌1,839冊、まちかど図書館での配布冊数は4,485冊であった。

シ 施設見学・体験学習

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターンシップ、チャレンジウィーク等の受入はなかった。

(4) その他

ア 寄附

プロファ設計株式会社より児童向け図書及び図書消毒機、株式会社中西製作所群馬工場から足

踏み式消毒液ディスペンサー、群馬境ロータリークラブからは視聴覚資料（CD）、新田安紀芳氏から本市ゆかりの洋画家である正田壤氏の絵画作品31点の寄附があった。

(5) 境絹の館

境図書館の敷地内にあり昭和54年に寄附を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的にご利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用した。

なお、ここでは郷土の著名な画家金井烏洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供している。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館 別		伊勢崎市	市民プラザ	赤堀図書	あずま	境図書館	合 計	
区 分		図書館	図書室	館	図書館			
奉仕人口	令和元年度	133,216		23,693	26,510	29,794	213,213	
	令和2年度	133,009		23,750	26,630	29,778	213,167	
利用者数	令和元年度	103,487	33,825	28,592	48,395	41,611	255,910	
	令和2年度	45,620	14,362	14,572	22,145	20,165	116,864	
令和2年度開館日数		199	224	223	204	204	—	
令和2年度新規登録		662	120	156	259	176	1,373	
全貸出数	令和2年度個人	伊勢崎地区	191,609	59,467	13,841	32,577	26,421	323,915
		赤堀地区	3,625	244	45,403	11,172	942	61,386
		東地区	4,870	526	8,560	55,166	1,492	70,614
		境地区	6,285	3,686	574	5,496	54,228	70,269
		市外	10,034	4,205	4,696	9,679	8,039	36,653
		計	216,423	68,128	73,074	114,090	91,122	562,837
	団体等	令和元年度	72,456	1,649	5,775	6,714	10,711	97,305
		令和2年度	58,558	544	3,180	3,893	3,251	69,426
	総計	令和元年度	446,561	122,628	111,146	185,719	155,324	1,021,378
		令和2年度	274,981	68,672	76,254	117,983	94,373	632,263

奉仕人口は住民基本台帳、平成31年、令和2年4月1日現在による。

新規登録は市外、団体等を含む。

全貸出数の団体等は市内学校への貸出しを含む。

地区別年齢区分別利用者数・貸出数

	年齢区分	伊勢崎地区		赤堀地区		東地区		境地区		市外	
		利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
令和2年度	70～	11,140	49,154	1,088	4,285	2,272	9,297	3,469	13,478	1,031	3,871
	60～69	10,747	46,604	1,304	5,420	2,052	8,710	2,610	10,108	1,534	6,516
	50～59	8,975	36,852	1,277	5,004	2,378	9,264	1,972	7,706	1,612	7,684
	40～49	11,822	56,509	2,603	13,093	2,308	11,972	2,422	11,413	1,976	8,753
	30～39	7,425	42,309	1,471	8,083	1,539	8,643	1,386	7,740	739	3,753
	23～29	1,944	8,449	604	2,916	344	1,642	377	1,664	217	1,060
	19～22	1,239	4,863	208	746	334	1,195	340	1,301	177	552
	16～18	1,100	4,117	208	836	179	836	183	710	74	332
	13～15	1,522	7,506	387	1,803	261	1,196	471	2,268	125	525
	10～12	3,392	19,968	897	5,232	921	4,943	733	3,788	246	1,415
	7～9	3,543	22,499	990	6,630	1,012	5,816	848	5,253	187	1,074
	0～6	3,712	25,085	1,143	7,338	990	7,100	661	4,840	143	1,118
	計	66,561	323,915	12,180	61,386	14,590	70,614	15,472	70,269	8,061	36,653
令和元年度		150,084	548,933	25,473	93,198	32,032	114,423	33,038	115,502	15,283	52,017
前年比較		-83,523人	-225,018点	-13293人	-31,812点	-17,442人	-43,809点	-17566人	-45,233点	-7222人	-15,364点
		-55.7%	-41.0%	-52.2%	-34.1%	-54.5%	-38.3%	-53.2%	-39.2%	-47.3%	-29.5%

館別分類別個人貸出表

(単位：点)

		伊勢崎市図書館		市民プラザ図書室		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		
		元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	
図書資料	一般	総記	5,634	1,779	822	369	786	592	997	682	1,210	755
		哲学	6,545	4,026	1,851	1,058	1,460	1,247	2,173	1,568	1,980	1,094
		歴史	13,522	6,445	5,164	1,818	3,268	1,520	6,943	2,947	6,836	3,280
		社会	16,947	9,704	3,566	2,184	2,442	1,962	4,767	3,172	4,427	3,213
		自然	12,371	6,796	3,075	1,575	1,912	1,580	3,758	2,468	3,616	2,133
		技術	23,249	11,813	8,588	4,630	6,314	4,298	10,342	6,008	8,217	4,769
		産業	5,711	3,002	1,495	862	1,555	831	2,142	1,282	1,517	1,129
		芸術	18,541	10,779	11,770	6,728	8,846	6,837	11,608	8,013	5,727	3,735
		言語	2,210	1,029	560	241	436	216	850	424	687	339
		文学	83,248	53,477	18,621	11,648	13,468	10,114	33,271	24,319	33,735	24,386
		計	187,978	108,850	55,512	31,113	40,487	29,197	76,851	50,883	67,952	44,833
	児童	総記	970	727	572	291	438	368	740	401	1,124	605
		哲学	1,423	824	1,095	551	824	465	738	441	350	237
		歴史	5,451	4,316	2,530	1,638	1,525	1,543	1,774	1,172	1,924	1,184
		社会	2,282	1,495	709	421	800	630	572	471	1,277	783
		自然	11,041	7,273	4,923	2,683	3,651	2,711	4,890	2,901	3,590	2,075
		技術	2,882	1,786	1,060	601	1,349	963	1,833	998	1,114	614
		産業	2,077	698	352	242	464	289	552	284	170	154
		芸術	6,382	3,369	2,520	1,361	2,378	1,545	3,244	1,602	1,910	1,094
		言語	1,545	1,042	467	260	618	372	485	245	341	243
		文学	28,653	15,896	10,033	6,855	8,643	6,002	13,736	8,049	8,294	5,743
		絵本	60,542	33,390	18,728	10,071	19,197	11,826	32,667	19,407	21,348	12,022
	紙芝居	2,384	1,504	1,261	526	995	723	1,175	893	1,265	590	
	計	125,632	72,320	44,250	25,500	40,882	27,437	62,406	36,864	42,707	25,344	
	郷土	3,677	2,315	304	189	218	241	467	349	732	492	
	大活字本	3,305	2,032	214	230	240	295	959	925	965	410	
	点字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
洋書	463	388	9	17	65	44	314	260	114	79		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	321,055	185,905	100,289	57,049	81,892	57,214	140,997	89,281	112,470	71,158		
雑誌	10,848	6,676	5,400	3,227	5,193	3,723	9,296	6,775	7,966	5,319		
視聴覚資料	C D	18,671	10,328	5,827	3,124	5,997	4,197	11,341	7,500	9,430	5,697	
	カセット	20	1	0	0	0	0	2	0	0	0	
	ビデオ	398	147	12	24	4	4	273	167	335	112	
	D V D	20,915	12,408	9,403	4,648	12,276	7,934	17,072	10,340	14,039	8,650	
	R O M	2	0	0	0	1	1	2	0	1	0	
	録音朗読	2,196	958	48	56	8	1	22	27	372	186	
	合計	42,202	23,842	15,290	7,852	18,286	12,137	28,712	18,034	24,177	14,645	
総計	374,105	216,423	120,979	68,128	105,371	73,074	179,005	114,090	144,613	91,122		

蔵書構成 (令和2年度末)

(単位:点)

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館		
		元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	
図書資料	一般	総記	7,727	7,605	986	1,025	1,652	1,681	3,378	3,375	13,743	13,686
		哲学	7,471	7,332	1,492	1,552	3,059	3,068	2,795	2,802	14,817	14,754
		歴史	18,037	17,377	2,734	2,675	7,034	6,882	8,796	8,802	36,601	35,736
		社会科学	22,380	21,849	2,895	2,744	9,131	9,263	10,688	10,636	45,094	44,492
		自然科学	10,111	10,145	2,552	2,691	5,522	5,615	4,657	4,595	22,842	23,046
		技術	11,335	11,412	3,859	3,458	8,825	8,794	5,154	5,064	29,173	28,728
		産業	5,468	5,464	1,296	1,353	3,019	3,014	2,141	2,129	11,924	11,960
		芸術	18,265	18,187	4,056	4,327	9,191	9,230	7,751	7,602	39,263	39,346
		言語	3,144	2,904	715	727	1,224	1,237	1,257	1,275	6,340	6,143
		文学	70,070	69,758	16,147	16,698	32,867	33,850	45,648	45,984	164,732	166,290
	計	174,008	172,033	36,732	37,250	81,524	82,634	92,265	92,264	384,529	384,181	
	児童	総記	1,179	1,231	352	337	464	434	689	712	2,684	2,714
		哲学	920	968	267	247	275	277	375	388	1,837	1,880
		歴史	4,355	4,654	907	911	1,245	1,264	1,297	1,336	7,804	8,165
		社会科学	4,010	4,262	805	724	1,071	1,081	1,648	1,713	7,534	7,780
		自然科学	6,782	7,239	1,742	1,483	3,225	3,246	2,266	2,356	14,015	14,324
		技術	2,751	2,823	707	613	1,016	1,038	1,021	1,043	5,495	5,517
		産業	1,960	2,022	485	448	553	567	449	463	3,447	3,500
		芸術	3,899	4,099	994	885	1,614	1,623	1,103	1,138	7,610	7,745
		言語	1,493	1,589	375	333	376	378	442	449	2,686	2,749
文学		28,832	29,241	6,665	5,693	13,360	13,691	11,351	11,648	60,208	60,273	
絵本	36,516	37,460	6,747	6,240	17,077	17,586	10,654	11,124	70,994	72,410		
紙芝居	2,085	2,154	604	627	1,211	1,242	851	883	4,751	4,906		
計	94,782	97,742	20,650	18,541	41,487	42,427	32,146	33,253	189,065	191,963		
郷土	32,834	33,865	2,209	2,485	3,400	3,543	7,723	8,036	46,166	47,929		
大活字	3,226	3,305	375	429	926	945	1,313	1,345	5,840	6,024		
点字	1,057	1,057	0	0	0	0	0	0	1,057	1,057		
洋書	1,929	1,985	110	110	186	218	623	629	2,848	2,942		
その他	86	86	0	0	0	3	0	0	86	89		
合計	307,922	310,073	60,076	58,815	127,523	129,770	134,070	135,527	629,591	634,185		
雑誌	6,324	6,539	1,011	1,067	3,173	3,208	4,092	4,094	14,600	14,908		
視聴覚資料	C D	8,140	8,258	3,072	3,185	4,734	4,795	3,471	3,563	19,417	19,801	
	カセット	55	54	1	1	4	4	0	4	60	63	
	ビデオ	1,753	1,659	159	153	1,058	995	1,210	1,115	4,180	3,922	
	D V D	3,195	3,332	1,686	1,774	1,720	1,814	1,824	1,908	8,425	8,828	
	R O M	112	114	12	12	10	10	5	16	139	152	
	録音・朗読	2,380	2,445	0	0	61	61	133	133	2,574	2,639	
	合計	15,635	15,862	4,930	5,125	7,587	7,679	6,643	6,739	34,795	35,405	
総計	329,881	332,474	66,017	65,007	138,283	140,657	144,805	146,360	678,986	684,498		

市民プラザ図書室の蔵書は伊勢崎市図書館に含む。

一般図書構成割合 (令和2年度末)

(単位:%)

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館		
		令和元年	令和2	令和元	令和2	令和元	令和2	令和元	令和2年	令和元	令和2年	
図書資料	一般	総記	4.44	4.42	2.68	2.75	2.03	2.03	3.66	3.66	3.57	3.56
		哲学	4.29	4.26	4.06	4.17	3.75	3.71	3.03	3.04	3.85	3.84
		歴史	10.37	10.10	7.44	7.18	8.63	8.33	9.53	9.54	9.52	9.30
		社会科学	12.86	12.70	7.88	7.37	11.20	11.21	11.58	11.53	11.73	11.58
		自然科学	5.81	5.90	6.95	7.22	6.77	6.80	5.05	4.98	5.94	6.00
		工学技術	6.51	6.63	10.51	9.28	10.83	10.64	5.59	5.49	7.59	7.48
		産業	3.14	3.18	3.53	3.63	3.70	3.65	2.32	2.31	3.10	3.11
		芸術	10.50	10.57	11.04	11.62	11.27	11.17	8.40	8.24	10.21	10.24
		言語	1.81	1.69	1.95	1.95	1.50	1.50	1.36	1.38	1.65	1.60
		文学	40.27	40.55	43.96	44.83	40.32	40.96	49.47	49.84	42.84	43.28
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00		

VI 文化振興



第 16 回いせさき市民アートフェスティバル 2020

文化振興

1 基本方針

市民の情操をはぐくみ育てるため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体への育成及び連携を深めるとともに、文化活動のより一層の活性化を図る。

2 重点施策

(1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした発表会や作品展等の開催を通じ、市民文化の形成・向上を図る。

(2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と、地域の伝統文化の伝承を推進するための活動支援や人材の育成を図るとともに、世代を超えて幅広い年齢層が文化に親しむことのできる機会を拡充する。

(3) 舞台芸術鑑賞の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

(4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

3 令和2年度事業実績

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

文化協会は 15 部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流も深めている。

なお、令和2年度事業については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1 部門のみ開催となった。

月	日	事業名	内容	会場
4	4	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	郷土芸能部門会員による発表会	【開催中止】
	13	役員会・常任理事会	定期総会に向けて	【書面会議】
5	28	定期総会	令和元年度報告 令和2年度計画	【書面審議】
	29	文化いせさき編集会議	会報誌の発行に向けて	【書面会議】
9	4~6	第14回総合作品展	美術部門会員による作品展	【開催中止】
	6	洋舞フェスティバル2020	洋舞部門会員による発表会	【開催中止】
	6	第13回茶会	茶道部門会員による茶会	【開催中止】
	12	諸芸部門発表会	諸芸部門会員による発表会	【開催中止】
	14	常任理事会	会則の変更 賛助会員加入協力等	伊勢崎市役所

11	14・15	第12回自然部門総合展	自然部門会員による作品展	【開催中止】
	14	第14回市民音楽祭	音楽部門会員による発表会	【開催中止】
	15	第14回郷土芸能大会	郷土芸能部門会員による発表会	【開催中止】
12	23	文化いせさき編集会議	会報誌の編集に向けて	伊勢崎市役所
2	5～7	第14回書道展	書道部門会員による作品展	境総合文化センター
	7	第28回歌謡部門発表会	歌謡部門会員による発表会	【開催中止】
	13・14	第14回文学祭	文学部門会員による文学祭	【開催中止】
	13・14	第14回いけばな展	華道部門会員による作品展	【開催中止】
	14	第14回民謡民舞発表大会	民謡民舞部門会員による作品展	【開催中止】
3	14	第13回邦楽舞踊のつどい	邦楽舞踊部門会員による発表会	【開催中止】
	18～21	第14回写真展	写真部門会員による作品展	【開催中止】
	21	第13回吟剣詩舞の集い	吟剣詩舞部門会員による発表会	【開催中止】
	22	役員会・常任理事会	役員改選に向けて	文化会館



第14回 書道展

イ 文化協会登録団体

文化協会 15 部門の内訳は以下のとおりであり、団体総数 212 団体、会員総数 5,790 人。

部 門	種 目	団 体 数	人 数	部 門	種 目	団 体 数	人 数
美 術	日 本 画	1	13	吟 剣 詩 舞	吟 詠	9	195
	洋 画	1	16		詩 舞	6	79
	工 芸	4	85		計	15	274
	そ の 他	4	58	民 謡 民 舞	民 謡	12	152
	計	10	172	郷 土 芸 能	八 木 節	17	362
書 道	か な	2	31		は や し	8	330
	漢 字	17	354		和 太 鼓	6	211
	そ の 他	1	13		獅 子 舞	2	49
	計	20	398		古 武 道	2	50
写 真	写 真	9	145		そ の 他	3	101
華 道	華 道	2	200		計	38	1,103
茶 道	茶 道	7	733	洋 舞	社 交	0	0
文 学	短 歌	2	25		フ ォ ー ク	1	9
	俳 句	1	24		フ ラ ダ ン ス	20	323
	川 柳	0	0		そ の 他	4	61
	そ の 他	3	73		計	25	393
	計	6	122	自 然	植 物	8	178
音 楽	合 唱	12	329		動 物	1	50
	器 楽	8	197		そ の 他	1	12
	計	20	526		計	10	240
歌 謡	歌 謡	13	810	諸 芸	囲 碁	3	114
邦 楽 舞 踊	邦 楽	3	149		そ の 他	2	29
	邦 舞	17	230		計	5	143
	計	20	379	合 計	212	5,790	

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピアいせさき」の普及

ダンピアいせさきは、市民が長年親しんだ曲をアレンジし、多くの市民が楽しく踊って、まつりに参加してもらうため作成した、伊勢崎市独自のダンスである。新型コロナウイルス感染症対策のため、講習会の開催は見送った。例年は、いせさきまつりや各地区のまつり、各種イベント等において多くの市民が参加している。



いせさきまつり

イ 市民アートフェスティバル

芸術文化に対する市民の理解と鑑賞力を高め、郷土の芸術文化活動の振興を図るとともに、芸術をとおして市民の一体感を醸成することを目的として開催している。市民から応募のあった彫刻工芸・手芸・日本画・洋画・書道の作品を伊勢崎市文化会館で展示公開した。

・11月6日～11月8日	観覧者	966人			
	出品数	391点			
	内訳	彫刻工芸	20点	手芸	121点
		日本画	35点	洋画	47点
		書道	168点		

ウ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

- ・公開作品総数 347点（福沢一郎 74点、磯部草丘 53点、森村西三 6点、金井烏洲 36点、その他の作者の作品 178点）

(3) 舞台芸術鑑賞事業

ア 伊勢崎市文化会館主催事業

実施日	公演名	入場者数
7月5日	由紀さおり 50年記念コンサート2019～2020 “感謝”	【公演中止】
9月22日	ワンコイン いせさき寄席	86
10月10日	いせさき寄席 柳家小三治 一門会	314

12月12日	伊勢崎第九演奏会	【公演中止】
2月28日	牛田智大 ピアノリサイタル	456
3月7日	藤井フミヤ	【公演中止】
3月9日	DRUM TAO THE BEST LIVE 祭響 Saikyō	175
3月下旬	熊川哲也Kバレエカンパニー	【公演中止】

イ 伊勢崎市境総合文化センター主催事業

実施日	公演名	入場者数
7月12日	音楽の絵本 ルスティカーナ ～親子のためのクラシックコンサート	【公演中止】
10月10日	826aska Electone LIVE 2020	321
10月19日	第44回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば 群馬交響楽団演奏会オータムコンサート in SAKAI	259
2月21日	伊勢崎市境ダンスフェスティバル2021	【公演中止】

ウ 伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ主催事業

実施日	公演名	入場者数
1月24日	ケロポンズ親子コンサート	【公演中止】

(4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		赤堀芸術文化プラザ		境総合文化センター	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
	開館日数：322日		開館日数：335日		開館日数：335日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	93	23,805	76	4,537	85	9,999
小ホール	83	8,644			92	5,351
ホール小計	176	32,449	76	4,537	177	15,350
会議室他	582	13,787	—	—	1,217	14,148
展示室他	397	20,086	14	1,309	104	9,765
室等の小計	979	33,873	14	1,309	1,321	23,913
合計	1,155	66,322	90	5,846	1,498	39,263

VII 文化財保護



市指定重要文化財
波志江愛宕神社の宝塔
令和2年10月27日指定



国登録有形文化財
金井義明家住宅主屋
令和3年2月26日登録



国登録有形文化財
田島善一家住宅主屋
令和3年2月26日登録



国登録有形文化財
田島達行家住宅主屋
令和3年2月26日登録

文化財の保護と活用

1 基本方針

- (1) 地域の文化財を後世に伝えるため、文化財の調査研究と情報提供に努めます。
- (2) 市民の郷土への誇りを育むため、歴史的建造物や遺跡などの郷土資源の保存に努め、これを活用した学びの推進に努めます。
- (3) 地域の伝統文化を次世代へ継承するため、伝統芸能などの保存と継承を支援します。

2 重点施策

(1) 文化財の調査研究と情報発信

- ア 文化財普及啓発事業の推進
- イ 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
- ウ 赤堀歴史民俗資料館の充実

(2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財の保存管理と新規指定の推進
- イ 史跡女堀保存整備活用事業の推進
- ウ 史跡田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
- エ 史跡上野国佐位郡正倉跡保存整備活用事業の推進

(3) 伝統芸能などの保存と継承

- ア 有形・無形民俗文化財の保存と普及啓発事業の推進

3 令和2年度事業実績

(1) 文化財保護事業

ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：近代史、考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、民俗学の有識者（計6人）

任期：2年間（令和元・2年度）

開催回数：3回

第1回 7月20日（月）現地調査（波志江愛宕神社の宝塔）、茂呂の屋台の修理事業について、島村養蚕農家群（3件）の国登録有形文化財の申請について

第2回 10月5日（月）波志江愛宕神社の宝塔の市指定について、山王町の屋台囃子について

（10月27日（火）新規指定 伊勢崎市指定重要文化財 波志江愛宕神社の宝塔）

（2月26日（金）新規登録 国登録有形文化財 金井義明家住宅主屋）

（ ” ” 田島善一家住宅主屋）

（ ” ” 田島達行家住宅主屋）

第3回 3月17日（水）旧森村家住宅土堀門外緊急撤去保存工事について、頼光塚の保存に関する対応について

(2) 保護管理事業

ア 指定文化財の保護管理

所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良好な環境維持を図った。

イ 説明板等の設置・修繕

①市指定重要文化財「倭文神社の朱印状」、市指定史跡「毒島城」「丸塚山古墳」「赤堀茶臼山古墳」、市指定天然記念物「湧水あまが池」の説明板を修繕した。

ウ 史跡上野国佐位郡正倉跡の保存活用

(ア) 調査整備委員会

佐位郡衙関連施設の確認のための発掘調査事業や史跡の公有地化事業、活用事業などについて調査整備委員7名による委員会を1回開催した。

(イ) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、殖蓮公民館北の正倉院北部で発掘調査を実施した。その結果、佐位郡衙正倉院に関わる掘立柱建物が確認された。

(ウ) 啓発活動

平成29年度に完成した八角形倉庫の模型を殖蓮公民館で展示した。

(エ) 公有地化

売却希望の民地234㎡を買い上げ公有地化した。

エ 史跡女堀の保存活用

(ア) 調査整備委員会

史跡女堀の整備実施設計について調査整備委員6名による委員会を3回開催した(内、2回は書面開催)。

(イ) 啓発活動

例年6月に開催される赤堀花しょうぶ園まつりで、発掘調査パネル展示、史跡女堀クイズ、タブレット端末での発掘調査状況の視聴を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

オ 史跡田島弥平旧宅の保存活用

(ア) 調査整備委員会の開催

別荘整備工事や発掘調査、普及啓発事業などについて、調査整備委員7名による委員会(書面)1回と、建築学専門である委員からなる現地指導を1回開催した。

(イ) 史跡整備の実施

史跡の保存活用のための別荘整備工事を実施した。

(ウ) 発掘調査

史跡の内容確認と保存整備の基礎資料を得るため、東門周辺、新蚕室基壇、桑場などの発掘調査を、6月1日から8月31日まで実施した。

(エ) 案内所の運営

会計年度任用職員6名のサポートガイドをシフトにより配置し、展示の解説、DVD上映、桑場への配置、田島弥平旧宅の案内を行っている。なお、令和2年4月1日から5月31日また令和3年2月8日から3月22日までの間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休館とした。

(オ) 周辺環境整備の実施

来訪者対応を図るため、仮設トイレの設置や警備員を配置して史跡周辺の環境整備を行った。

(カ) 啓発活動

令和2年度は発掘調査の現地説明会や春と秋に普及啓発事業の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

(キ) 公開範囲の拡張

平成30年度より別荘及び冷蔵庫跡の整備を始め令和2年度で完了したため、翌年度より新たに公開を始める。また、平成28年度より公開した桑場1階に加え、平成29年度より毎月第3日曜日のみ主屋1階上段の間の公開を開始し、令和2年度も継続して実施した。

なお、令和2年4月1日から5月31日また令和3年2月8日から3月22日までの間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため桑場の公開を中止し、上段の間についても令和2年4・5・6月と令和3年1・2・3月の公開を中止した。

カ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認を実施した。

キ 指定文化財等の修繕

- ① 市指定重要文化財「旧森村家住宅」の井戸屋の修繕を実施した。
- ② 市指定重要文化財「黒羽根内科医院旧館」の雨漏りの修繕を実施した。
- ③ 市指定重要文化財「茂呂の屋台」5基について、平成30年度より修復を開始し令和2年度にてすべての屋台の修復が完了した。
- ④ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成21年度から保護養生事業を実施しており、害虫駆除及び葉枯れ病等の防除を中心に対応を行った。



茂呂町一丁目屋台



茂呂町二丁目屋台



南北千木町屋台



美茂呂町屋台



茂呂南町屋台

※ 平成30年度から令和2年度にかけて、文化庁の補助金を活用し修復を終えた『茂呂の屋台』5基。

ク 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧2件、撮影5件、掲載19件、借用18件の申請があり許可した。

ケ 指定文化財の現状変更等

- ① 国指定史跡女堀は、境界杭設置、樹木伐採について市教委の権限で許可した。
- ② 国指定史跡田島弥平旧宅は、発掘調査に際し現状変更計画書を文化庁へ提出し許可された。
- ③ 国指定史跡上野国佐位郡正倉跡は、佐位郡衙関連発掘調査、およびカーポート新設に係る現状変更等許可申請書を文化庁へ提出し、許可された。また、殖蓮幼稚園の給排水管分岐工事、電柱および支線の新設、公有地化した土地の工作物の撤去などについて市教委の権限で許可した。
- ⑤ 国指定天然記念物「華蔵寺のキンモクセイ」は、剪定事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。なお、令和2年6月30日に剪定事業を実施した。
- ⑥ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。

コ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、赤堀村16号墳出土の鉄製品18点、及び赤堀村247号墳出土の耳環1点、合計19点の保存処理を行った。

サ 文化財の防火活動

1月29日（金）に境地区内に所在する市指定重要文化財である「島村の板倉」、「平塚赤城神社本殿」及び国登録有形文化財である「日本基督教団島村教会」の位置や進入経路、周辺の消防水利について調査し、調査結果をもとに調査表及び図面を作成した。また3月11日（金）に地元区長及び役員と文化財保護課職員及び警備員にて境消防署の指導のもと国指定史跡「田島弥平旧宅」周辺の消防水利及び器具点検を行い、併せて初期消火活動の演習を行った。

(3) 普及事業

ア 旧森村家住宅活用事業

月に2回一般公開を行い、「宮郷中学校史跡めぐり」「ブライダル前撮り写真撮影」も行われ、来場者は286人であった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、警戒レベル4の際の一般公開及び十五夜の集いは中止となった。

イ はたおり体験学習事業

緋の郷を会場として、織物ボランティア「織りの会」の指導の下、市内23校の小学校3年生1,832人の児童が参加する予定となっていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。また、華蔵寺公園花まつりなど、はたおり体験の実施を予定していた各イベントについても、同様の理由で全て中止となった。

ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎市の古代」のメニューで実施したほか、小学生の地域学習の現地説明等を実施し、合わせて226人の受講があった。

【講座・講演】

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
8月19日(水)	三郷小放課後児童クラブ	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	53人
9月25日(金)	三郷小学校6年生	お富士山古墳見学	115人
10月23日(金)	剛志小学校6年生	まが玉づくり	58人

エ 埋蔵文化財展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

オ 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「伊勢崎市の遺跡・古墳時代編」	10月2日(金)～ 10月13日(火)	伊勢崎駅前インフォメーションセンター
	10月26日(月)～ 11月23日(月)	市民サービスセンター宮子
	1月9日(土)～ 1月28日(木)	赤堀歴史民俗資料館
	2月1日(月)～2月10日(水)	市役所東館市民ホール

カ 発掘調査現地説明会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

キ 報告書等の刊行

- ・『平成30年度市内遺跡確認調査報告書』を作成した。
- ・『伊勢崎市文化財ハンドブック』の新たな指定文化財を追加し、掲載写真の更新、内容の見直しを行い刊行した。
- ・茂呂の屋台について、文化庁の助成事業を活用し、伝統文化の普及と啓発を目的に、平成30年度から令和2年度に行った屋台の修復の様子を含めた映像記録(動画)を作成した。
- ・県の助成を活用し、文化財保護課の監修により、『茂呂の屋台修復記録写真集』を作成した。

ク 伝統文化親子教室事業

文化庁補助事業の「伝統文化親子教室事業」について、2件の申請があり採択となったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

ケ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会

(ア) 概要

北史談会・殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・那波郷土史研究会・境史談会の6団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

(イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
6月25日(木)	北公民館	第1回運営委員会及び監査
7月3日発送	書面開催	定期総会
9月24日(木)	北公民館	第2回運営委員会
12月2日(水)	殖蓮公民館	会員研修会 演題:「郷土史と人材ネットワーク」 講師: 重田 泰嗣さん (殖蓮史談会)

※ 例年実施している講演会及び視察研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

(4) 埋蔵文化財発掘調査の概要

令和2年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計52件であった。

ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査)	10件	4,029 m ²
確認調査(試掘調査)	42件	3,063 m ²

イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人住宅	661	不動産取引	386
集合住宅	62	店舗	28
建売住宅	138	工場	27
鑑定評価	48	携帯電話基地局	59
分譲住宅地造成	66	その他	327
太陽光発電設備	28	計	1,830

(5) 赤堀歴史民俗資料館

ア 利用の概要

開館日数: 216日 入館者数: 2,765人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	0	0	25	23	26	26	27	25	24	24	6	8
利用者(人)	0	0	126	156	576	171	478	217	101	399	178	363

新型コロナウイルスの影響により、4月～5月、2月8日(月)～3月22日(月)まで臨時休館
資料の燻蒸のため、7月23日(金)～26日(日)の間臨時休館

イ 資料館運営協議会

運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について報告協議を行った。

委員構成: 学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人(計8人)

任 期: 2年間(令和元・2年度)

開催回数: 3回(第3回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催)

ウ 展示活動

(ア) 常設展示

1階展示室 発掘調査で得られた資料を年代順に展示解説。6月に佐位郡正倉跡や上植木廃寺中心に古代展示をリニューアルした。1月には「伊勢崎市と赤城山・利根川・渡良瀬川」を加え、地質と遺跡との関係が理解できる展示とした。

2階展示室 復元古民家とその内部および養蚕資料、昔の暮らし等を展示。10月に昭和9年を再現した復元家屋展示「清くんの夕暮れ」、「伊勢崎を築いた人々—近代編—」を加え、2階

展示をリニューアルした。

(イ) 企画展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施を見合わせた。

(ウ) 季節展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	新型コロナウイルスの影響により、実施を見合わせた。	端午の節供展	0人
第2回	新型コロナウイルスの影響により、実施を見合わせた。	お月見展	0人
第3回	3月23日(火)～4月18日(日) 新型コロナウイルスの影響により期間を変更して実施した。	おひなさまーきらびやかな御殿飾りー	363人

エ 教育普及活動

(ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を発行(第167～171号)し、市ホームページに「資料館の出来事」を紹介した。

(イ) 学習支援事業

保育園、幼稚園及び小学校児童に対して、展示解説と学習支援を行った。のべ6校、533人が観覧した。

(ウ) 子ども向けイベント

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施を見合わせた。

(エ) 特別観覧等

5月27日(水) 村上家文書の観覧1件。

3月25日(木) 中島家資料の観覧1件。

(オ) 文化財普及事業

【歴史文化講座】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施を見合わせた。

【古文書入門講座】

伊勢崎市図書館と共催で開催し、YouTube配信及びDVD貸し出しによる講座とした。

	期 日	内 容	受講者数
第1回	1月14日(木)	古文書を読む前に一心の準備ー	53人
第2回	1月21日(木)	解説に備えてー「百家通用 文章大全」を読むー	53人
第3回	1月28日(木)	「五人組御改帳」(佐位郡木嶋村)を読む①ー条文ー	53人
第4回	2月4日(木)	「五人組御改帳」(佐位郡木嶋村)を読む②ー名前ー	53人
第5回	2月18日(木)	「新田検地帳」(勢多郡磯村)などを読むー度量衡に親しむー	53人
第6回	2月25日(木)	年貢関係史料(佐位郡五目牛村)を読む	53人
第7回	3月4日(木)	旗本「賄金」「御用金」関係史料を読む	53人
第8回	3月11日(木)	水利関係史料を読む	53人



田島弥平旧宅別荘改修工事完成



26次調査風景（佐位郡正倉跡）



史跡めぐり（お富士山古墳）



校外学習（赤堀小学校6年生）



リニューアルした常設展示「清くんの夕暮れ」

伊勢崎市の指定文化財（146件） ※ 国登録有形文化財5件含む

1 国指定重要文化財（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日

2 国指定史跡（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
5	女堀	1条	下触町213外	昭和58年10月27日
6	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久	昭和63年 1月11日
7	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年 9月19日
8	上野国佐位郡正倉跡	1件	上植木本町2763外	平成26年10月 6日

3 国指定天然記念物（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
9	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年 6月15日

4 県指定重要文化財（12件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
10	下植木赤城神社石造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年 3月23日
11	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年 3月23日
12	脇差 銘 正俊	1口	今泉町二丁目938-7	昭和38年 9月 4日
13	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稲荷町518-3	昭和43年 5月 4日
14	宮子の笠塔婆	1基	宮子町1416	昭和48年12月24日
15	絹本着色白崖宝生禪師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫992-1)	昭和48年12月24日
16	石倉文書	1巻	三光町	平成 7年 3月24日
17	相川家茶室「觴華庵」附造営文書2点「材木積り立控」 「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年 3月21日
18	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年 3月23日
19	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年 3月22日
20	縁切寺満徳寺文書	179点	境(太田市徳川町385-1)	昭和36年 1月 6日
21	石山観音の大鰐口	1口	下触町4番地	平成31年 2月15日

5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
22	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年 3月24日

6 県指定史跡（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
23	金井鳥洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日

7 県指定天然記念物（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
24	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年 8月25日
25	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成 4年 5月15日

8 市指定重要文化財（60件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
26	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年 4月12日
27	関重嶺著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町6-10	昭和41年 4月12日
28	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年 4月12日
29	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年 4月12日
30	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年 2月15日
31	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年 4月25日
32	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町	昭和48年 3月 5日
33	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年 3月 5日
34	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年 3月 5日
35	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年 3月 5日
36	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年 3月 5日
37	伊勢崎の太織	25点	曲輪町	昭和48年 3月 5日
38	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年 3月 5日
39	常清寺の変型板碑	1基	東本町354	昭和48年 3月 5日
40	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年 3月 5日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
41	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年 3月 5日
42	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年 3月 5日
43	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年 3月 5日
44	脇差 銘 直勝	1口	本町	昭和48年 3月 5日
45	刀 銘 直道	1口	中央町	昭和48年 3月 5日
46	森村家の文書	62冊	連取町	昭和58年 3月11日
47	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
48	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
49	藍染熨斗目	1領	北千木町	平成 4年 2月24日
50	倭文神社の朱印状	9通	東上宮町	平成 4年 2月24日
51	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成 5年 3月23日
52	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
53	高山1号古墳出土埴輪鞍	1基	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
54	絹本着色稲垣平右衛門長茂像附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成 8年 3月29日
55	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年 9月30日
56	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
57	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
58	上毛伊勢崎領塾小学内篇・外篇版木 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年 7月 1日
59	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稻荷町乙368、稻荷町367-1	平成22年10月 1日
60	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月 1日
61	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
62	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
63	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町839 (共同墓地内)	平成 6年 4月 1日
64	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成 6年 4月 1日
65	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町	昭和48年 2月21日
66	小泉稻荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年 3月22日
67	文化の常夜灯	1基	小泉町	昭和63年 3月 4日
68	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年 3月 4日
69	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年 3月 4日
70	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年 3月29日
71	延文二年銘鰐口	1点	境	昭和42年 2月10日
72	曼荼羅板碑	1基	境	昭和42年 2月10日
73	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年 2月10日
74	東町福島家文書	1式	境東	昭和42年 2月10日
75	大国神社の石幢	1基	境下瀨名2827	昭和42年 2月10日
76	漂麦園文集1 2巻	1式	境保泉	昭和42年 2月10日
77	金井烏洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村	昭和42年 2月10日
78	養蚕新論版木	1式	境島村	昭和42年 2月10日
79	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年 2月10日
80	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年 2月10日
81	米岡の姥石	1基	境米岡230-2	平成16年11月26日
82	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
83	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日
84	本妙寺の鬼子母神堂 附棟札	1件	山王町857	平成28年 3月24日
85	福壽院の和時計	1台	境小此木651	平成30年2月26日
86	波志江愛宕神社の宝塔	1基	波志江町1523	令和 2年10月27日

9 市指定重要有形民俗文化財 (5件)

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
87	平塚の操人形及び衣装 (頭等)	1式	境	昭和38年 8月 1日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
88	平塚の操人形及び衣装（衣装等）	1式	境323-1	昭和38年 8月 1日
89	平塚の操人形及び衣装（人形・衣装・収納箱一式）	1式	境平塚	平成16年11月26日
90	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1 外	平成16年11月30日
91	茂呂の屋台	5 基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月 1日

10 市指定重要無形民俗文化財（16件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
92	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年 6月29日
93	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町一丁目2057	平成18年 6月15日
94	下瀧名の獅子舞	1件	境下瀧名	平成18年 6月15日
95	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年 6月15日
96	女塚祭礼囃子	1件	境女塚	平成18年 6月15日
97	栄町祭礼囃子	1件	境栄	平成18年 6月15日
98	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木	平成18年 6月15日
99	東新井の獅子舞	1件	境東新井	平成18年 6月15日
100	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町380	平成19年 8月17日
101	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年 3月26日
102	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年 3月26日
103	南北千木町屋台囃子	1件	南千木町	平成25年 3月26日
104	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年 3月26日
105	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年 3月26日
106	東町屋台囃子	1件	境東町	平成26年 2月25日
107	気楽流柔術	1件	東小保方町	平成27年 2月26日

11 市指定史跡（27件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
108	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年 4月12日
109	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年 4月12日
110	今村城跡	1件	稲荷町848-1	昭和41年 4月12日
111	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年 4月12日
112	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年 4月12日
113	稲垣平右衛門長茂の墓 附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年 2月15日
114	小島武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年 2月15日
115	関当義・重嶷父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年 3月 5日
116	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年 9月 9日
117	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3 外	平成10年12月28日
118	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年 2月15日
119	十二所古墳	1基	磯町405-1 外	昭和46年 6月10日
120	庚塚古墳	1基	下触町119-1	平成 7年 4月 1日
121	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405-1 外	平成16年 8月10日
122	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815 外	平成16年 8月10日
123	赤堀茶白山古墳	1基	赤堀今井町二丁目甲995-1 外	平成16年 8月10日
124	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年 8月10日
125	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年 2月21日
126	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年 3月 4日
127	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859 外	昭和44年 2月21日
128	郷学五悼堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年 3月 1日
129	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年 3月 1日
130	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年 2月 2日
131	旧日光例幣使道	1件	境下武土地内	昭和42年 2月 2日
132	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年 2月10日
133	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年 3月11日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
134	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下湊名1349	平成元年 3月15日

12 市指定天然記念物（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
135	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年 2月15日
136	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年 2月15日
137	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年 2月15日
138	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205	平成 6年 4月 1日
139	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年 2月21日
140	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年 3月 4日
141	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年 3月 4日

13 国登録有形文化財（5件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
142	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年 2月17日
143	日本基督教団島村教会、めぐみ保育園舎	2棟	境島村2509-2	平成20年 4月18日
144	金井義明家住宅主屋	1棟	境島村字新地2439他	令和 3年 2月26日
145	田島善一家住宅主屋	1棟	境島村字新地2209	令和 3年 2月26日
146	田島達行家住宅主屋	1棟	境島村字新地2247他	令和 3年 2月26日

VIII 青少年健全育成



令和3年成人式の様子

心身ともに健全な青少年の育成の推進

1. 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上を図るとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

2. 重点事業

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

- ア. 青少年健全育成大会の開催
- イ. 青少年健全育成環境浄化大会の開催
- ウ. 子ども安全協力の家事業の充実
- エ. 深夜営業施設立入調査の実施
- オ. 成人式の実施

(2) 次代を担う青少年の育成

- ア. 豊かな人間性を育むための、子ども会育成会やふれあい体験教室での体験活動の充実
- イ. 地域における青少年の健全育成を推進するための、リーダーの養成事業と派遣事業の充実

3. 令和2年度事業実績

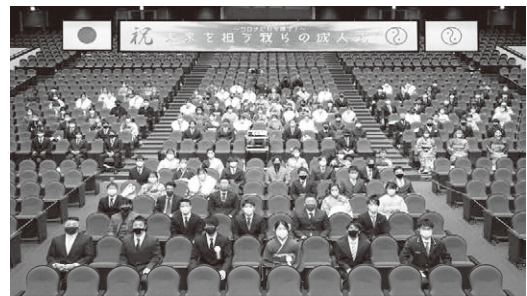
(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

事業名	趣旨	期日・場所	対象	実績
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な重要事項を調査審議するとともに、その適切な実施を期するため、必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	幹事会：4月 第1回：5月 第2回：11月 ※書面会議	委員、幹事	出席者延べ 60人
青少年健全育成 三季運動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春(3/15～4/30) 夏(7/15～8/31) 冬(12/15～1/31)	市民	リーフレット 配布等 啓発活動 従事者数 20,766人
白ポスト回収	白ポストを管理し、有害図書等の回収・調査にあたる。	毎月実施	青少年育成推進員、青少年指導員による回収数	有害図書等 回収数 95個
深夜営業施設立入 調査	青少年関係団体及び伊勢崎警察署と連携し深夜営業施設への立入調査並びに県青少年健全育成条例に基づき調査を実施する。	郵送で調査	市内の深夜営業施設	立入箇所 15軒
社会環境実態調査	県青少年健全育成条例に基づき、青少年を取り巻く社会環境の調査を実施する。	7/15～9/15	コンビニ、ゲームセンター、カラオケボックス、複合カフェ	調査件数 107軒
青少年健全育成 環境浄化大会	伊勢崎市の青少年を健全に育成するため、青少年育成関係団体の連	12/9～1/22	青少年育成推進員、指導員、補導員、関係団	動画開催

	携と共通理解を深め、青少年を取り巻く社会環境浄化運動を推進することを目的とする。		体	
青少年健全育成大会	家庭・学校・地域社会が思いを一つにし、市民総ぐるみの青少年健全育成運動を積極的に推進する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年育成団体等、市民、青少年問題協議会委員	
子ども安全協力の家	一般家庭や商店・事業所などを、子供たちの緊急避難場所として指定し、子ども安全協力の家事業の充実を図る。	通年	一般家庭、商店、事業所	登録件数 1,091軒
成人式	二十歳の新しい門出を地域ぐるみで祝うとともに、新成人の自覚や意識を高めるため、新成人からなる実行委員会が中心となり、地域の協力を得て、厳粛な式を実施する。	1/10 緋の郷まか	新成人	出席者 1,629人



子ども安全協力の家



令和3年 伊勢崎市成人式 R3.1.10

成人式



令和3年 伊勢崎市成人式 R3.1.10

(2) 次代を担う青少年の育成

事業名	趣旨	期日・場所	対象	実績
ジュニアリーダー初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーの養成を図るとともに、中高生の地域に根ざしたグループ活動を推進し、青少年の健全育成を目指す。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市内在住の中高生で特に子ども会活動に活躍を期待できる者	
少年団体指導者養成研修会	県子ども会指導者の組織的養成基準により地域子ども会の初級指導者を養成し、その資質向上を図ることにより、単位子ども会活動の健全な発展と推進を目指す。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市内の子ども会育成会会員で子ども会指導者として将来活躍しようとする者	
インリーダー研修	各地区の子ども会役員を対象に、	新型コロナウイルス	各地区の子ども会役	

会	子ども会活動に必要な知識・技術を修得させることにより、インリーダーとしての自覚を高め子ども会の活性化を図る。	感染症拡大防止のため中止	員参加者	
子ども会町内対抗少年相撲大会	子供たちが、国技である相撲を通して自己の体力を養い、伝統の尊さを学ぶとともに子供たちの友情と子ども会活動の発展に資する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通じて子供たちの心身の鍛錬を図り、併せて子ども会相互の交流と子ども会活動の発展に資する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
明日の郷土を築く青少年の集い	青少年の体験活動を支援する団体が集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにす。また、本事業を通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年、市民	
ふれあい体験教室	市内の子供を対象に、青少年団体が特色ある活動を活かした体験教室を実施し、豊かな人間性を育むための体験活動を推進する。	通年 市内各地	青少年、市民	事業参加者 233人
なかまづくり事業	市内の子供たちを対象に、新たな団員獲得と市内団体間での交流を深める。	10/11 伊勢崎市青少年育成センター	伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	事業参加者 37人
地域子ども交流事業	子供たちが集まり、交流活動や各種創作活動をし、交流の輪を広げ、自主性、協調性を育み、豊かな人間性を養う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市外、伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	
子ども文化財めぐり	子供たちが県内の文化財をめぐるにより、郷土に対する愛情を育むとともに参加者同士の親睦を深める。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	



なかまづくり事業



なかまづくり事業

青少年非行防止活動の推進

1 基本方針

心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努めます。

近年の急速な社会変化は、青少年に大きな影響を及ぼし、そこから生じる非行、いじめ等の問題は、依然として憂慮される状態にあります。

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年に温かい声かけを行い非行防止活動に努めます。

2 重点施策

(1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

ア 青少年の非行防止・健全育成を目的として 29 班編成で実施する通常補導、地元で実施する地区別補導、お祭りの際に実施する特別補導及び列車内補導などを通して、非行少年の早期発見、早期指導に努める。

イ 青少年の非行防止を目指し、違反簡易広告物の除却活動を推進する。

ウ 非行防止標語ポスターを作成配布し、地域住民の意識の高揚に努める。

(2) 青少年相談事業の充実

ア 青少年の悩みごと、子供を持つ親の悩みごとなどを、電話又は面接を通して相談を受け、問題解決の一助とし、青少年の健やかな育成を図る。

イ 毎週月曜日から金曜日の午後 1 時から午後 5 時まで、青少年相談員による電話又は面接相談を実施する。

ウ 休日、夜間は、留守番電話で対応する。

エ 電話相談及び面接相談は、青少年指導センターで行う。

オ 青少年相談事業の啓発のため、電話相談カード及びポスターを作成し市内の学校に配布する。

(3) 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

ア 青少推と連携し、市内 5 箇所の大型店舗で青少年健全育成・非行防止街頭キャンペーンを実施する。

(4) 青少年健全育成及び非行防止標語の募集

ア 「夏の青少年健全育成運動」の一環として、市内の小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、青少年健全育成及び非行防止に関する標語を募集する。(絵画・ポスター募集と隔年で実施)

イ 応募された作品の中から入賞作品を選出し、健全育成大会で表彰する。

(5) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 補導員会役員会を開催し、地域の団体や学校との意見交換を推進する。

イ 研修会などを通して、警察や関係機関との連携を図る。

3 令和2年度事業実績

(1) 街頭補導状況

(単位:回、人)

月別	補導回数				従事した延べ人数					
	午後2時	午後4時	夜間	計	補導員			他団体	職員	計
					通常	特別	計			
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	7	10	14	31	70	0	70	0	0	70
8	8	11	13	32	74	0	74	0	0	74
9	8	11	14	33	69	0	69	0	0	69
10	6	12	11	29	67	0	67	0	0	67
11	5	11	12	28	64	0	64	0	0	64
12	6	12	12	30	64	0	64	0	0	64
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	40	67	76	183	408	0	408	0	0	408

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため7月から12月の期間のみ通常補導を実施し、特別補導は中止となった。

(2) 青少年電話相談

ア 問題別・相談者別相談状況

(単位:件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青年	親	一般	合計
非行	0	0	0	0	0	0	0	0
異性・性	0	0	0	0	0	0	0	0
交友	0	0	0	0	0	0	0	0
学業	0	0	0	0	0	0	0	0
進路	0	0	0	0	0	0	0	0
不登校	0	0	1	0	0	2	5	8
健康	0	0	0	0	0	1	0	1
家庭	0	0	0	0	0	53	107	160
性格	0	0	0	0	0	0	0	0
しつけ	0	0	0	0	0	0	1	1
いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	1	1	3	19	25
合計	0	0	2	1	1	59	132	195

イ 青少年電話相談広報

市内の小・中学校・特別支援学校・中等教育学校・
高等学校へポスターを配布し、周知した。



(3) 青少年非行防止街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と
なった。

(4) 青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスターの
募集

青少年の健全育成及び非行防止を図るため、市内
小・中学校・中等教育学校の児童、生徒へ募集し、
48作品の応募があった。入賞者9名に表彰状及び
記念品を贈呈した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため表彰式
(健全育成大会) は中止となった。



青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスター

Ⅸ スポーツ振興



伊勢崎市陸上競技場

スポーツ振興

1 基本方針

- (1) 1市民1スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

2 重点施策

(1) 1市民1スポーツの推進を図る

ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

子どもから高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

イ 家族で楽しめる「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・市民体育館・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

ウ 市民総合スポーツ大会の充実

第17回市民総合スポーツ大会をリニューアルして開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに1市民1スポーツの定着に努めます。

エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第17回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、1市民1スポーツの定着に努めます。

(2) スポーツ指導者の養成と指導体制の充実

ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者制度を確立し、活用に努めます。

(3) スポーツ団体の育成強化を図る

ア 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会への支援

1市民1スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会体育推進委員連絡協議会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市スポーツ協会の支援に努めます。

イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国大会で活躍できる選手の育成に努めます。

ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

(4) スポーツ施設・設備の充実

境ラグビー場整備工事

(5) スポーツ振興組織

ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。

委員 12人

イ スポーツ推進委員

市民のスポーツの振興と市民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。

委員 45人

ウ 地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。

委員 33人

エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ指導者の登録制度。

16団体 92人

オ 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、(一財)伊勢崎市スポーツ協会も年々充実発展し現在43団体を統括し、本市のスポーツの核として、1市民1スポーツの定着と競技力の向上・指導の育成等に努めている。

(一財)伊勢崎市スポーツ協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシングクラブ・バドミントン協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トリアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツウエルネス吹矢協会・山岳会・西部スポーツクラブ・トランポリン協会・小学校体育研究会

3 令和2年度事業実績

(1) スポーツ教室開催結果一覧表 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

参加者 0人

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加人数	会場
1	早朝ソフトテニス(境)	4月・5月	—	小学3年以上	—	境上武公園テニス場
2	早朝テニス	4月・5月	—	小学4年以上	—	庭球場
3	ソフトテニス	4月・5月	—	在住・在勤・在学	—	庭球場
4	健康アップ	5月・6月	—	在住・在勤(学生除く)	—	市民体育館
5	弓道	5月・6月	—	中学生以上	—	弓道場
6	ミニバスケットボール	5月	—	小学生	—	あずま体育館
7	なぎなた	5月	—	小学生以上	—	境武道館
8	弓道(あずま)	5月・6月	—	小学5年生以上	—	あずま弓道場
9	弓道(境)	5月・6月	—	中学生以上	—	境弓道場
10	バドミントン	5月・6月	—	在住・在勤(学生除く)	—	第二市民体育館
11	少年少女レスリング	5月・6月	—	幼稚園・小・中学生	—	興陽高校柔道場
12	体操	5月・6月	—	小学2年～6年	—	市民体育館
13	インラインスケート	5月・6月	—	5歳以上	—	三室西公園運動場
14	ボクシング	6月	—	小学生以上	—	市民体育館
15	卓球	6月	—	小学5年以上	—	スポーツ交流館
16	サッカー(赤堀)	6月	—	小学1年～3年	—	赤堀コミュニティひろば
17	早朝ソフトテニス	6月・7月	—	小学4年以上	—	庭球場
18	合気道	6月	—	小学生以上	—	市民体育館外
19	陸上	6月・7月	—	小学生	—	陸上競技場
20	太極拳	7月	—	小学生以上	—	境体育館
21	ジュニアバドミントン	8月・9月	—	小・中学生	—	第二市民体育館
22	ナイターテニス	8月・9月	—	在住・在勤(学生除く)	—	庭球場
23	カヌー	9月	—	中学生以上	—	広瀬川外
24	水泳①	9月	—	50歳以上	—	スイミングアカデミー伊勢崎
25	ミニバレーボール	10月・11月	—	小学生	—	茂呂小学校体育館
26	サッカー(境)	10月	—	小学1年～4年	—	境総合運動場
27	スケート①	11月	—	小学生以上	—	スケートセンター
28	スケート②	12月	—	小学生以上	—	スケートセンター
29	スキー	3月	—	小学生以上	—	軽井沢プリンスホテルスキー場
30	水泳②	3月	—	50歳以上	—	スイミングアカデミー伊勢崎

(2) 「市民スポーツの日」実績一覧表 *5月、2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
451	0	617	650	628	589	734	687	628	270	0	339	5,593

(3) 市民総合スポーツ大会の成績表

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ア 総合成績

優勝	第2位	第3位
—	—	—

イ 種目別

種目	第1位	第2位	第3位	種目	第1位	第2位	第3位
陸上(男子)	—	—	—	弓道	—	—	—
陸上(女子)	—	—	—	柔道	—	—	—
フットボール(男子)	—	—	—	剣道	—	—	—
フットボール(女子)	—	—	—	テニス	—	—	—
バレーボール(男子)	—	—	—	綱引き	—	—	—
バレーボール(女子)	—	—	—	ゲートボール	—	—	—
ソフトテニス	—	—	—	グラウンドゴルフ	—	—	—
卓球	—	—	—				

(4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

総参加者総人数 0人(役員等0人を含む)

種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者
サイクリング	—	ターゲットボードゴルフ	—	スマイルボウリング	—	スポーツウェーブ吹矢	—
ウォーキング	—	リエンテリング	—	シャフルボード	—	ヘルスバレー	—
ゲートボール	—	インディアカ	—	タスポニー	—	ラダーゲッター	—
グラウンドゴルフ	—	なわとび	—	スポレック	—	はつらつウォーク	—
スポーツパフォーマンステスト	—						

(5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 478,121人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	57,638	赤堀体育館	13,417	あずま体育館	16,958	境体育館	11,017
第二市民体育館	14,749	赤堀剣道場	1,400	総合運動場テニスコート	8,835	境武道館	7,871
庭球場	36,569	赤堀中央運動場	10,339	あずまスタジアム	3,700	境いよく公園運動場	29,374
野球場	14,133	あかみどり運動公園	26,160	あずまサブスタジアム	3,277	境弓道場	1,994
陸上競技場	32,393	赤堀西部スポーツ公園	7,758	あずま弓道場	3,324	境総合運動場	14,495
ソフトボール	9,803	赤堀香林運動公園	3,182	あずま総合運動場	11,929	境上武公園	6,309
第二グラウンド	4,358	赤堀グラウンドゴルフ場	430	三室西公園	7,654	境広瀬川緑地グラウンドゴルフ場	17,134
補助競技場	11,546	赤堀コミュニティひろば	2,842	あずまゲートボール場	1,706	利根川河川運動場	440
弓道場	6,098	計	65,528	つつみ公園グラウンドゴルフ場	1,405	境矢ノ原公園運動場	496
相撲場	0	—	—	あずまサッカースタジアム	24,213	境島村ラグビー場	0
市民プール	0	—	—	あずまウォーターランド	28,121	市ラグビー場	846
その他	1,032	つなとりスポーツ広場	4,778	西小保方公園グラウンドゴルフ場	6,903	境プール	11,495
計	188,319	計	4,778	計	118,025	計	101,471

伊勢崎市教育要覧

令和3年度版

令和3年9月発行
編集 伊勢崎市教育委員会事務局
発行 伊勢崎市教育委員会
〒372-8501
伊勢崎市今泉町二丁目 410 番地
電話：0270-27-2785（総務課）
FAX：0270-24-9668
E-mail：k-soumu@city.isesaki.lg.jp